

WA-1100-S / WA-1100

取扱説明書

このたびは、WA-1100-S / WA-1100 をご利用いただきまして、まことにありがとうございます。

- ご使用前に、この「取扱説明書」をよくお読みのうえ、内容を理解してからお使いください。
- お読みになったあとも、本商品のそばなどいつも手もとに置いてお使いください。



技術基準適合認証品

安全にお使いいただくために必ずお読みください

この取扱説明書には、あなたや他の人々への危険や財産への損害を未然に防ぎ、本商品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を示しています。

その表示と図記号の意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

本書を紛失または損傷したときは、当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店で求めください。

本書中のマーク説明

 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
 お願い	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、本商品の本来の性能を発揮できなかつたり、機能停止を招く内容を示しています。
 お知らせ	この表示は、本商品を取り扱ううえでの注意事項を示しています。
 ワンポイント	この表示は、本商品を取り扱ううえで知っておくと便利な内容を示しています。

厳守事項

■ID とパスワードの取り扱いについて

ユーザーID とパスワードはお客様の大切な個人情報です。入力には必ずお客様自身で行ってください。

■取扱説明書の内容について

機能追加などにより本書の内容は予告なく変更されることがあります。機能追加や変更などに関するサポート情報につきましては、以下のホームページの更新情報を定期的に関連していただくことを推奨します。

当社ホームページ:

[NTT 東日本] <http://web116.jp/ced/>

[NTT 西日本] <http://www.ntt-west.co.jp/kiki/>

本商品は、「外国為替及び外国貿易法」が定める規制対象貨物に該当いたします。

本商品を日本国外に持ち出す場合は、同法に基づく輸出許可等必要な手続きをお取りください。

＜セキュリティに関するご注意＞

本商品は、無線 LAN の暗号化（セキュリティ）設定がされた状態で出荷されています。通常はそのままご利用いただくか、AOSS または WPS を利用して無線 LAN 機器との接続設定を行ってください。

また、無線 LAN の仕様上、特殊な方法によりセキュリティ設定が破られることもありえますので、ご理解のうえ、ご使用ください。

セキュリティ対策を行わず、あるいは、無線 LAN の仕様上やむをえない事情によりセキュリティの問題が発生してしまった場合、当社はこれによって生じた損害に対する責任はいっさい負いかねますのであらかじめご了承ください。

ご使用にあたって

この装置は、クラス B 情報技術装置です。本商品は家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書にしたがって正しい取り扱いをしてください。

- ご使用の際は取扱説明書にしたがって正しい取り扱いをしてください。
- 本商品の仕様は国内向けとなっておりますので、海外ではご利用できません。
This equipment is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.
- 本商品の故障、誤動作、不具合、あるいは停電などの外部要因によって、通信などの機会を逸したために生じた損害や万一本商品に登録された情報内容が消失してしまうことなどの純粋経済損失につきましては、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。本商品に登録された情報内容は、別にメモをとるなどして保管くださるようお願いいたします。
- 本商品を設置するための配線工事および修理には、工事担任者資格を必要とします。無資格者の工事は、違法となり、また事故のもととなりますので絶対におやめください。
- 本書に、他社商品の記載がある場合、これは参考を目的としたものであり、記載商品の使用を強制するものではありません。
- 本書の内容につきましては万全を期しておりますが、お気づきの点がございましたら、当社のサービス取扱所へお申し付けください。
- この取扱説明書、ハードウェア、ソフトウェアおよび外観の内容について将来予告なしに変更することがあります。

【廃棄（または譲渡、返却）される場合の留意事項】

本商品は、お客様固有のデータを登録または保持可能な商品です。本商品内のデータ流出などによる不測の損害を回避するために、本商品を廃棄（または譲渡、返却）される際には、取扱説明書をご覧のうえ、本商品内に登録または保持されたデータを消去くださいますようお願いいたします。

記載している画面はイメージを説明したものです。実際の画面と相違している場合がありますのでご注意ください。また、機能向上のため画面は予告なく変更される場合があります。

Microsoft[®]、Windows[®]、Windows Vista[®] は米国 Microsoft[®] Corporation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

Windows[®] XP は、Microsoft[®] Windows[®] XP Home Edition operating system および Microsoft[®] Windows[®] XP Professional operating system の略です。

Windows Vista[®] は、Microsoft[®] Windows Vista[®] Home Basic operating system、Microsoft[®] Windows Vista[®] Home Premium operating system、Microsoft[®] Windows Vista[®] Business operating system および Microsoft[®] Windows Vista[®] Ultimate operating system の各日本語版かつ 32 ビット (x86) 版または 64 ビット (x64) 版の略です。

Windows[®] 7 は、Windows[®] 7 Starter、Windows[®] 7 Home Premium、Windows[®] 7 Professional および Windows[®] 7 Ultimate の各日本語版かつ 32 ビット (x86) 版または 64 ビット (x64) 版の略です。Mac、Macintosh は、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。

AOSS[™] は株式会社バッファローの商標です。

その他、各会社名、各製品名は各社の商標または登録商標です。

® マークおよび ™ 表記については本文中に明記しません。

 **警告**

設置場所

● **風呂、シャワー室への設置禁止**

風呂場やシャワー室などでは使用しないでください。
漏電して、火災・感電の原因となります。



● **水のかかる場所への設置禁止**

水のかかる場所で使用したり、水にぬらすなどして使用しないでください。
漏電して、火災・感電の原因となります。



● **本商品や AC プラグのそばに、水や液体の入った花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬用品などの容器、または小さな金属類を置かないでください。本商品や AC プラグに水や液体がこぼれたり、小さな金属類が中に入った場合、火災・感電の原因となることがあります。**



● **本商品や AC プラグを次のような環境に置かないでください。火災・感電・故障の原因となることがあります。**



- ・屋外、直射日光が当たる場所、暖房設備やボイラーの近くなどの温度が上がる場所
- ・調理台のそばなど、油飛びや湯気の当たるような場所
- ・湿気の多い場所や水・油・薬品などのかかるおそれがある場所
- ・ごみやほこりの多い場所、鉄粉、有毒ガスなどが発生する場所
- ・製氷倉庫など、特に温度が下がる場所

● **本商品を自動ドア、火災報知器などの自動制御機器の近くに置かないでください。**



本商品からの電波が自動制御機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因となることがあります。

警 告

こんなときは

● 発煙した場合

万一、煙が出ている、変なおいがするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。AC プラグを抜いて、煙が出なくなるのを確認し、当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。



● 水が装置内部に入った場合

万一、本商品やケーブルの内部に水などが入った場合は、すぐに AC プラグをコンセントから抜いて、当社のサービス取扱所にご連絡ください。そのまま使用すると漏電して、火災・感電の原因となります。



● 異物が装置内部に入った場合

本商品の通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなどの異物を差し込んだり、落としたりしないでください。万一、異物が入った場合は、すぐに AC プラグをコンセントから抜いて、当社のサービス取扱所にご連絡ください。

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。



● AC コードの取り扱い注意

付属の AC コード以外を使用したり、付属の AC コードを他の製品に使用したりしないでください。火災・感電の原因となることがあります。

また、AC コードに物を載せたり、掛けたりしないでください。断線し、火災・感電の原因となることがあります。



● AC コードが傷んだ場合

AC コードが傷んだ（芯線の露出・断線など）状態のまま使用すると火災・感電の原因となります。すぐに AC プラグをコンセントから抜いて、当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。




警告
● ACコードの取り扱い注意

ACコードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、束ねたりしないでください。火災・感電の原因となります。
また、重い物を載せたり、加熱したりすると AC コードが破損し、火災・感電の原因となります。


● 延長ケーブル

ACコードには、延長ケーブルは使わないでください。火災の原因となることがあります。


● 破損した場合

万一、落としたり、破損した場合は、すぐに AC プラグをコンセントから抜いて、当社のサービス取扱所にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。


● 異常音がしたり、キャビネットが熱くなっている場合

本商品から異常音がしたり、キャビネットが熱くなっている状態のまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。すぐに AC プラグをコンセントから引き抜いて、当社のサービス取扱所にて修理をご依頼ください。


禁止事項
● たこ足配線の禁止

本商品の AC コードは、たこ足配線にしないでください。たこ足配線にするとテーブルタップなどが過熱・劣化し、火災の原因となります。


● 商用電源以外の使用禁止

AC100 V ± 10 V (50/60 Hz) の商用電源以外では絶対に使用しないでください。火災・感電の原因となります。
差込口が2つ以上ある壁などのコンセントに他の電気製品の AC プラグを差し込む場合は、合計の電流値がコンセントの最大値を超えないように注意してください。火災・感電の原因となります。



● 本商品は家庭用の電子機器として設計されております。人命に直接関わる医療機器や、極めて高い信頼性を要求されるシステム（幹線通信機器や電算機システムなど）では使用しないでください。



警告

● 分解・改造の禁止

本商品のキャビネットは外さないでください。感電の原因となることがあります。キャビネットを開けられた場合は、本商品の保証対象外といたします。指定以外の内部の点検・調整・清掃・修理は、当社のサービス取扱所にご連絡ください。



● ぬらすことの禁止

本商品や AC プラグ、ケーブルに水が入ったりしないよう、また、ぬらさないようにご注意ください。漏電して火災・感電の原因となります。



● ぬれた手でのご操作禁止

ぬれた手で本商品や AC プラグ、ケーブルを操作したり、接続したりしないでください。感電の原因となります。



その他のご注意

● 異物を入れないための注意

本商品やケーブルの上に花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水の入った容器、または小さな貴金属を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。



● 航空機内や病院内などの無線機器の使用を禁止された区域では、本商品の電源を切ってください。電子機器や医療機器に影響を与え、事故の原因となります。



● 本商品は、高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器や心臓ペースメーカなどの近くに設置したり、近くで使用したりしないでください。電子機器や心臓ペースメーカなどが誤動作するなどの原因となることがあります。また、医療用電子機器の近くや病院内など、使用を制限された場所では使用しないでください。



● 本商品を医療機器や高い安全性が要求される用途では使用しないでください。人が死亡または重傷を負う可能性があり、社会的に大きな混乱が発生する恐れがあります。




注 意
設置場所
● 火気のそばへの設置禁止

本商品や AC コードを熱器具に近づけないでください。ケースや AC コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。


● 温度の高い場所への設置禁止

直射日光の当たるところや、温度の高いところ（40℃以上）、発熱する装置のそばに置かないでください。内部の温度が上がり、火災の原因となることがあります。


● 温度の低い場所への設置禁止

本商品を製氷倉庫など特に温度が下がるところに置かないでください。本商品が正常に動作しないことがあります。


● 湿度の高い場所への設置禁止

風呂場や加湿器のそばなど、湿度の高いところ（湿度 80%以上）では設置および使用はしないでください。火災、感電、故障の原因となることがあります。


● 油飛びや湯気の当たる場所への設置禁止

調理台のそばなど油飛びや湯気が当たるような場所、ほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。


● 不安定な場所への設置禁止

ぐらついた台の上や傾いた所、振動、衝撃の多い場所など、不安定な場所に置かないでください。
また、本商品の上に重い物を置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。


● 本商品を逆さまに置かないでください。

● 通風孔をふさぐことの禁止

本商品の通風孔をふさがしないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。次のような使いかたはしないでください。



- ・収納棚や本棚などの風通しの悪い狭い場所に押し込む
- ・じゅうたんや布団の上に置く
- ・テーブルクロスなどを掛ける
- ・毛布や布団をかぶせる

注 意

● 重ね置き禁止

本商品を重ね置きしないでください。重ね置きすると内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。



- 温度変化の激しい場所（クーラーや暖房機のそばなど）に置かないでください。本商品やケーブルの内部に結露が発生し、火災・感電の原因となります。



- 屋外には設置しないでください。屋外に設置した場合の動作保証はいたしません。



- 塩水がかかる場所、亜硫酸ガス、アンモニアなどの腐食性ガスが発生する場所で使用しないでください。故障の原因となることがあります。



禁止事項

● 乗ることの禁止

本商品に乗らないでください。特に小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。壊れてけがの原因となることがあります。



- 高い信頼性を要求される、幹線通信機器や電算機システムでは使用しないでください。社会的に大きな混乱が発生する恐れがあります。



電源

● プラグの取り扱い注意

AC プラグはコンセントに確実に差し込んでください。抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。AC コードを引っ張るとケーブルが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。



AC プラグの金属部に金属などが触れると火災、感電の原因となります。

注 意

● AC プラグの清掃

AC プラグとコンセントの間のほこりは、定期的（半年に1回程度）に取り除いてください。火災の原因となることがあります。

清掃の際は、必ず AC プラグをコンセントから抜いてください。火災・感電の原因となることがあります。



● 長期不在時の注意

長期間ご使用にならないときは、安全のため必ず AC プラグをコンセントから抜いてください。



● 機器の電源の入れ直しは、10 秒間以上おいてから行ってください。本商品が正常に動作しない場合があります。



その他のご注意

● 移動させるときの注意

移動させる場合は、AC プラグをコンセントから抜き、外部の接続線を外したことを確認のうえ、行ってください。ケーブルが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。



● 雷のときの注意

落雷の恐れのあるときは、必ず AC プラグをコンセントから抜いてご使用をお控えください。

落雷時に、火災、感電、故障の原因となることがあります。雷が鳴りだしたら、AC コードに触れたり、周辺機器の接続をしたりしないでください。落雷による感電の原因となります。



設置場所

- **本商品を安全に正しくお使いいただくために、次のような所への設置は避けてください。**
 - ・ほこりや振動が多い場所
 - ・酸化した薬品が充満した場所や、薬品に触れる場所
 - ・ラジオやテレビなどのすぐそばや、強い磁界を発生する装置が近くにある場所
 - ・特定無線局や移動通信体のある屋内
 - ・盗難防止装置など 2.4 GHz 周波数帯域を利用している装置のある屋内
 - ・高周波雑音を発生する高周波ミシン、電気溶接機などが近くにある場所
- **本商品を電気製品・AV・OA 機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところに置かないでください。(電子レンジ、スピーカ、テレビ、ラジオ、蛍光灯、電気こたつ、インバータエアコン、電磁調理器など)**
 - ・磁気や電気雑音の影響を受けると雑音が大きくなったり、通話ができなくなることがあります。(特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります。)
 - ・テレビ、ラジオなどに近いと受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れることがあります。
 - ・放送局や無線局などが近く、雑音が大きいつきは、本商品の設置場所を移動してみてください。
- **本商品をコードレス電話機やテレビ、ラジオなどをお使いになっている近くで使用すると影響を与える場合があります。**
- **本商品とコードレス電話機や電子レンジなどの電波を放射する装置との距離が近すぎると通信速度が低下したり、データ通信が切れる場合があります。また、コードレス電話機の通話にノイズが入ったり、発信・着信が正しく動作しない場合があります。このような場合は、お互いを数メートル以上離してお使いください。**
- **本商品の隙間から虫などが入ると、故障の原因となることがあります。**
 - ・厨房や台所などに設置するときは、虫などが入らないようにご注意ください。
- **本商品とひかりパーソナルフォンをご利用の際は、3m 以上離してお使いください。**

STOP

お願い

禁止事項

- 動作中にケーブル類が外れたり、接続が不安定になると誤動作の原因となり、大切なデータを失うことがあります。動作中は、コネクタの接続部には絶対に触れないでください。
- 落としたり、強い衝撃を与えないでください。故障の原因となることがあります。
- 本商品は家庭用の電子機器として設計されております。本商品にパソコンなどの電子機器を非常に多く接続し、通信が集中した場合に、本商品が正常に動作できない場合がありますのでご注意ください。

日頃のお手入れ

- 本商品のお手入れをする際は、安全のため必ず AC プラグをコンセントから抜いて行ってください。
- 汚れたら、乾いた柔らかい布でふき取ってください。汚れのひどいときは、中性洗剤を含ませた布でふいたあと、乾いた布でふき取ってください。化学ぞうきんの使用は避けてください。ただし、コネクタ部分はよくしぼった場合でもぬれた布では、絶対にふかないでください。
ベンジン、シンナーなどの有機溶剤、アルコールは絶対に使用しないでください。変形や変色の原因となることがあります。
- 本商品に殺虫剤などの揮発性のものをかけたりしないでください。また、ゴムやビニール、粘着テープなどを長時間接触させないでください。変形や変色の原因となることがあります。

ご利用前の注意事項

通信に関する注意事項

- お客様宅内での接続環境により、最大通信速度が得られない場合や、通信速度が変動する状態または通信が利用できない状態となる場合があります。
- インターネット常時接続をご利用の場合、ネットワークを介して外部からの不正侵入および情報搾取などの危険が増えます。必要に応じて、お客様のパソコン上にファイアウォールのソフトウェアをインストールするなどの対応をお願いいたします。

お客様情報に関する注意事項

- 本商品は、お客様固有のデータを登録または保持可能な商品です。本商品内のデータが流出すると不測の損害を受ける恐れがありますので、データの管理には十分お気をつけください。
- 本商品を廃棄（または譲渡、返却など）される際は、本商品を初期化することにより、本商品内のデータを必ず消去してください。
- 本商品の初期化は、本書に記載された初期化方法の手順にしたがって実施してください。

無線 LAN に関する注意事項

- 最大 300Mbps (規格値) や最大 54Mbps (規格値) は、IEEE802.11 の無線 LAN 規格の理論上の最大値であり、実際のデータ転送速度 (実効値) を示すものではありません。
- 無線 LAN の伝送距離や伝送速度は、周囲の環境条件 (通信距離、障害物・電子レンジなどの電波環境要素、使用するパソコンの性能、ネットワークの使用状況など) により大きく変動します。

電波に関するご注意

無線 LAN 機器の電波に関するご注意

本商品を IEEE802.11b、IEEE802.11g で利用時は、2.4GHz 帯域の電波を利用しており、この周波数帯では電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ラインなどで使用される移動体識別用構内無線局、および免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局など（以下、「他の無線局」と略す）が運用されています。

1. 本商品を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本商品と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合は、速やかに本商品の使用チャンネルを変更するか、使用場所を変えるか、または機器の運用を停止（電波の発射を停止）してください。
3. その他、電波干渉の事例が発生し、何かお困りのことが起きた場合には、本書の裏表紙に記載のお問い合わせ先へご連絡ください。

本商品を IEEE802.11a で利用時は、5GHz 帯域の電波を使用します。5.2GHz/5.3GHz 帯域の屋外での使用は電波法により禁じられています。

- 本商品は、日本国内でのみ使用できます。
- 次の場所では、電波が反射して通信できない場合があります。
 - ・強い磁界、静電気、電波障害が発生するところ（電子レンジ付近など）
 - ・金属製の壁（金属補強材が中に埋め込まれているコンクリートの壁も含む）の部屋
 - ・異なる階の部屋どうし
- 本商品と同じ無線周波数帯の無線機器が、本商品の通信可能エリアに存在する場合、転送速度の低下や通信エラーが生じ、正常に通信できない可能性があります。
- 本商品をコードレス電話機やテレビ、ラジオなどをお使いになっている近くで使用すると影響を与える場合があります。
- 本商品を 5.2GHz/5.3GHz 帯で使用する場合は、屋外で使わないでください。法令により 5.2GHz/5.3GHz 無線機器を屋外で使用することは禁止されているため、屋外で使用する場合は、あらかじめ 5.2GHz/5.3GHz 帯の電波を無効にしてください。

IEEE802.11b/g		
IEEE802.11a		
W52	W53	W56

※電波法により、W52、W53は屋外使用禁止です。

W52：使用可能なチャンネルは、36/40/44/48ch です。

W53：使用可能なチャンネルは、52/56/60/64ch です。

W56：使用可能なチャンネルは、100/104/108/112/116/120/124/128/132/136/140ch です。

- 本商品は、技術基準適合証明を受けていますので、以下の事項を行うと法律で罰せられることがあります。
 - ・本商品を分解／改造すること
- 本商品は、他社無線 LAN カードやパソコン内蔵の無線との動作を保証するものではありません。
- 本商品は 2.4GHz 全帯域を使用する無線設備であり、移動体識別装置の帯域が回避可能です。変調方式として DS-SS 方式および OFDM 方式を採用しており、与干渉距離は 40m です。

本商品に表示した

2.4	DS/OF	4
-----	-------	---

 は、次の内容を示します。

2.4	使用周波数帯域	2.4GHz 帯
DS/OF	変調方式	DS-SS および OFDM 方式
4	想定干渉距離	40m 以下
■ ■ ■	周波数変更の可否	全帯域を使用し、かつ、移動体識別装置の帯域を回避可能であること

無線 LAN 製品ご使用時におけるセキュリティに関するご注意

無線 LAN では、LAN ケーブルを使用する代わりに、電波を利用してパソコンなどと無線 LAN アクセスポイント間で情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由に LAN 接続が可能であるという利点があります。

その反面、電波はある範囲内であれば障害物（壁など）を越えてすべての場所に届くため、セキュリティに関する設定を行っていない場合、以下のような問題が発生する可能性があります。

- 通信内容を盗み見られる
悪意ある第三者が、電波を故意に傍受し、ID やパスワードまたはクレジットカード番号などの個人情報、メールの内容などの通信内容を盗み見られる可能性があります。
- 不正に侵入される
悪意ある第三者が、無断で個人や会社内のネットワークへアクセスし、個人情報や機密情報を取り出す（情報漏洩）、特定の人物になりすまして通信し、不正な情報を流したり、傍受した通信内容を書き換えて発信する（改ざん）、コンピュータウイルスなどを流しデータやシステムを破壊する（破壊）などの行為をされてしまう可能性があります。

本来、無線 LAN カードや無線 LAN アクセスポイントは、これらの問題に対応するためのセキュリティの仕組みを持っていますので、無線 LAN 製品のセキュリティに関する設定を行って製品を使用することで、その問題が発生する可能性は少なくなります。

無線 LAN 機器は、購入直後の状態においては、セキュリティに関する設定が行われていない場合があります。

したがって、お客様がセキュリティ問題発生の可能性を少なくするためには、無線 LAN カードや無線 LAN アクセスポイントをご使用になる前に、必ず無線 LAN 機器のセキュリティに関するすべての設定をマニュアルにしたがって行ってください。

なお、無線 LAN の仕様上、特殊な方法によりセキュリティ設定が破られることもありえますので、ご理解のうえ、ご使用ください。

セキュリティの設定などについて、ご不明な点があれば、本書の裏表紙に記載のお問い合わせ先へご連絡ください。

当社では、お客様がセキュリティの設定を行わないで使用した場合の問題を十分理解したうえで、お客様自身の判断と責任においてセキュリティに関する設定を行い、製品を使用することをお勧めします。

セキュリティ対策を行わず、あるいは、無線 LAN の仕様上やむをえない事情によりセキュリティの問題が発生してしまった場合、当社はこれによって生じた損害に対する責任はいっさい負いかねますのであらかじめご了承ください。

目次

1 はじめに 21

おもな特長.....	21
動作環境.....	22
パッケージ内容.....	23
WA-1100-S(セット品)をお買い上げの方.....	23
WA-1100(増設用単品)をお買い上げの方.....	25
各部の名称とはたらき.....	27
前面.....	27
背面.....	27
底面.....	29
壁掛け用プレートとACアタッチメントについて.....	30
壁への取り付け.....	30
ACアタッチメントの取り付け.....	31
本商品の設置イメージ.....	32

2 設置方法について (WA-1100-S セット品の場合) .33

設置のながれ.....	33
1台目を設置する.....	34
2台目を設置する.....	36
通信速度を確認する.....	38
ネットワーク機器を接続する.....	40
インターネットまたは映像サービスが利用できた場合.....	40
インターネットまたは映像サービスが利用できなかった場合.....	40

3 増設方法について (WA-1100 増設用単品の場合) .43

増設方法について.....	43
<パターン1> 既設子機と並列に設置する場合.....	43
<パターン2> 既設子機を中継器にする場合.....	43
増設用単品を設置する.....	44
<パターン1> 既設子機と並列に設置する場合.....	44
<パターン2> 既設子機を中継器にする場合.....	47
ネットワーク機器を接続する.....	51
インターネットまたは映像サービスが利用できた場合.....	51

インターネットまたは映像サービスが利用できなかった場合	51
ひかり電話を利用するときの注意点	52

4 本商品の設定画面 53

設定画面とは	53
設定画面を表示する	54
メニュー構成	58
LAN 設定	60
LAN	60
無線設定	61
WPS	61
AOSS	62
11n/a/g/b	65
拡張	68
WMM	69
MAC アクセス制限	72
マルチキャスト制御	73
WA-1100 間接続	74
管理設定	76
本体	76
パスワード	76
時刻	77
NTP	78
エコ	79
アクセス	80
ログ	81
保存 / 復元	82
初期化 / 再起動	83
ファーム更新	83
ステータス	84
システム	84
ログ	85
通信パケット	86
クライアントモニター	86
診断	87

5 本商品の各種設定 89

おまかせ節電機能を使って消費電力を抑える	89
AOSS 接続で設定された内容を確認する	90

AOSS 接続を無効にする	92
倍速モード (最大 300Mbps) で通信する	93
無線チャンネルを変更する	94
他の無線機器から本商品を検索できなくする (ANY 接続拒否)	96
アクセス可能な無線機器を制限する (MAC アクセス制限)	98
無線機器同士の通信を禁止する (プライベートセパレーター)	101
WEP 接続の無線機器からのアクセスを制限する (隔離機能)	103
ブロードバンド映像サービスの利用設定をする	105
設定画面のパスワードを設定する	106
本商品のファームウェアバージョンを確認する	108
設定画面を利用して本商品同士を無線接続する	109

6 付属ソフトの使いかた..... 113

ソフトウェア概要	113
無線親機設定ユーティリティ	113
無線子機設定ユーティリティ (FT-STC/U-B 設定ユーティリティ) ..	113
インストール方法	114
無線親機設定ユーティリティの使いかた	117
起動と終了のしかた	117
トップ画面	117
無線親機を選択画面	118
操作の選択画面	119
完了画面	120
無線親機の IP アドレス設定画面	121
無線子機設定ユーティリティの使いかた (Windows 7/Vista)	122
起動と終了のしかた	122
メイン画面	123
接続先の作成画面	124
接続先の作成画面 (オプション)	125
手動設定方法の選択画面	126
無線親機の検索画面	127
追加するワイヤレスネットワークの情報画面	128
詳細設定画面 (ステータス)	129
無線 LAN 診断画面	131
詳細設定画面 (接続先一覧)	132
接続先情報の編集画面 (無線設定の表示)	133
接続先情報の編集画面 (ネットワーク設定)	134
接続先情報の編集画面 (ブラウザ設定)	135
接続先情報の編集画面 (プリンタ設定)	136
無線子機設定ユーティリティの使いかた (Windows XP)	137
起動と終了のしかた	137

タスクトレイアイコンメニュー.....	138
ステータス画面.....	139
検索画面.....	141
接続画面.....	142
プロフィール画面.....	143
プロフィール情報の設定画面(基本設定).....	144
プロフィール情報の設定画面(ネットワーク).....	145
プロフィール情報の設定画面(ブラウザ).....	146
プロフィール情報の設定画面(プリンタ).....	147
オプションメニュー.....	148
ソフトウェアの削除.....	149

7 パソコンを無線接続する 153

本商品との接続例.....	153
接続のながれ.....	155
AOSS/WPS(プッシュボタン式)を使って接続する場合.....	155
WPS(PINコード式)を使って接続する場合.....	156
本商品を検索して接続する場合.....	157
本商品との接続.....	158
AOSS/WPS(プッシュボタン式)を使って接続する場合(Windows 7/ Vista).....	158
AOSS/WPS(プッシュボタン式)を使って接続する場合(Windows XP).....	165
WPS(PINコード式)を使って接続する場合(Windows 7/Vista).....	170
WPS(PINコード式)を使って接続する場合(Windows XP).....	177
本商品を検索して接続する場合(Windows 7/Vista).....	182
本商品を検索して接続する場合(Windows XP).....	188

8 困ったときは 191

無線接続で困ったとき.....	191
本商品の設定画面が表示できなくて困ったとき.....	192
その他の設定で困ったとき.....	193

9 付録..... 195

製品仕様.....	195
ケーブル仕様.....	197

ツイストペアケーブルとポート仕様	197
初期設定一覧	198
用語集	202
保守サービスのご案内	205
保証について	205
保守サービスについて	205
補修用部品の保有期間について	205
設定内容一覧表	206
索引	209

MEMO

1

はじめに

おもな特長

本商品のおもな特長は次のとおりです。

優先制御機能

ひかり電話および一部の映像サービスに対して優先制御を適用することで、他のデータ通信（ファイルダウンロードなど）の影響による音声や映像の乱れを小さくすることが可能となります。この優先制御は自動的に設定されます。

IEEE802.11n、IEEE802.11a/b/g 対応

伝送方式として、5.2～5.6GHz MIMO-OFDM/OFDM方式、2.4GHz MIMO-OFDM/OFDM方式、2.4GHz DS-SS方式を採用。IEEE802.11nやIEEE802.11a/b/g規格に対応した無線機器との間でデータ通信ができます。

※ 5.2～5.6GHzと2.4GHzは、同時使用できません。

倍速モードを搭載

2つのチャンネル(通信帯域)を使用して無線通信を高速化する倍速モードを搭載。規格上300Mbpsの高速通信を実現します。

AOSS機能

バッファロー社が開発したAOSS(AirStation One-Touch Secure System)機能を搭載。無線機器同士の接続と暗号化をワンタッチで簡単に行うことができます。

セキュリティー機能

本商品は、以下のセキュリティー機能を搭載しています。

- WPA-PSK (TKIP/AES)
- WPA2-PSK (TKIP/AES)
- WEP (128/64bit)

マルチセキュリティー機能

AES/TKIP/WEPを混在利用できるマルチセキュリティー機能を搭載。3つのセキュリティー方式の混在利用が可能で様々な機器と接続することができます。

WDS機能(WA-1100間接続)

通信距離の延長や、電波の届かない死角エリアへの中継を可能にするWDS機能(WA-1100間接続)を搭載。本商品のAOSSボタンをそれぞれ押すだけでセキュアな中継を行うことができます。

電波混雑防止機能

周囲にある無線機器の使用状況を見て、使用されていないチャンネルを自動的に本商品に割り当てる電波混雑防止機能を搭載。電波干渉の発生を防ぎます。

100BASE-TX/10BASE-T 対応スイッチングハブを搭載

100BASE-TX/10BASE-T に対応したスイッチングハブを搭載しているため、パソコンなどのネットワーク機器を接続し、高速通信を行うことができます。

Web ブラウザーによる設定画面

パソコンの Web ブラウザーを使って、本商品の設定を簡単に行うことができます。

動作環境

本商品の動作環境は次のとおりです。

対応機器

- LAN 端子 (RJ-45) を搭載した、ネットワーク機器 (CTU (加入者網終端装置)、ひかり電話ルーターなど)、パソコン、映像サービス用セットトップボックスなど
- 無線 LAN 機能を搭載したパソコンなど

対応 OS

< WA-1100 本体 >

Windows 7 (32bit/64bit)、Vista (32bit/64bit)、XP (32bit)、Mac OS X (10.4 以降)

※ Windows 7 は、Starter/Home Premium/Professional/Ultimate に対応しています。

※ Windows Vista は、Home Basic/Home Premium/Business/Ultimate に対応しています。

< 設定ユーティリティ >

Windows 7 (32bit/64bit)、Vista (32bit/64bit)、XP (32bit)

※ Windows 7 は、Starter/Home Premium/Professional/Ultimate に対応しています。

※ Windows Vista は、Home Basic/Home Premium/Business/Ultimate に対応しています。

対応ブラウザ

Internet Explorer 6.0 以降

Safari 5.0 以降 (Mac OS X のみ)

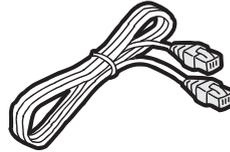
パッケージ内容

設置を始める前に、パッケージ内容がすべて揃っていることを確認してください。セットに足りないものがあったり、取扱説明書に乱丁・落丁があった場合などは、当社のサービス取扱所にご連絡ください。

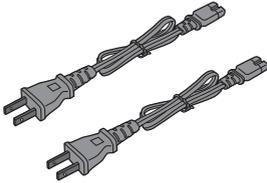
WA-1100-S(セット品)をお買い上げの方



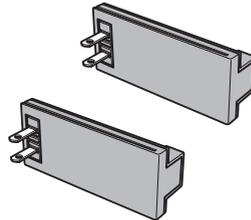
本体..... 2台



LAN ケーブル(ストレート) 1本



AC コード..... 2本



AC アタッチメント 2個



壁掛け用ねじ 4個

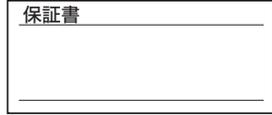


WA-1100 専用 CD-ROM 1枚

第1章 はじめに



取扱説明書(本書) 1冊



保証書 1枚



通信機器お取扱相談センターシール... 1枚



無線注意ラベル 1枚



ワンポイント

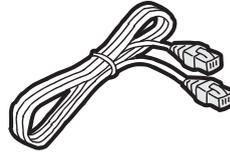
- 別紙で追加情報が添付されている場合は、必ず参照してください。
- 本商品は、GPLの適用ソフトウェアを使用しており、本商品のユーザー登録をされた方は、これらのソースコードの入手、改変、再配布の権利があります。詳細は、以下のホームページをご覧ください。

[NTT 東日本] <http://web116.jp/ced/>
[NTT 西日本] <http://www.ntt-west.co.jp/kiki/>

WA-1100(増設用単品)をお買い上げの方



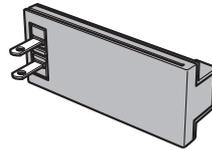
本体..... 1台



LAN ケーブル(ストレート) 1本



AC コード..... 1本



AC アタッチメント 1個



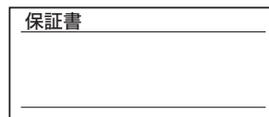
壁掛け用ねじ 2個



WA-1100 専用 CD-ROM 1枚



取扱説明書(本書) 1冊



保証書 1枚

第1章 はじめに



通信機器お取扱相談センターシール... 1枚



無線注意ラベル 1枚



ワンポイント

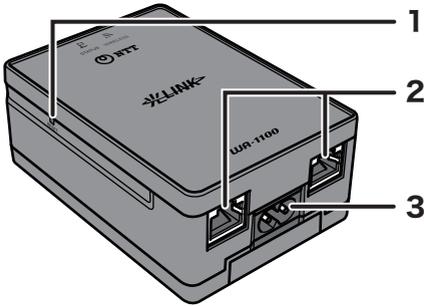
- 別紙で追加情報が添付されている場合は、必ず参照してください。
- 本商品は、GPLの適用ソフトウェアを使用しており、本商品のユーザー登録をされた方は、これらのソースコードの入手、改変、再配布の権利があります。詳細は、以下のホームページをご覧ください。

[NTT 東日本] <http://web116.jp/ced/>

[NTT 西日本] <http://www.ntt-west.co.jp/kiki/>

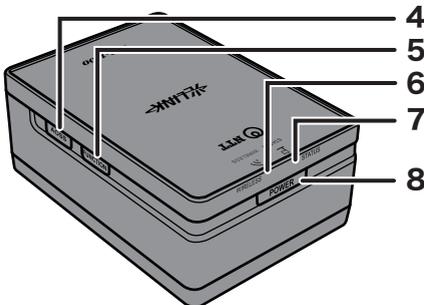
各部の名称とはたらき

前面



1. **リセットスイッチ (RESET)** 本商品の電源を入れた状態で、ステータスランプおよびワイヤレスランプの両方が消えるまで押し続けてください。本商品の設定が初期化されます。
2. **LAN ポート** LAN ケーブルを使ってネットワーク機器を接続します。10M/100M 対応スイッチングハブです。
3. **電源コネクタ** 付属の AC ケーブルを接続します。

背面



4. **AOSS ボタン** 本商品の電源を入れた状態で、ワイヤレスランプが点滅するまで (約 1 秒間) ボタンを押すと、本商品がセキュリティーキー交換処理を行える状態 (AOSS 動作状態) になります。

5. ファンクションボタン(FUNCTION)

子機として設定した本商品のワイヤレスランプとステータスランプが交互に橙色点滅するまで(約3秒間)ボタンを押し続けると、通信速度計測モードに移行します。計測後、通信速度に応じて、ワイヤレスランプが以下の色で点灯します。

緑: 60Mbps 以上

橙: 30 ~ 60Mbps

赤: 30Mbps 未満

(詳細は、「通信速度を確認する」(P.38)を参照してください)

6. ワイヤレスランプ(WIRELESS)

無線 LAN の動作状態を表示します。

点灯(緑) : 無線 5 GHz 動作時

点灯(橙) : 無線 2.4 GHz 動作時

2 回点滅(緑または橙)

: 本商品がセキュリティーキー交換処理を行える状態
(AOSS/WPS 待機中)

連続点滅 : AOSS/WPS 接続エラー、セキュリティーキー交換処理に失敗

点灯(赤) : 無線停止時

消灯 : 電源 OFF 時

7. ステータスランプ(STATUS)

本商品の状態を表示します。

点灯(緑) : 本商品の中継機能が有効かつ、親機(マスター)として動作している場合

本商品の中継機能が有効かつ、子機(スレーブ)として動作しており、親機(マスター)に接続済みの場合
本商品の中継機能が有効かつ、AOSS 設定時、他の機器と接続済みの場合

2 回点滅(緑) : 本商品の中継機能が有効かつ、子機(スレーブ)として動作しており、親機(マスター)に未接続の場合

本商品の中継機能が有効かつ、AOSS 設定時、他の機器と未接続の場合

1 回点滅(赤)*1 : RAM 異常

2 回点滅(赤)*1 : フラッシュROM 異常

3 回点滅(赤)*1 : 有線 LAN 異常

4 回点滅(赤)*1 : 無線 LAN 異常

5 回点滅(赤) : IP アドレス設定異常

連続点滅(赤)*2 : ファームウェアアップデート中

設定保存中、設定初期化中

*1 いったん本商品の電源を OFF にし、数秒経ってから再度電源を ON にしてください。

*2 ステータスランプの点滅が続く場合は、本商品の電源を OFF にしたり、電源ケーブルを抜かないでください。



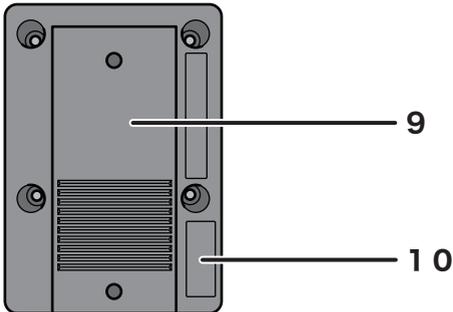
お知らせ

ワイヤレスランプ(WIRELESS)とステータスランプ(STATUS)は、以下の場合に交互に点滅します。

- | | |
|----------|-----------|
| 通信速度計測中 | : 橙色で交互点滅 |
| 音声通話困難状態 | : 赤色で交互点滅 |

- 8. 電源ボタン(POWER)** 電源 OFF の状態で電源ボタンを押すと、本商品の電源が ON になります。本商品の動作中に 5 秒間電源ボタンを押し続けると、本商品の電源が OFF になります。

底面



- 9. 壁掛け用プレート** 本商品を壁に取り付けるためのプレートです。スライドさせると本体から取り外すことができます。壁掛け用プレートを取り外して、付属の AC アタッチメントを取り付けることもできます。
- 10. 出荷設定一覧(ラベル)** 本商品の出荷時設定値(SSIDや暗号化キーなど)が記載されています。※ここに印字されている SSID の値が本商品の MAC アドレスとなります。

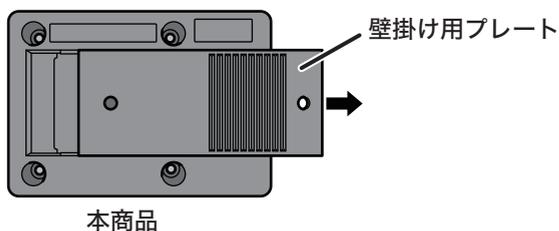
壁掛け用プレートとAC アタッチメントについて

本商品には、出荷時に壁掛け用プレートが取り付けられています。このプレートを使用すると、本商品を壁に固定することができます。

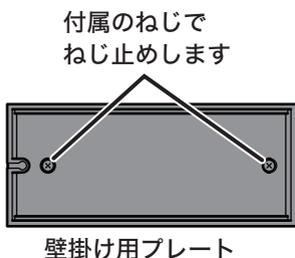
また、壁掛け用プレートを取り外し、AC アタッチメントを取り付けると、本商品を直接電源コンセントに挿すことができます。

壁への取り付け

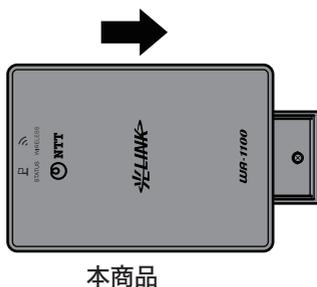
- 1 本商品底面の壁掛け用プレートを矢印の向きにスライドして取り外します。



- 2 付属の壁掛け用ねじを使って、壁掛け用プレートを壁に固定します。

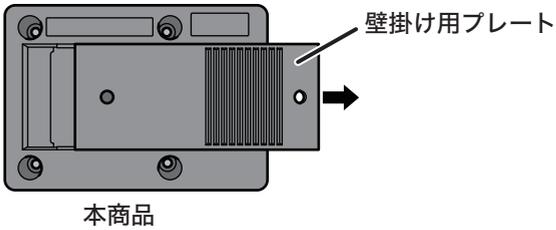


- 3 本商品を矢印の方向にスライドして固定します。

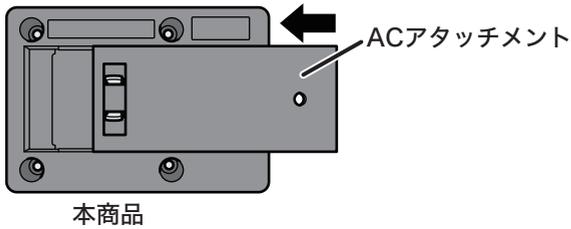


AC アタッチメントの取り付け

- 1 本商品底面の壁掛け用プレートを矢印の向きにスライドして取り外します。



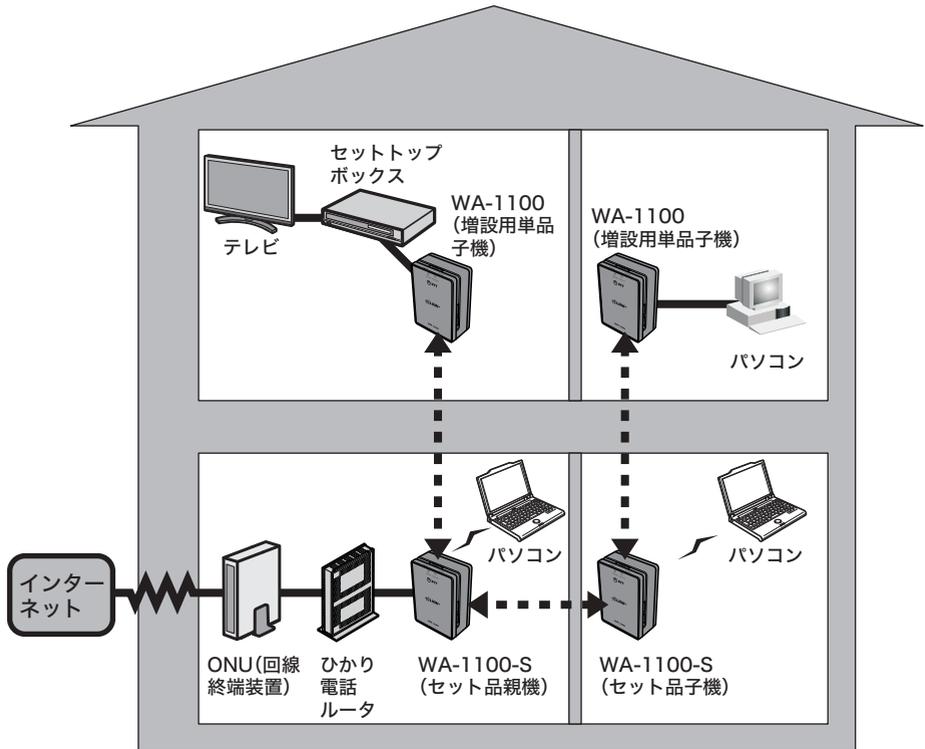
- 2 AC アタッチメントを矢印の方向にスライドさせて取り付けます。



本商品の設置イメージ

WA-1100-S(セット品)は、ご利用される場所に設置し、電源を投入するだけで、自動的に親機、子機
の関係を構築し、通信が可能となります。

また、WA-1100(増設用単品)を既設子機(WA-1100-Sの子機)に接続することで、既設子機は中継器
となり、無線エリアの延長をしていただくことが可能です。



お知らせ

本商品にはルータ機能はありません。複数のネットワーク機器をインターネットに接続するためには、ルータが必要です。ネットワーク環境にルータがない場合は、別途ルータをご準備ください。

※ CTU(加入者網終端装置)やひかり電話ルータをご使用の場合は、それらの機器にルータが搭載されています。また、ひかり電話ルータには、ONU(回線終端装置)一体型のものがあります。ルータ機能の有無については、ご使用の機器の取扱説明書等をご参照ください。

2

設置方法について

(WA-1100-S セット品の場合)

設置のながれ

WA-1100-S(セット品)をお買い上げの方は、以下のながれで設置してください。

1 台目を設置する (P34)



2 台目を設置する (P36)



通信速度を確認する (P38)



ネットワーク機器を接続する (P40)



設定完了



お知らせ

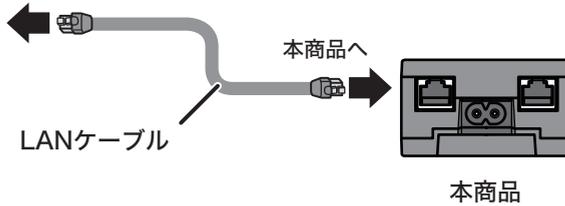
- WA-1100-S は、出荷時にお互いの無線接続設定が完了していますので、P34 ~ P37 の手順にしたがって設置するだけで、すぐにお使いいただけます。
- 本商品のリセットスイッチを押して設定を初期化した場合は、「インターネットまたは映像サービスが利用できなかった場合」(P40) の手順にしたがって、無線接続設定を行ってください。

1 台目を設置する

工場出荷時において、同梱されている2台は、親機、子機の区別はありません。ご利用のネットワーク環境に接続することにより、自動的に親機、子機の関係を構築します。どちらか一方を取り出し、下記にしたがって設置をしてください。

- 1 ひかり電話ルータや CTU(加入者網終端装置)などと本商品を LAN ケーブルで接続します。

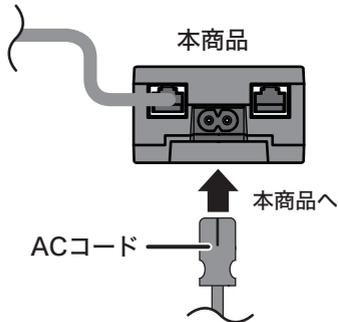
ひかり電話ルータ、CTU
(加入者網終端装置)などへ



お知らせ

以降の手順を行う前に、ひかり電話ルータや CTU(加入者網終端装置)などに電源が入っていることをあらかじめご確認ください。

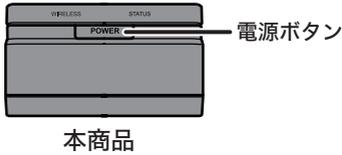
- 2 付属の AC コードを本商品とコンセントに接続します。



ワンポイント

AC コードの代わりに、付属の AC アタッチメントもご使用いただけます。詳しくは、「AC アタッチメントの取り付け」(P.31)を参照してください。

3 本商品の電源ボタンを押して電源を ON にします。

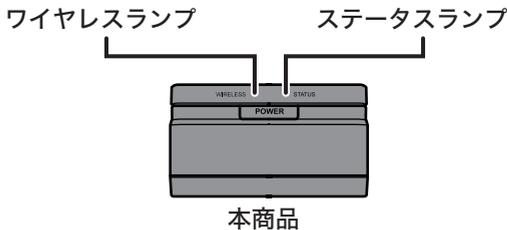


ワンポイント

本商品の電源投入後は、ランプが以下のように推移した後、手順4のようになります。

順番	ワイヤレスランプ	ステータスランプ
1	点灯(橙)	点灯(橙)
2	消灯	点灯(赤)
3	点灯(赤)	点灯(橙)
4	点灯(赤)	点灯(赤)

4 約1分後、本商品のランプが以下のようにになっていることを確認します。



ワイヤレスランプ:点灯(緑または橙)

ステータスランプ:点滅(緑)[※]

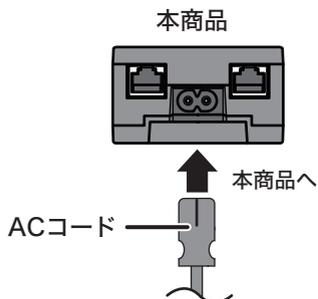
[※]2台目を設置してしばらくすると、点灯(緑)に変わります。

以上で1台目の設置は完了です。

2 台目を設置する

1 台目の設置が完了したら、以下の手順で2 台目を設置してください。

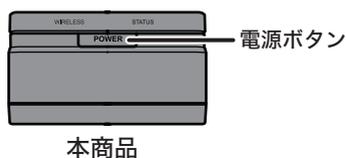
1 付属の AC コードを本商品とコンセントに接続します。



ワンポイント

AC コードの代わりに、付属の AC アタッチメントもご使用いただけます。
詳しくは、「AC アタッチメントの取り付け」(P.31)を参照してください。

2 本商品の電源ボタンを押して電源を入れます。

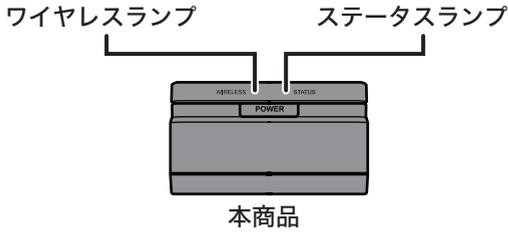


ワンポイント

本商品の電源投入後は、ランプが以下のように推移した後、手順3のようになります。

順番	ワイヤレスランプ	ステータスランプ
1	点灯(橙)	点灯(橙)
2	消灯	点灯(赤)
3	点灯(赤)	点灯(橙)
4	点灯(赤)	点灯(赤)

3 約1分後、本商品のランプが以下のようにになっていることを確認します。



ワイヤレスランプ:点灯(緑または橙)

ステータスランプ:点滅(緑)[※]

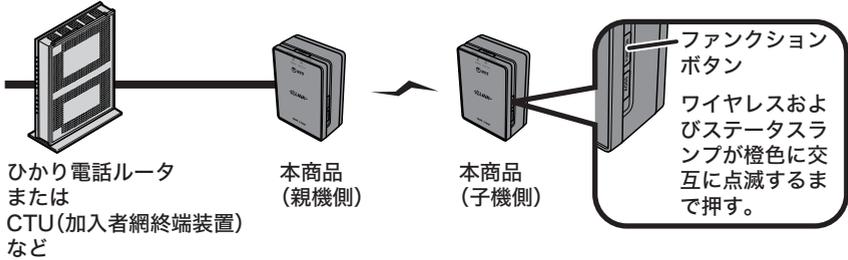
※設置してしばらくすると、点灯(緑)に変わります。

以上で2台目の設置は完了です。

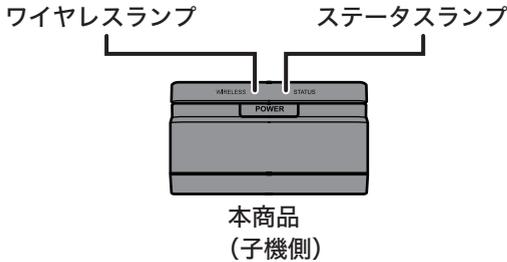
通信速度を確認する

本商品同士の通信が遅い場合は、快適なデータ通信ができません。ネットワーク機器を接続する前に、本商品間の通信速度を以下の手順で確認してください。

- 1 子機側のファンクションボタン(FUNCTION)を3秒間押します。



- 2 通信速度の測定が開始されます。測定中は、子機側のワイヤレスランプとステータスランプが交互に橙色に点滅します。



3 通信速度の測定が完了すると、測定結果がランプで表示されます。

ステータスランプ	橙		
ワイヤレスランプ	赤	橙	緑
通信速度	遅い 30Mbps未満	30~60Mbps	速い 60Mbps以上




お知らせ

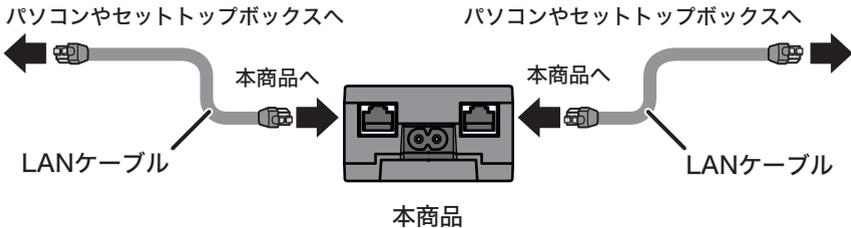
- 通信速度の測定結果は約 20 秒間表示されます。
- 速度測定中は本商品を動かさないでください。
- ひかり電話または映像サービス※を快適にご利用いただくためには、通信速度の測定を行い、ワイヤレスランプが橙もしくは緑に点灯することを確認し、ご利用いただくことをお勧めします。
ただし、増設子機を利用された場合や、複数の映像サービスを利用された場合や、データ通信を同時に利用された場合、緑でも正常な通信ができない可能性があります。
※すべての映像サービスでの動作を保証するものではありません。
- 通信速度の測定結果は、親機一子機のおおよそのデータ通信速度であり、ご利用環境によって変わるため、通信品質が劣化したり、通信が切断される場合があります。
- ひかり電話をご利用時は、緊急時などの発信時に備え、ワイヤレスアダプタに接続しない電話機の併設を推奨します。
- 設置場所を変更しても通信速度が改善されない場合は、本書の第8章「困ったときは」(P.191)にしたがって確認してください。
- 通信速度の測定を誤って親機側で行った場合、ワイヤレスランプとステータスランプが交互に赤色に点滅します。子機側で再度やり直してください。

以上で設定は完了です。

ネットワーク機器を接続する

通信速度の確認が完了したら、パソコンまたは映像サービス用セットトップボックスに接続し、インターネットまたは映像サービスが利用できるか確認してください。

- 1 パソコンまたは映像サービス用セットトップボックスを本商品に接続します。



ワンポイント

上記のイラストでは、例として LAN ケーブルを使って接続しています。パソコンの場合は、無線で本商品に接続することもできます。詳しくは、「パソコンを無線接続する」(P153) を参照してください。

- 2 本商品に接続したパソコン、または映像サービス用セットトップボックスで、インターネットまたは映像サービスが利用できるか確認してください。

インターネットまたは映像サービスが利用できた場合

設定はすべて完了です。そのままご使用ください。

インターネットまたは映像サービスが利用できなかった場合

以下の手順で本商品の設定を行った後、再度インターネットに接続できるか確認してください。

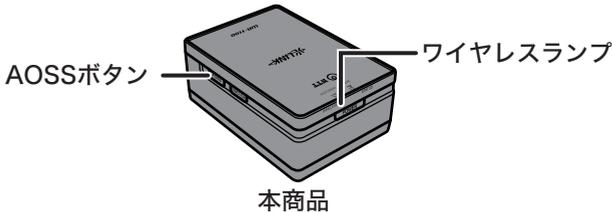
- 1 P34 ~ P37 を参照して、1 台目および 2 台目が正しく設置されていることを確認します。

2 1台目および2台目とも電源がONになっていることを確認します。

お知らせ

電源がOFFの場合は、本商品の電源ボタンを押して電源をONにし、1分程度経ってから手順3以降を行ってください。

3 本商品のワイヤレスランプが点滅するまで(約1秒間)、1台目と2台目の AOSS ボタンを押し続けます。(この操作は、1台目、2台目共に行います)



ワンポイント

AOSS 接続中は、ランプが以下のように推移した後、手順4のようになります。

順番	ワイヤレスランプ	ステータスランプ
1	2回点滅(緑または橙)	点灯(緑)
2	点灯(緑または橙)	点灯(緑)
3	点灯(緑または橙)	点滅(緑)

4 2分程度経ってから、本商品のワイヤレスランプが2台共に点灯(緑または橙)することを確認します。

お知らせ

どちらかのワイヤレスランプが点滅(緑または橙)している場合は、設定に失敗しています。本商品同士を近づけてから、再度手順3を行ってください。

以上で設定は完了です。

MEMO

3

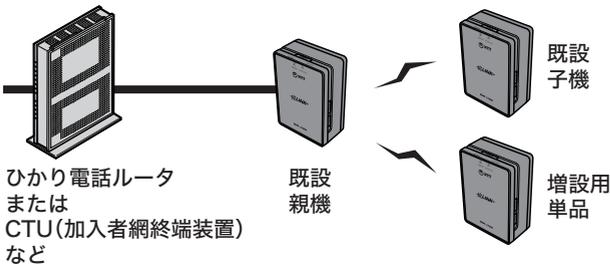
増設方法について

(WA-1100 増設用単品の場合)

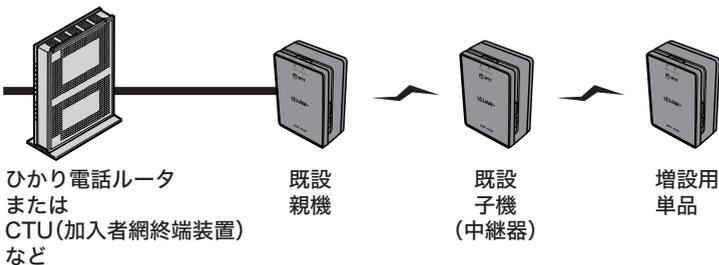
増設方法について

増設方法については、以下の2通りの方法があります。ご利用の形態にあわせて、設定を行ってください。

＜パターン1＞ 既設子機と並列に設置する場合



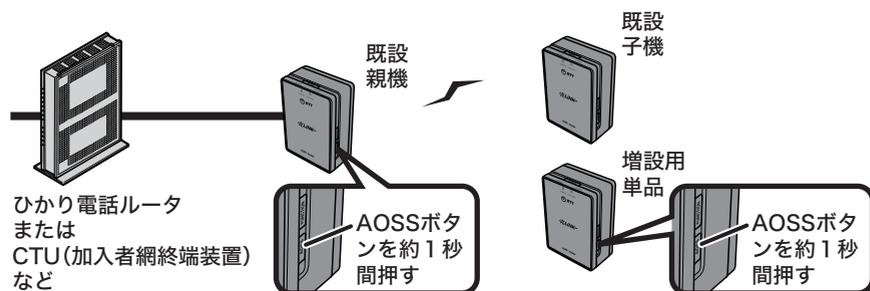
＜パターン2＞ 既設子機を中継器にする場合



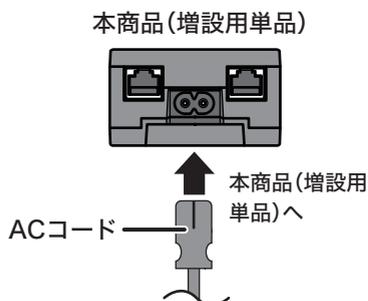
増設用単品を設置する

<パターン1> 既設子機と並列に設置する場合

既設子機と並列に接続する場合は、以下の手順で既設親機と増設用単品間で設定を行います。



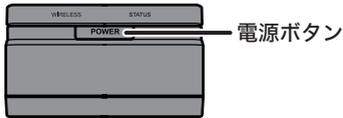
- 1 付属の AC コードを増設用単品とコンセントに接続します。



ワンポイント

ACコードの代わりに、付属の AC アタッチメントもご使用いただけます。
詳しくは、「AC アタッチメントの取り付け」(P.31) を参照してください。

2 増設用単品の電源ボタンを押して電源を入れます。



本商品 (増設用単品)

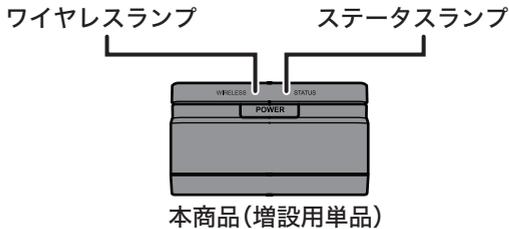


ワンポイント

増設用単品の電源投入後は、ランプが以下のように推移した後、手順3のようになります。

順番	ワイヤレスランプ	ステータスランプ
1	点灯(橙)	点灯(橙)
2	消灯	点灯(赤)
3	点灯(赤)	点灯(橙)
4	点灯(赤)	点灯(赤)

3 約1分後、増設用単品のランプが以下のようにになっていることを確認します。

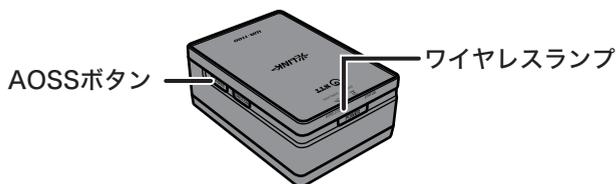


本商品 (増設用単品)

ワイヤレスランプ: 点灯(緑または橙)

ステータスランプ: 点灯(緑)

- 4 既設親機と増設用単品の AOSS ボタンをワイヤレスランプが点滅するまで(約1秒間)、押し続けます。



ワンポイント

AOSS 接続中は、ランプが以下のように推移した後、手順5のようになります。

順番	ワイヤレスランプ	ステータスランプ
1	2回点滅(緑または橙)	点灯(緑)
2	点灯(緑または橙)	点灯(緑)
3	点灯(緑または橙)	点滅(緑)

- 5 2分程度待ってから、ワイヤレスランプが2台ともに点灯(緑または橙色)することを確認します。



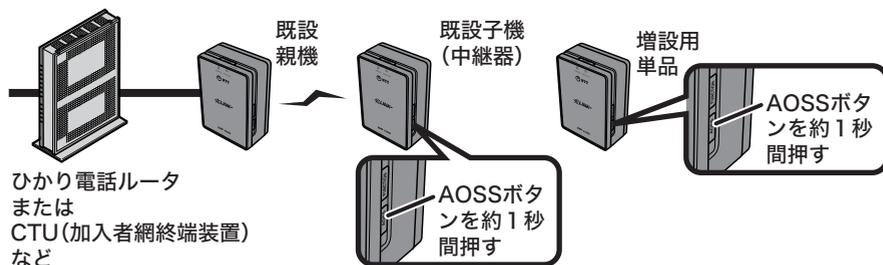
お知らせ

- 増設用単品のワイヤレスランプが点滅(緑または橙)している場合は、設定に失敗しています。増設用単品を既設親機に近づけてから、再度手順4を行ってください。
- 増設を行う際、一度すべての通信が切断されますが、増設完了後、既存の無線通信は、自動的に再接続されます。

以上で設定は完了です。

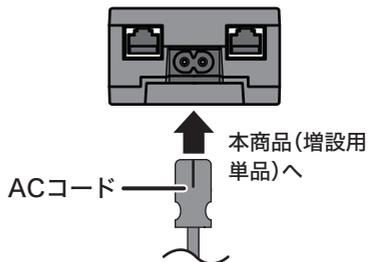
<パターン2> 既設子機を中継器にする場合

既設子機を中継器とする場合は、以下の手順で既設子機と増設用単品との間で設定を行います。



- 1 付属の AC コードを増設用単品とコンセントに接続します。

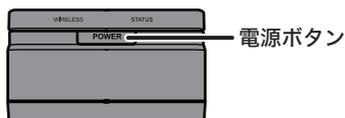
本商品(増設用単品)



ワンポイント

ACコードの代わりに、付属の AC アタッチメントもご使用いただけます。
詳しくは、「AC アタッチメントの取り付け」(P.31) を参照してください。

2 増設用単品の電源ボタンを押して電源を入れます。



本商品 (増設用単品)



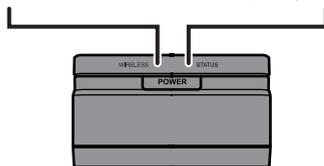
ワンポイント

増設用単品の電源投入後は、ランプが以下のように推移した後、手順3のようになります。

順番	ワイヤレスランプ	ステータスランプ
1	点灯(橙)	点灯(橙)
2	消灯	点灯(赤)
3	点灯(赤)	点灯(橙)
4	点灯(赤)	点灯(赤)

3 約1分後、増設用単品のランプが以下のようにになっていることを確認します。

ワイヤレスランプ ステータスランプ

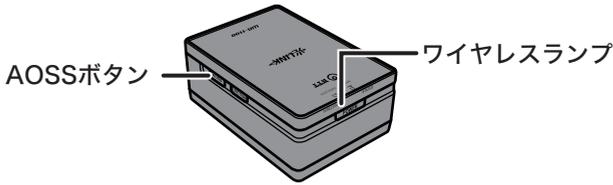


本商品 (増設用単品)

ワイヤレスランプ:点灯(緑または橙)

ステータスランプ:点灯(緑)

- 4 既設子機(中継器)と増設用単品の AOSS ボタンをワイヤレスランプが点滅するまで(約1秒間)、押し続けます。



ワンポイント

AOSS 接続中は、ランプが以下のように推移した後、手順5のようになります。

順番	ワイヤレスランプ	ステータスランプ
1	2回点滅(緑または橙)	点灯(緑)
2	点灯(緑または橙)	点灯(緑)
3	点灯(緑または橙)	点滅(緑)

- 5 2分程度待ってから、ワイヤレスランプが2台ともに点灯(緑または橙色)することを確認します。



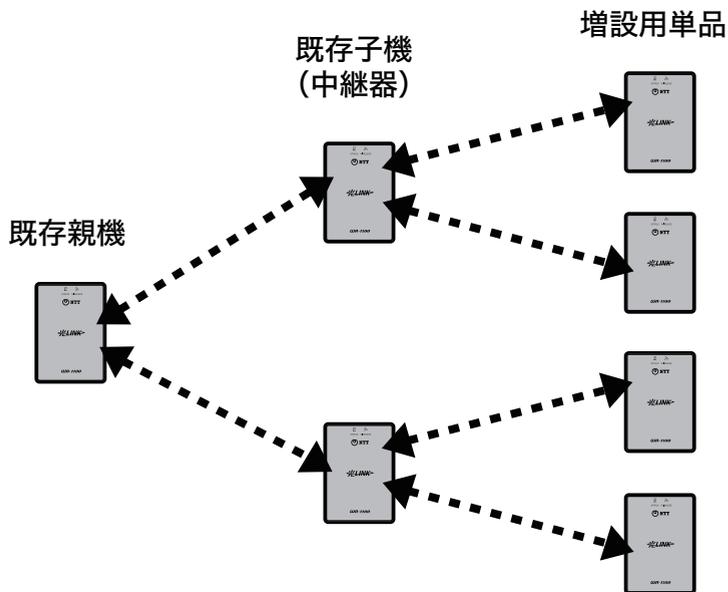
お知らせ

- 増設用単品のワイヤレスランプが点滅(緑または橙)している場合は、設定に失敗しています。増設用単品を既設子機(中継器)に近づけてから、再度手順4を行ってください。
- 増設を行う際、一度すべての通信が切断されますが、増設完了後、既存の無線通信は、自動的に再接続されます。
- 増設用単品で通信速度の計測を行った場合、既設子機と増設用単品との間での速度結果となります。

以上で設定は完了です。

STOP お願い

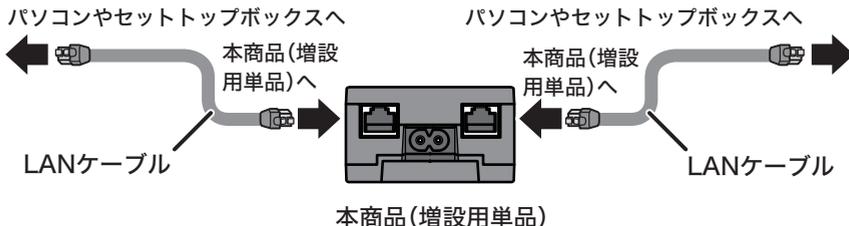
本商品の最大構成台数(推奨値)については、以下の通りです。



ネットワーク機器を接続する

増設用単品の設定が完了したら、パソコンまたは映像サービス用セットトップボックスに接続し、インターネットまたは映像サービスが利用できるか確認してください。

- 1 パソコンまたは映像サービス用セットトップボックスを増設用単品に接続します。



ワンポイント

上記のイラストでは、例としてLANケーブルを使って接続しています。パソコンの場合は、無線で増設用単品に接続することもできます。詳しくは、「パソコンを無線接続する」(P153)を参照してください。

- 2 増設用単品に接続したパソコン、または映像サービスセットトップボックスで、インターネットまたは映像サービスが利用できるか確認してください。

インターネットまたは映像サービスが利用できた場合

設定はすべて完了です。そのままご使用ください。

インターネットまたは映像サービスが利用できなかった場合

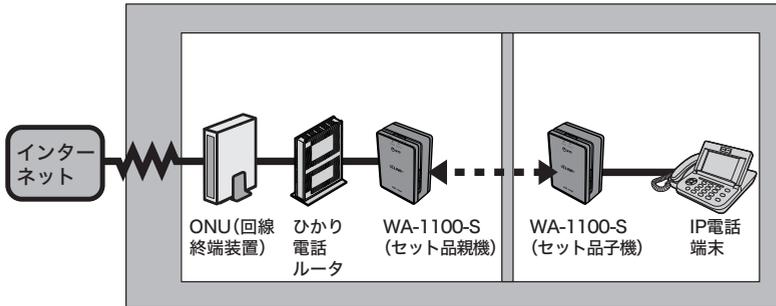
「増設用単品を設置する」(P44)を再度行った後、再度インターネットに接続できるか確認してください。

ひかり電話を利用するときの注意点

ワイヤレスアダプタ(WA-1100)をひかり電話に利用する際は以下の点にご注意ください。

- フレッツ 光ネクスト、B フレッツの場合、**ひかり電話ルータと IP 電話端末(フレッツフォン等)との間**にて利用してください。

(ONU(回線終端装置)とひかり電話ルータの間には接続しないでください。)



- フレッツ 光プレミアムの場合、**ひかり電話対応機器 (VoIP アダプタ) と IP 電話端末の間**に利用してください。
(ONU(回線終端装置)と CTU(加入者網終端装置)との間、ならびに、CTU(加入者網終端装置)とひかり電話対応機器 (VoIP アダプタ)との間には接続しないでください。)
- ひかり電話を快適にご利用いただくためには、速度計測を行い、ワイヤレスランプが橙もしくは緑に点灯することを確認し、ご利用いただくことをお勧めします。
ただし、増設子機を利用された場合や、複数の映像サービスを利用された場合や、データ通信を同時に利用された場合、緑でも正常な通信ができない可能性があります。

ステータスランプ	橙		
ワイヤレスランプ	赤	橙	緑
通信速度	遅い 30Mbps未満	30~60Mbps	速い 60Mbps以上



ワンポイント

- 速度計測において、ワイヤレスランプが橙もしくは緑に点灯しない場合、通話困難となる場合があります。
- 通話困難な場合、ワイヤレスランプとステータスランプが交互に点滅します。その場合は、改めて本商品の設置場所を見直してください。
- 通信速度の測定結果は、親機—子機のおおよそのデータ通信速度であり、ご利用環境によって変わるため、通信品質が劣化したり、通信が切断される場合があります。
- ひかり電話をご利用の場合は、緊急時などの発信時に備え、ワイヤレスアダプタに接続しない電話機の併設を推奨します。

4

本商品の設定画面

設定画面とは

本商品の設定画面は、各種設定や機器診断を行う画面です。本商品の設定を変更するときや状態を確認したいときに使用します。

パラメーター

説明

LAN 設定	クリックすると、LAN ポートに関する設定画面を表示します。
無線設定	クリックすると、無線に関する設定画面を表示します。
管理設定	クリックすると、本商品の管理に関する設定画面を表示します。
ステータス	クリックすると、本商品のステータス情報を表示します。
かんたん設定	無線信号の暗号化や無線チャンネルの変更などの本商品に関する設定をかんたんに行なうことができます
無線情報	現在の無線の設定が表示されます。
AOSS	このボタンをクリックすると、AOSS 設定画面が表示されます。
WPS	このボタンをクリックすると、WPS 設定画面が表示されます。
ランプを点滅させる	このボタンをクリックすると、現在設定中の本商品前面のステータスランプが点滅します。
ログアウト	本商品の設定画面からログアウトします。5 分間通信がない場合、自動的にログアウトされます。

設定画面を表示する

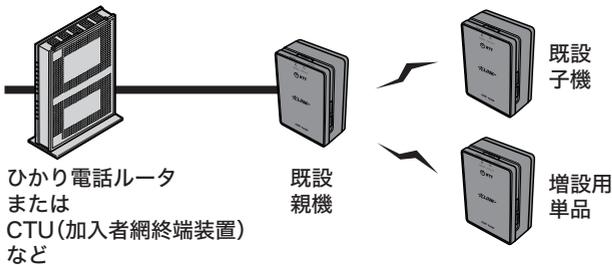
本商品の設定画面は、以下の手順で表示することができます。



ワンポイント

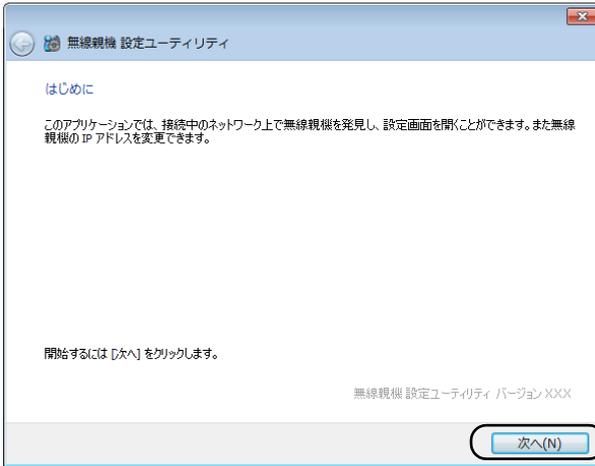
- 以下の手順を行う前に無線親機設定ユーティリティがインストールされている必要があります。無線親機設定ユーティリティのインストール方法は、「インストール方法」(P.114)を参照してください。
- 無線親機設定ユーティリティは、Windows 7/Vista/XP に対応しています。

<接続構成例>



- 1 設定用パソコンと本商品 LAN ポートを LAN ケーブル(市販品)で接続します。
なお、接続する本商品は既存親機、既存子機、増設用単品のどれでもかまいません。
- 2 [スタート]-[(すべての)プログラム]-[NTT]-[無線親機設定ユーティリティ]
を選択して、無線親機設定ユーティリティを起動します。

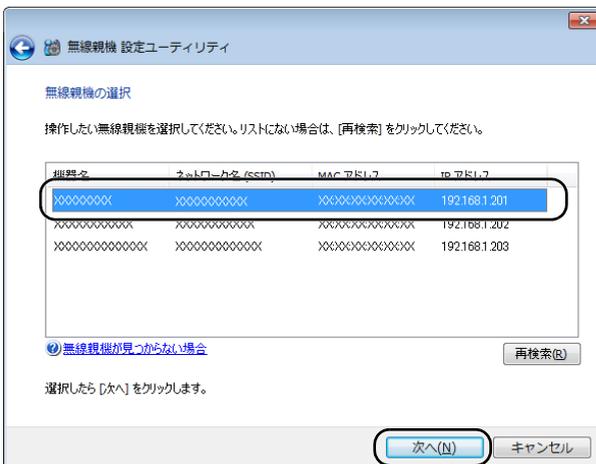
3 以下の画面が表示されたら、[次へ]をクリックします。



ワンポイント

パソコンに複数のネットワークアダプタが搭載されている場合、「2つ以上のネットワーク接続がつながっています」というメッセージが表示されます。その場合は、使用していないネットワークアダプタを取り外すか無効にしてから、[続行]をクリックしてください。

4 以下の画面が表示され、接続されている本商品の一覧が表示されます。設定対象の機器を選択して、[次へ]をクリックします。

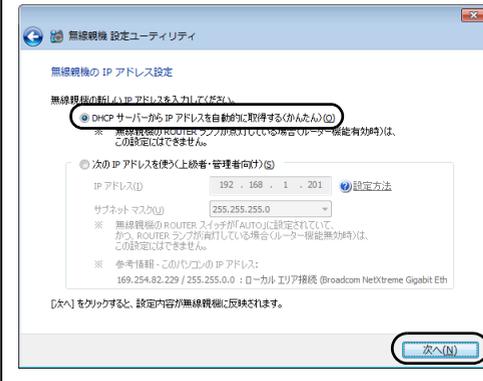


5 [設定画面を開く]をクリックします。

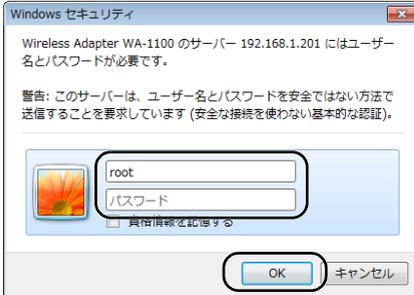


ワンポイント

本商品とパソコンの IP セグメントが異なる場合は、以下の画面が表示されます。その場合は、「DHCP サーバーから IP アドレスを自動的に取得する」を選択して[次へ]をクリックしてください。しばらくすると、本商品に新しい IP アドレスが設定され、手順 6 の画面が表示されます。



- 6 ユーザー名とパスワードの設定画面が表示されたら、ユーザー名に「root」(小文字)、パスワードに本商品に設定したパスワードを入力して[OK]をクリックします。



ワンポイント

- ・本商品は、出荷時はパスワードが設定されていません。
- ・設定したパスワードを忘れてしまった場合は、設定初期化スイッチ(P27)を押して、設定を初期化してください。その場合、パスワード以外の値も出荷時設定に戻りますので、ご注意ください。

- 7 設定画面が表示されます。



ワンポイント

開いた設定画面が設定対象の機器であることを確認するためには、上記の画面で[ランプを点滅させる]をクリックしてください。設定対象の機器のステータスランプが約30秒間橙色に点滅します。

メニュー構成

設定画面のメニュー階層は、以下の通りです。各項目の説明は、それぞれのページを参照してください。

メイン画面	説明	ページ
LAN		
LAN 設定	LAN 側ポートの設定を行う画面です。	P60
無線設定		
WPS	WPS の詳細な設定や状況を確認する画面です。	P61
AOSS	AOSS の詳細な設定や状況を確認する画面です。	P62
11n/a/g/b	無線の基本的な設定を行う画面です。	P65
拡張	無線の拡張設定を行う画面です。	P68
WMM	本商品が行う特定の通信に優先順位をつける設定を行う画面です。	P69
MAC アクセス制限	無線機器からのアクセスを制限する設定を行う画面です。	P72
マルチキャスト制御	無線 LAN ポートに無駄なマルチキャストパケットが転送されないように制限する設定を行う画面です。	P73
WA-1100 間接続	本商品を他の無線機器に接続するための設定を行う画面です。	P74
管理設定		
本体	本商品の名称を設定する画面です。	P76
パスワード	本商品の設定画面にログインするためのパスワードを設定する画面です。	P76
時刻	本商品の内部時計を設定する画面です。	P77
NTP	本商品の内部時計を NTP サーバーと同期するための設定を行う画面です。	P78
エコ	本商品の省電力機能の設定を行う画面です。	P79
アクセス	本商品の設定画面へのアクセスを制限する設定を行う画面です。	P80
ログ	syslog による本商品のログ情報を転送するための設定を行う画面です。	P81
保存 / 復元	本商品の設定を保存したり、設定ファイルから設定を復元する画面です。	P82
初期化 / 再起動	本商品を初期化したり、再起動するための画面です。	P83
ファーム更新	本商品のファームウェアを更新するための画面です。	P83

ステータス		
システム	本商品のシステム情報を確認する画面です。	P84
ログ	本商品に記録されているログ情報を確認する画面です。	P85
通信パケット	本商品が通信したパケットの合計を確認する画面です。	P86
クライアントモニター	本商品と通信している機器を確認する画面です。	P86
診断	本商品からネットワーク上の他の機器との接続確認を行う画面です。	P87
ログアウト		
クリックすると本商品の設定画面からログアウトします。		

LAN 設定

LAN

LAN 側ポートの設定を行う画面です。

The screenshot shows the LAN configuration interface for the WA-1100. At the top, there are navigation tabs: TOP, LAN設定 (selected), 無線設定, 管理設定, and ステータス. Below the tabs, there are sections for LAN settings and expansion settings. The LAN settings section includes radio buttons for DHCP and manual IP assignment, with the manual IP address set to 192.168.1.201 and the subnet mask to 255.255.255.0. The expansion settings section includes fields for default gateway, primary DNS server address, and secondary DNS server address. A '設定' (Apply) button is located at the bottom left. On the right side, there is a sidebar with a 'ログアウト' (Logout) link and a 'LANポート設定' (LAN Port Settings) section. The LAN Port Settings section contains instructions for configuring the LAN port, including a note about the initial setup and a section for 'LAN側IPアドレス' (LAN Side IP Address) with a note about selecting the IP address acquisition method.

パラメーター

説明

LAN 側 IP アドレス	LAN 側 IP アドレスとサブネットマスクを設定します。 (出荷時設定: 手動設定 (192.168.1.201 / 255.255.255.0))
デフォルトゲートウェイ	デフォルトゲートウェイの IP アドレスを設定します。 (出荷時設定: 空欄)
DNS(ネーム)サーバーアドレス	DNS サーバーの IP アドレスを設定します。 (出荷時設定: 空欄)

無線設定

WPS

WPS の詳細な設定や状況を確認する画面です。

The screenshot shows the WPS configuration interface for the WA-1100. The main content area includes:

- WPS機能**: 使用する
- 外部Registrar**: 要求を受け付ける
- 設定**:
 - ワイヤレスアダプタ WA-1100 PINコード: xxxxxxxx [PIN生成]
 - EnrolleeのPINコード: [] [OK]
- WPS用無線セキュリティ設定**:

WPSステータス	SSID	セキュリティ
configured	XXXXXXXXXXXXXX	WPA/WPA2 mixedmode - PSK TKIP/AES mixedmode
11n/a	XXXXXXXXXXXXXX	WPA/WPA2 mixedmode - PSK TKIP/AES mixedmode
11n/g/b	XXXXXXXXXXXXXX	WPA/WPA2 mixedmode - PSK TKIP/AES mixedmode

The help window on the right explains WPS and WPS Protected Setup, noting that WPS is a Wi-Fi Simple Configuration Protocol and that WPS Protected Setup is implemented in Windows Connect Now+NET (WCN+NET).

パラメーター

説明

WPS 機能	WPS 機能を使用するかどうかを設定します。 (出荷時設定: 使用する)
外部 Registrar	WPS 機能を使用する際に、外部 Registrar からの configure 要求を受け付けるかどうかを設定します。 ※ AOSS 接続を行うと、外部 Registrar の要求を受け付けなくなります。 (出荷時設定: 要求を受け付ける)
ワイヤレスアダプタ WA-1100 PIN コード	本商品の PIN コードが表示されます。[PIN 生成]をクリックすると、新しい PIN コードが生成されます。 (出荷時設定: 本商品のラベルに記載の PIN コードが設定済み)
Enrollee の PIN コード	無線機器の PIN コードを入力して[OK]をクリックすると、本製品の内部 Registrar が、その PIN コードを持つ無線機器からの接続要求を受け付ける状態になります。 (出荷時設定: 空欄)
WPS 用無線セキュリ ティ設定	本商品の WPS 状態と現在設定されている SSID、暗号化の種類、暗号化キーが表示されます。 (出荷時設定: WPS ステータス「configured」、セキュリティ「WPA/WPA2 mixedmode - PSK TKIP/AES mixedmode」、SSID/暗号鍵「製品ラベルに記載の値」)

AOSS

AOSSの詳細な設定や状況を確認する画面です。

AOSS(AirStation One-Touch Secure System)設定

AOSSとは、セキュリティも含めた無線接続を簡単にを行う株式会社ハップロー独自の機能です。この画面では、AOSSの詳細な設定や状況を確認することができます。

AOSSボタン

このボタンをクリックするとAOSS接続を開始します。本体のAOSSボタンを押した時と同じ動作となります。動作は、[AOSSの使い方](#)を参照してください。

AOSS削除ボタン

AOSSが有効になっている場合に 표시됩니다。このボタンをクリックするとAOSS状態を解除します。それまで接続していた無線LAN装置との接続は切れてしまい、[AOSS接続先情報](#)も消去されます。AOSS動作設定の「暗号化レベル」とAOSSの「現在のセキュリティ情報」も消去されます。手動設定の「無線基本/無線セキュリティ」設定は、再び有効になります。

AOSSの使い方

AOSSの使い方は、以下のようにあります。

- ①装置の用意**
ワイレスアダプタ WA-1100と接続するAOSS対応の無線LAN装置を用意してから、ワイレスアダプタ WA-1100の無線LAN装置を起動します。
- ②AOSSボタンを押す**
双方とも起動が完了したら、それぞれのAOSSボタンを押します。その際、ワイレスアダプタ WA-1100と無線LAN装置はそれぞれのセキュリティ情報を交換し、使用可能な場合にも強固な暗号化方式が自動的に設定され、通信可能な状態になります。

注意

- AOSSボタンを押すと、AOSSセキュリティ交換状態となり、セキュリティ情報が双方に設定されるまで、その他の操作ができなくなります。もし、3分経過しても無線LAN装置が繋がらないとき、ワイレスアダプタ WA-1100は直前の状態に戻ります。
- 最大で24台の無線LAN装置がAOSSを用いてワイレスアダプタ WA-1100と接続できます。
- AOSS機能の初期値は無効です。
- AOSSには対応の無線LAN装置

パラメーター

説明



このボタンをクリックすると、AOSS 接続を開始します。
(本体の AOSS ボタンを押したときと同じ動作となります)

パラメーター	説明
	<p>このボタンをクリックすると、AOSS 接続が解除されます。 (その際、SSID や暗号化キーも AOSS を使用する前の値に戻ります)</p>
<p>WEP 専用 SSID の暗号化レベル</p>	<p>WEP 専用 SSID の暗号化レベルを WEP128、WEP64、停止の中から設定します。 ※ 設定を変更すると、本商品と無線機器との接続がいったん切断されます。 (出荷時設定: AOSS が設定されていないため、変更不可)</p>
<p>暗号化レベル拡張機能</p>	<p>設定を有効にすると、AOSS で使用する暗号化のうち、TKIP を WPA/WPA2-PSK-mixed に拡張します。 (出荷時設定: 有効)</p>
<p>WEP 専用 SSID 隔離</p>	<p>設定を有効にすると、WEP で接続したネットワーク機器(ゲーム機など)は、AES/TKIP で接続したネットワーク機器と通信することができなくなります。 (出荷時設定: 無効)</p>
<p>WEP をゲーム専用にする</p>	<p>設定を有効にすると、本商品に WEP で接続できる機器は、WEP のみをサポートした機器となり、他の機器は WEP で接続できなくなります。 (出荷時設定: 使用しない)</p>
<p>本体側 AOSS ボタン</p>	<p>AOSS ボタンが押されたときに AOSS 設定を行うかどうかを指定します。 (出荷時設定: 使用する)</p>
<p>現在のセキュリティー情報 ※ AOSS 接続時のみ</p>	<p>AOSS 接続時に設定された暗号化レベルとセキュリティー情報の詳細が表示されます。 (出荷時設定: 表示なし)</p>
<p>暗号化レベル ※ AOSS 接続時のみ</p>	<p>AOSS 接続時に設定された暗号化のレベルが表示されます。 現在有効になっている暗号化レベルには、「現在使用中」と表示されます。 (出荷時設定: 表示なし)</p>
<p>SSID ※ AOSS 接続時のみ</p>	<p>AOSS 接続時に設定された SSID が表示されます。 (出荷時設定: 表示なし)</p>
<p>暗号化キー ※ AOSS 接続時のみ</p>	<p>AOSS 接続時に設定された暗号化キーが表示されます。 (出荷時設定: 表示なし)</p>
<p>[ランダム] ※ AOSS 接続時のみ</p>	<p>クリックすると、各種 SSID や暗号化キーの入力欄に 16 進数を用いてランダムな値が生成されます。 (出荷時設定: 表示なし)</p>

パラメーター	説明
<p>[KEY ベース] ※ AOSS 接続時のみ</p>	<p>クリックすると、各種 SSID・暗号化キーの入力欄に本商品の無線設定初期値を元にした値が生成されます。 (出荷時設定:表示なし)</p>
<p>[リセット] ※ AOSS 接続時のみ</p>	<p>クリックすると、各種 SSID・暗号化キーの入力欄が修正前の状態に戻ります。 (出荷時設定:表示なし)</p>
<p>AOSS 接続先情報 ※ AOSS 接続時のみ</p>	<p>本商品と AOSS 接続した機器、および本商品と無線通信中の機器の情報が表示されます。 (出荷時設定:表示なし)</p>
<p>接続先情報 ※ AOSS 接続時のみ</p>	<p>本商品と AOSS 接続した機器、および本商品と無線通信中の機器の名称が表示されます。 (出荷時設定:表示なし)</p>
<p>MAC アドレス ※ AOSS 接続時のみ</p>	<p>本商品と AOSS 接続した機器、および本商品と無線通信中の機器の MAC アドレスが表示されます。 (出荷時設定:表示なし)</p>
<p>対応暗号化方式 ※ AOSS 接続時のみ</p>	<p>本商品と AOSS 接続した機器、および本商品と無線通信中の機器の対応可能な暗号化の種類が表示されます。 (出荷時設定:表示なし)</p>
<p>無線 ※ AOSS 接続時のみ</p>	<p>現在、接続している無線方式が表示されます。 (出荷時設定:表示なし)</p>
<p>接続設定 ※ AOSS 接続時のみ</p>	<p>本商品と AOSS 接続した機器、および本商品と無線通信中の機器に対して、現在接続を許可しているかどうかが表示されます。 (出荷時設定:表示なし)</p>
<p>AOSS 接続先情報の編集 ※ AOSS 接続時のみ</p>	<p>クリックすると AOSS 接続先情報の編集画面(接続禁止 / 情報削除)が表示されます。</p>
<p>イーサネットコンバーターの AOSS 設定情報 ※ AOSS 接続時のみ</p>	<p>本商品と AOSS 接続したイーサネットコンバーターの機器の情報が表示されます。 (出荷時設定:表示なし)</p>

11n/a/g/b

無線の基本的な設定を行う画面です。

無線基本設定 (11n/a/g/b)

無線LANの基本情報を手動設定できません。通信の暗号化を行わなければ、この基本設定だけで接続が行えますが、セキュリティを確保するために、暗号化を有効化しての使用をおすすめします。

無線LANには、IEEE802.11n/a, IEEE802.11n/g/b の二種類の規格があります。

無線機能
無線LAN機能を使用するかしないかについて指定します。無線機能を無効にすると、パソコンなどを含む全ての無線通信を停止します。初期値は「使用する」です。

無線チャンネル
802.11n/a/b/g/20/40 MHzのどちらの無線LANの規格を使用するか指定します。さらに、その規格の無線で使用するチャンネル(周波数帯)を指定します。

パラメーター

説明

無線機能

無線機能を使用するかどうかを設定します。チェックマークを外すと、無線による通信ができなくなります。(出荷時設定: 使用する)

無線チャンネル

無線で使用するチャンネル(周波数帯)を設定します。「自動」を選択すると電波混雑防止機能により、自動的に空いているチャンネルが設定されます。

※ 52 ~ 140 チャンネルを選択した場合、DFS(Dynamic Frequency Selection)により、気象レーダー等を検出すると、自動的に他の無線チャンネルへ変更されます。無線チャンネル変更時は1分ほど無線通信ができなくなります。DFSにより頻繁に無線通信が切断される場合は、48 以下のチャンネルに変更してご使用ください。

※ 100 ~ 140 チャンネル使用時は、「屋外可能モード」、「室内専用モード」を設定することができます。屋外可能モードでは、DFSによる自動チャンネル変更の動作を100 ~ 140 チャンネルの範囲内に制限します。室内専用モードでは、DFSによる自動チャンネル変更の動作を36 ~ 48、52 ~ 64、100 ~ 140 チャンネルのいずれかに設定されます。

※ WA-1100 間接続機能が「使用する」で「親機/子機指定」が「子機」もしくは「自動」の場合は、チャンネルは強制的に「自動」となり、変更することができなくなります。

(出荷時設定: 自動[全チャンネル](DFSあり)、室内専用モード)

パラメーター	説明
倍速モード	<p>無線通信で使用する 20MHz の倍の帯域 (40MHz) を使用して、高速無線通信を行うかどうかを設定します。</p> <p>倍速モードを使用する場合は、帯域を 40MHz に設定し、拡張チャンネルを設定します。</p> <p>20/40MHz 自動選択に設定されている場合は、周囲の電波の混雑状況を判断して、20MHz と 40MHz を自動的に切り替えます。</p> <p>※「無線チャンネル」が「自動」に設定されている場合は、拡張チャンネルも自動的に設定されます。</p> <p>(出荷時設定: 20/40MHz 自動選択)</p>
ANY 接続	<p>無線機器からの ANY 接続を許可するかどうかを設定します。</p> <p>「許可しない」に設定すると、無線子機設定ユーティリティから本商品を検索することができなくなります。</p> <p>※ ANY 接続とは、無線機器の SSID を「ANY」に設定したときに、無線シグナルレベルが一番良い状態の無線親機を自動検出し、その無線親機に接続することです。</p> <p>(出荷時設定: 許可する)</p>
<p>[マルチセキュリ ティーを使用する]/ [マルチセキュリ ティーを使用しない]</p>	<p>[マルチセキュリティーを使用する]をクリックすると、複数の SSID、無線セキュリティーで動作します。</p> <p>[マルチセキュリティーを使用しない]をクリックすると、1 つの SSID、無線セキュリティーで動作します。</p> <p>(出荷時設定: マルチセキュリティーを使用しない)</p>
隔離機能	<p>設定を有効にすると、接続している無線機器はインターネット側とだけ通信可能になります。</p> <p>(出荷時設定: 使用しない)</p>
SSID	<p>SSID を半角英数字で 1 ～ 32 文字までで設定します。</p> <p>(出荷時設定: ワイヤレスアダプタ WA-1100 の MAC アドレスを設定)</p>
無線の認証	<p>無線機器との接続の際に使用する認証方式を指定します。</p> <p>(出荷時設定: WPA/WPA2 mixedmode - PSK)</p>

パラメーター	説明
無線の暗号化	無線通信のデータ暗号化の種類を以下から選択します。 (出荷時設定: TKIP/AES mixedmode)
	暗号化なし
	暗号化を行わずに通信します。通信内容が盗聴されますので暗号化なしでのご使用は避けてください。 無線の認証で「認証を行わない」を選択した場合のみ使用可能です。
	WEP
	WEP 暗号化を使用します。一般的な暗号化方式です。 暗号化キーを使用して無線機器と通信します。 無線の認証で「認証を行わない」を選択した場合のみ使用可能です。
	TKIP
	暗号化の方式に TKIP (WEP をさらに強固にした方式) を使用します。事前共有キーを使用して無線機器と通信します。(通信速度は若干低下します。)
	無線の認証で「WPA-PSK、WPA2-PSK」を選択した場合のみ使用可能です。
	AES
	暗号化の方式に AES (TKIP よりも強固な次世代暗号化方式) を使用します。事前共有キーを使用して無線機器と通信します。
	無線の認証で「WPA-PSK、WPA2-PSK」を選択した場合のみ使用可能です。
	TKIP/AES mixedmode
	TKIP と AES の認証・通信を同時に行うことができます。
	無線の認証で「WPA/WPA2 mixedmode-PSK」を選択した場合のみ使用可能です。
WPA-PSK (事前共有キー)	無線機器との認証で使用する事前共有キーを入力します。
※ 無線の認証で WPA-PSK、WPA2-PSK、WPA/WPA2 mixedmode-PSK を選択した場合のみ	※ 事前共有キーは、文字列入力の場合、半角英数字 (大文字 / 小文字の区別あり) を 8 ～ 63 文字で入力します。 16 進数入力の場合、0 ～ 9 および a ～ f (大文字 / 小文字の区別なし) の 64 桁で入力します。
Key 更新間隔	通信用暗号化キーを更新する間隔を設定します。
※ 無線の認証で WPA-PSK、WPA2-PSK、WPA/WPA2 mixedmode-PSK を選択した場合のみ	(1440 分まで設定できます) (出荷時設定: 60 分)

パラメーター	説明
WEP 暗号化キー設定 ※ 無線の暗号化で WEP を選択した場合のみ	無線を暗号化する暗号化キーを入力します。 ※ WEP 暗号化キーは、文字列入力の場合、半角英数字(大文字 / 小文字の区別あり)を 5 文字または 13 文字で入力します。 16 進数入力の場合、0～9 および a～f(大文字 / 小文字の区別なし)の 10 桁または 26 桁で入力します。

拡張

無線の拡張設定を行う画面です。



パラメーター	説明
Multicast Rate	マルチキャストパケットの通信速度を設定します。 (出荷時設定: 自動)
DTIM Period	無線機器に通知するビーコン応答間隔(1～255)の設定をします。無線機器のパワーマネジメント設定を有効にした場合のみ、この設定が有効になります。 (出荷時設定: 1)
プライバシーセパレーター	無線機器間の通信を許可するかどうかを設定します。「使用する」に設定すると、同一の無線親機に接続している無線機器同士の通信ができなくなります。 ※ 有線側からは、無線機器と通信できます。 (出荷時設定: 使用しない)
TPC 機能	不必要に強い電波を周辺に出力して混信してしまうことを防ぐ機能です。チェックマークを付けると、802.11a の電波出力が約 3dB 下がります。 (出荷時設定: 使用しない)

WMM

本商品が行う特定の通信に優先順位をつける設定を行う画面です。

WA-1100

TOP
LAN設定
無線設定
管理設定
ステータス

WPS | AOCSS | 11n/a/g/b | 拡張 | **WMM** | MACアクセス制限 | マルチキャスト制御 | WA-1100間接続
ログアウト

WMM-EDCAパラメーター

通常は設定を変更しないでください

優先度	パラメーター		
	AP用	STA用	
AC_BK(低)	CWmin:	15	15
	CWmax:	1023	1023
	AIFS:	7	7
	TXOP Limit:	0	0
	Admission Control:	----	無効
AC_BE(通常)	CWmin:	15	15
	CWmax:	63	1023
	AIFS:	3	3
	TXOP Limit:	0	0
	Admission Control:	----	無効
AC_VI(優先)	CWmin:	7	7
	CWmax:	15	15
	AIFS:	1	2
	TXOP Limit:	94	94
	Admission Control:	----	無効
AC_VO(最優先)	CWmin:	3	3
	CWmax:	7	7
	AIFS:	1	2
	TXOP Limit:	47	47
	Admission Control:	----	無効

設定

WMM設定 (11n/a/11n/g/b)

ワイヤレスアダプタ WA-1100があこなう通信で、特定の通信のみ優先順位を付けます。この設定は、リアルタイム性が要求される通信(VoIPなどの各種ストリーム通信)で、他の通信からの影響を受けにくくすることができます。

WMM-EDCAパラメーター

一般的な使い方は、この値を変更する必要はありません。

優先度

優先度は、通信パケット毎に適用され、(Highest)3:(High)4:(Normal)2:(Low)1の割合で優先的に処理されます。

パラメーター

CWmin, CWmax

コンテンション・ウィンドウの最大値・最小値です。コンテンション・ウィンドウはIEEE802.11で行うフレーム衝突回避機構で使用され、一般にウィンドウ内の値が小さくなるほど、そのキューが送信権を得る確率が高くなります。入力できる値は1~32767です。

AIFS

フレーム送信間隔です。単位はスロット(CWmin, CWmaxで定義されるウィンドウ幅と同様)です。フレーム送信間隔が小さいほど、バックオフアルゴリズムの開始時間が早まるため、結果としてキューの優先度が高くなります。入力できる値は1~15です。

Copyright © 2010 NTT EAST・NTT WEST



お知らせ

上記の設定値を変更するとひかり電話および映像サービスのご利用に影響が出る場合があります。

パラメーター	説明		
WMM-EDCA パラメーター	一般的な使い方では、この値を変更する必要はありません。 出荷時設定値は以下の通りです。		
優先度	パラメーター	AP 初期値	STA 初期値
AC_BK(低い)	CWmin	15	15
	CWmax	1023	1023
	AIFSN	7	7
	TXOP Limit	0	0
	Admission Control	----	無効
AC_BE(通常)	CWmin	15	15
	CWmax	63	1023
	AIFSN	3	3
	TXOP Limit	0	0
	Admission Control	----	無効
AC_VI(優先)	CWmin	7	7
	CWmax	15	15
	AIFSN	1	2
	TXOP Limit	94	94
	Admission Control	----	無効
AC_VO(最優先)	CWmin	3	3
	CWmax	7	7
	AIFSN	1	2
	TXOP Limit	47	47
	Admission Control	----	無効

優先度

優先度は、通信パケットごとに適用され、(Highest) 8 : (High) 4 : (Normal) 2 : (Low) 1 の割合で優先的に処理されます。

CWmin, CWmax

コンテンツン・ウィンドウの最大値・最小値です。コンテンツン・ウィンドウは IEEE802.11 で行うフレーム衝突回避機構で使用され、一般にウィンドウ内の値が小さくなるほど、そのキューが送信権を得る確率が高くなります。

AIFSN

フレーム送信間隔です。単位はスロット (CWmin, CWmax で定義されるウィンドウ値と同様) です。フレーム送信間隔が小さいほど、バックオフアルゴリズムの開始時間が早まるため、結果としてキューの優先度が高くなります。

TXOP Limit

キューが送信権を得た場合に占有できる時間を示します。1 単位は 32ms です。この時間が多いほど一度得た送信権でより多くのフレームを転送することができますが、反面キューのリアルタイム性を損なうこととなります。TXOP Limit を 0 に設定した場合は、1 回の送信権で 1 つのフレームのみ送信できます。

Admission Control

キューに対して送信フレームの割り当て制限を行います。キューがある程度蓄積されると、新たに送信フレームが割り当てられるときに下位のキューを割り当てようになります。

MAC アクセス制限

無線機器からのアクセスを制限する設定を行う画面です。



パラメーター

説明

無線パソコンの接続	無線機器からの接続を制限するかどうかを設定します。 (出荷時設定:制限しない)
登録リスト	MAC アクセス制限で、接続を許可する無線機器の MAC アドレスが表示されます。 (出荷時設定:なし)
登録リストの編集	クリックすると、接続を許可する無線機器の MAC アドレスを登録する画面が表示されます。
登録する MAC アドレス	接続を許可する無線機器の MAC アドレスを入力します。 [新規追加]をクリックすると、MAC アドレスがリストに登録されます。 (出荷時設定:なし)
検出された無線パソコン一覧	本商品に接続している無線機器の MAC アドレス一覧が表示されます。 (出荷時設定:なし)

マルチキャスト制御

無線 LAN ポートに無駄なマルチキャストパケットが転送されないように制限する設定を行う画面です。



パラメーター	説明
Snooping 機能	IGMP などのマルチキャスト管理パケットを監視し、不必要な有線・無線各ポートへのマルチキャストの転送を抑制することができる、マルチキャスト Snooping (スヌーピング) 機能を使用するかどうかを設定します。 (出荷時設定: 使用する)
マルチキャスト Aging Time	マルチキャスト Snooping 機能によって学習した情報を保持する時間を 1 ~ 3600 (秒) の範囲で設定します。IGMP/MLD クエリー間隔よりも十分に大きな値を入力する必要があります。 (出荷時設定: 300 (秒))

WA-1100 間接続

本商品を他の無線機器に接続するための設定を行う画面です。

パラメーター

説明

- WA-1100 間接続機能** 本商品同士を無線接続する、WA-1100 間接続機能を使用するかどうかを設定します。
(出荷時設定: 使用する)
- 親機 / 子機指定** WA-1100 間接続の際、本商品をどのように動作させるかを設定します。
(出荷時設定: 親機)
- 親機**
本商品を親機 (Master) として動作させます。親機に設定した本商品は、他の機器からの接続待ち受けを行います。
- 子機**
本商品の子機 (Slave) として動作させます。親機 (Master) に設定された機器に対して、WDS 機能を使って接続するため、親機が WDS 機能に対応している場合に限り、接続が可能となります。
- 子機 (EC)**
本商品の子機 (Slave) として動作させます。親機 (Master) に設定された機器に対して、Ethernet Converter 機能を使って接続するため、親機が WDS 機能に対応していない場合は、子機 (EC) に設定することで接続が可能となります。
- 自動**
ネットワーク環境に応じて、親機モードと子機モードを自動的に切り替えます。
(子機 (EC) モードには、自動的に切り替わりません)

パラメーター	説明
SSID	<p>本商品が子機または子機(EC)に設定されている場合、接続先の親機のSSIDを入力します。[検索]をクリックすると、周囲の親機のSSIDが一覧表示されます。</p> <p>(出荷時設定:親機動作のため、入力不可)</p>
無線の認証	<p>無線機器との接続の際に使用する認証方式を指定します。</p> <p>(出荷時設定:親機動作のため、設定不可)</p>
無線の暗号化	<p>無線通信のデータ暗号化の種類を以下から選択します。</p> <p>(出荷時設定:親機動作のため、設定不可)</p>
暗号化なし	
<p>暗号化を行わずに通信します。通信内容が盗聴されますので暗号化なしでのご使用は避けてください。無線の認証で「認証を行わない」を選択した場合のみ使用可能です。</p>	
WEP	
<p>WEP暗号化を使用します。一般的な暗号化方式です。暗号化キーを使用して通信します。無線の認証で「認証を行わない」を選択した場合のみ使用可能です。</p>	
TKIP	
<p>暗号化の方式にTKIP(WEPをさらに強固にした方式)を使用します。事前共有キーを使用して通信します。(通信速度は若干低下します。)無線の認証で「WPA-PSK、WPA2-PSK」を選択した場合のみ使用可能です。</p>	
AES	
<p>暗号化の方式にAES(TKIPよりも強固な次世代暗号化方式)を使用します。事前共有キーを使用して通信します。無線の認証で「WPA-PSK、WPA2-PSK」を選択した場合のみ使用可能です。</p>	
<p>WPA-PSK (事前共有キー) ※無線の認証でWPA-PSK、WPA2-PSKを選択した場合のみ</p>	<p>無線機器との認証で使用する事前共有キーを入力します。</p> <p>※事前共有キーは、文字列入力の場合、半角英数字(大文字 / 小文字の区別あり)を8～63文字で入力します。</p> <p>16進数入力の場合、0～9およびa～f(大文字 / 小文字の区別なし)の64桁で入力します。</p>
<p>WEP暗号化キー設定 ※無線の暗号化でWEPを選択した場合のみ</p>	<p>無線を暗号化する暗号化キーを入力します。</p> <p>※WEP暗号化キーは、文字列入力の場合、半角英数字(大文字 / 小文字の区別あり)を5文字または13文字で入力します。</p> <p>16進数入力の場合、0～9およびa～f(大文字 / 小文字の区別なし)の10桁または26桁で入力します。</p>
優先接続先指定	<p>「優先的に接続させる」を有効にして接続先機器のMACアドレスを登録すると、SSIDや暗号化設定が同じ機器が複数存在する環境においても、ここで登録した機器に優先的に接続ようになります。</p> <p>(出荷時設定:親機動作のため、設定不可)</p>

管理設定

本体

本商品の名称を設定する画面です。

The screenshot shows the management interface for the WA-1100. The 'Management Settings' (管理設定) tab is active. In the main area, the 'Device Name' (機器名) field is set to 'APXXXXXXXXXXXXX'. The right sidebar shows the 'Device Settings' (本体設定) section with the device name field.

パラメーター

説明

機器名	本商品の名称を設定します。(半角英数字と「-」で、64文字まで入力できます) (出荷時設定:"AP"+本商品のLAN MACアドレス)
-----	--

パスワード

本商品の設定画面にログインするためのパスワードを設定する画面です。

The screenshot shows the management interface for the WA-1100. The 'Password Settings' (パスワード設定) section is active. The 'Management User Name' (管理ユーザー名) is set to 'root' and the 'Management Password' (管理パスワード) is masked with dots.

パラメーター

説明

管理ユーザー名	本商品の設定画面へログインするときのユーザー名です。「root」以外に変更できません。 (出荷時設定:root)
管理パスワード	本商品の設定画面へログインするときのパスワードです。(半角英数字と「_」で、8文字まで入力できます) (出荷時設定:設定なし)

時刻

本商品の内部時計を設定する画面です。

Copyright © 2010 NTT EAST・NTT WEST

パラメーター

説明

日付	本商品の内部時計の日付を手動で設定します。 (出荷時設定:2010年1月1日)。
時刻	本商品の内部時計の時刻を手動で設定します。 (出荷時設定:0時0分0秒)
タイムゾーン	本商品の内部時計のタイムゾーン(グリニッジ標準時からの時差)を指定します。 (出荷時設定:(GMT+09:00)東京、大阪、ソウル)

NTP

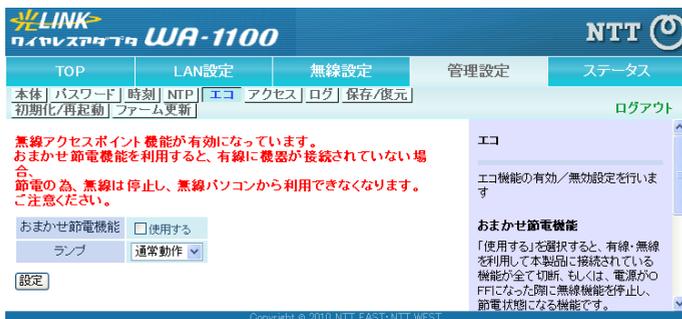
本商品の内部時計を NTP サーバーと同期するための設定を行う画面です。



パラメーター	説明
NTP 機能	本商品の内部時計を NTP サーバーを使って設定するかどうかを指定します。 (出荷時設定:使用する)
サーバー名	NTP サーバーの名称をホスト名、ドメイン名つきホスト名、IP アドレスのいずれかで設定します。 (半角英数字と「.」「-」で 255 文字まで入力できます) (出荷時設定:ntp.jst.mfeed.ad.jp)
確認時間	NTP サーバーに時刻を問い合わせる周期(1 ~ 24 時間毎)を設定します。 (出荷時設定:24 時間毎)

エコ

本商品の省電力機能の設定を行う画面です。



パラメーター

説明

おまかせ節電機能

「使用する」を選択し、かつ以下の状態の場合、本商品の無線機能が停止して節電状態になります。(ランプはすべて消灯します)

- ・有線ポートにおいて、LANポートがすべてリンクしていない場合
- ・無線ポートにおいて、機器が1台も接続されていない場合

※有線ポートに通信機器を接続していない場合、本機能を使用し、節電状態になった際、無線通信機器から通信ができなくなりますのでご注意ください。その場合、本機器を初期化し、再度設定し直してください。

(出荷時設定:使用しない)

ランプ

本商品のランプを点灯させるかどうかを設定します。「オフ」を選択すると、本商品の動作状況に関わらずランプが消灯します。

(出荷時設定:通常動作)

アクセス

本商品の設定画面へのアクセスを制限する設定を行う画面です。



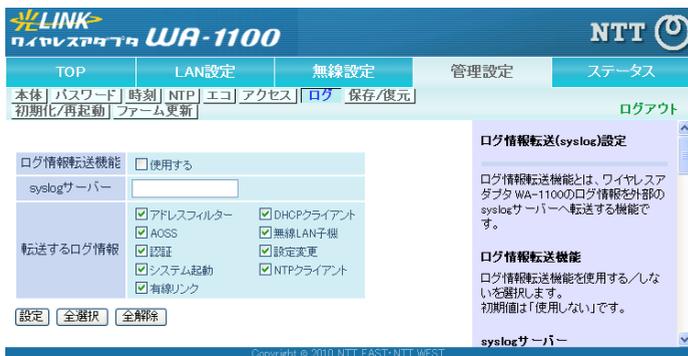
パラメーター

説明

ログ出力	管理アクセス設定のログを出力するかどうかを設定します。 (出荷時設定: 使用しない)
無線LANからの設定を禁止する	無線機器から本商品の設定をできないようにします。 (出荷時設定: 無効)
有線LANからの設定を禁止する	有線LANポートに接続された機器から本商品の設定をできないようにします。 (出荷時設定: 無効)

ログ

syslog による本商品のログ情報を転送するための設定を行う画面です。



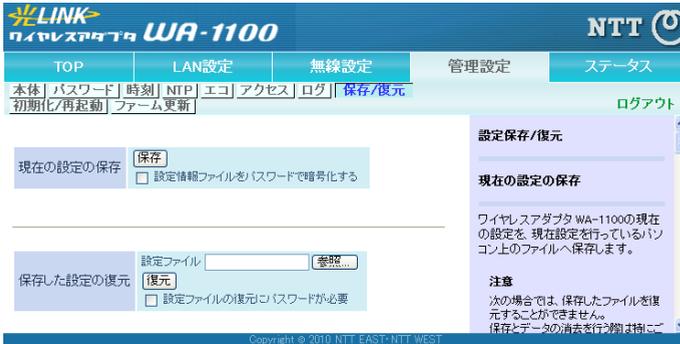
パラメーター

説明

ログ情報転送機能	ログ情報転送機能を使用するかどうかを設定します。 (出荷時設定:使用しない)
syslog サーバー	syslog サーバーのアドレスをホスト名、ドメイン名つきホスト名、IP アドレスのいずれかで設定します。(半角英数字と「.」「-」で 255 文字まで入力できます) (出荷時設定:空欄)
転送するログ情報	表示するログ情報の種類を設定します。 (出荷時設定: アドレスフィルター、DHCP クライアント、AOSS、無線 LAN 子機、認証、設定変更、システム起動、NTP クライアント、有線リンク)

保存 / 復元

本商品の設定を保存したり、設定ファイルから設定を復元する画面です。



パラメーター

説明

現在の設定の保存

[保存]をクリックすると、本商品の現在の設定をファイルに保存します。「設定情報ファイルをパスワードで暗号化する」にチェックマークをつけると、設定情報ファイルにパスワードをつけて保存します。

保存した設定の復元

[参照]で設定ファイルを指定して[復元]をクリックすると、保存された設定ファイルから、本商品の設定を復元します。設定ファイルにパスワードが設定されている場合は、「設定ファイルの復元にパスワードが必要」にチェックマークをつけて、パスワードを入力してください。

初期化 / 再起動

本商品を初期化したり、再起動するための画面です。

パラメーター	説明
再起動	クリックすると、本商品が再起動します。
設定初期化	クリックすると、本商品の設定が初期化され、再起動します。

ファーム更新

本商品のファームウェアを更新するための画面です。

パラメーター	説明
ファームウェアバージョン	本商品の現在のファームウェアバージョンが表示されます。
ファームウェアファイル名	[参照]でファームウェアファイルを指定し、[更新実行]をクリックするとファームウェアが更新されます。

ステータス

システム

本商品のシステム情報を確認する画面です。

製品名	WA-1100 Ver.XXX (RXX/BX/XX)	
機器名	APXXXXXXXXXXXX	
LAN	IPアドレス取得方法	手動設定
	IPアドレス	192.168.1.201
	サブネットマスク	255.255.255.0
	デフォルトゲートウェイ	未設定
	DNS(プライマリー)	未設定
	DNS(セカンダリー)	未設定
	MTU値	1500
MACアドレス	XXXXXXXXXXXX	
無線	無線状態	制限なし
	SSID	XXXXXXXXXXXX
	認証方式	WPA/WPA2 mixedmode - PSK
	暗号化	TKIP/AES mixedmode
	ANY接続 プライバシーフィルター	許可する (使用しない)
無線チャンネル	802.11n/a/e/b : 44 チャンネル(自動設定)	
送信モード	20 MHz	
MACアドレス	XXXXXXXXXXXX	
WA-1100間接続	状態	観測動作中
	ステータス	-

現在の状態を表示

システム情報

ワイヤレスアダプタ WA-1100の主な設定を一覧表示します。

製品名
製品名とファームウェアバージョンを表示します。

機器名
機器名を表示します。

LAN
LANの情報です。

IPアドレス取得方法
LANポートのIPアドレス取得方法です。

接続状態
DHCP設定時のみ表示されます。接続に関する状態情報を表示します。

操作
DHCP設定時のみ表示されます。設定時は、各ボタンを押すことにより、次のコマンドを実行することができます。

- 【強制】: DHCPサーバーから取得したIPアドレスを解放します。
- 【書き換え】: DHCPサーバーに問い合わせを行い、IPアドレスの取得を開始します。

Copyright © 2010 NTT EAST・NTT WEST

パラメーター

説明

製品名	本商品の製品名とファームウェアのバージョンが表示されます。
機器名	機器名(P76)が表示されます。
LAN	LANポートの情報が表示されます。
無線	無線の状態が表示されます。

パラメーター

説明

WA-1100 間接続

WA-1100 間接続時の動作状態やステータスが表示されます。

状態

動作状態(親機動作中 / 親機検索中 / 接続中)が表示されます。

接続先 SSID

設定対象機器が接続している親機の SSID が表示されます。

親機の無線 MAC アドレス

設定対象機器が接続している親機の MAC アドレスが表示されます。

子機時の MAC アドレス

設定対象機器が子機時に使用する MAC アドレスが表示されます。

ステータス

エラーが発生した場合に以下のメッセージを表示します。

- ・ 親機への接続に失敗しました
- ・ 認証エラーが発生しました
- ・ 親機から切断されました

ログ

本商品に記録されているログ情報を確認する画面です。

パラメーター

説明

表示するログ情報

表示するログ情報の種類を設定します。

(出荷時設定: アドレスフィルター、DHCP クライアント、AOSS、無線 LAN 子機、認証、設定変更、システム起動、NTP クライアント、有線リンク)

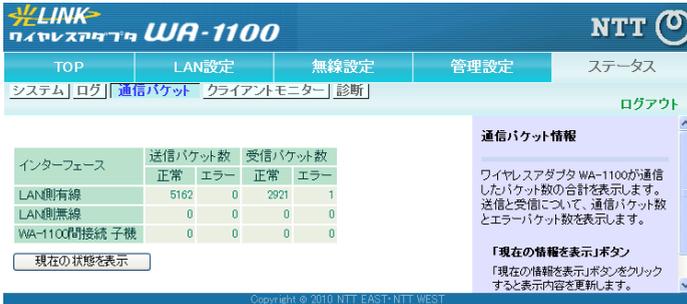
ログ情報

本商品記録されているログ情報が表示されます。

(出荷時設定: なし)

通信パケット

本商品が通信したパケットの合計を確認する画面です。



パラメーター

説明

送信パケット数 LAN 側有線、LAN 側無線、WA-1100 間接続 子機に送信したパケット数が表示されます。

受信パケット数 LAN 側有線、LAN 側無線、WA-1100 間接続 子機から受信したパケット数が表示されます。

クライアントモニター

本商品と通信している機器を確認する画面です。



パラメーター

説明

クライアントモニター 本商品と通信している機器の情報(MAC アドレス、通信方式、無線認証、802.11n)が表示されます。

診断

本商品からネットワーク上の他の機器との接続確認を行う画面です。

Copyright © 2010 NTT EAST・NTT WEST

パラメーター

説明

宛先アドレス	接続確認を行う機器の IP アドレス、またはホスト名を設定し、[実行]をクリックすると、「実行結果」欄に結果が表示されます。 (出荷時設定: 空欄)
--------	---

MEMO

5

本商品の各種設定

おまかせ節電機能を使って消費電力を抑える

おまかせ節電機能を使用すると、本商品に接続している機器がすべて切断された際に、本商品の無線機能を停止して節電状態にすることができます。

設定は以下の手順で行います。

1 「設定画面を表示する」(P54)を参照して、本商品の設定画面を表示します。

2 設定画面が表示されたら、[管理設定]をクリックします。



3 [エコ]をクリックします。



4 おまかせ節電機能の「使用する」にチェックマークをつけて、[設定]をクリックします。



お知らせ

有線ポートに通信機器を接続していない場合、本機能を使用し、節電状態になった際、無線通信機器から通信ができなくなりますのでご注意ください。その場合、本機器を初期化し、再度設定し直してください。

以上で設定は完了です。

AOSS 接続で設定された内容を確認する

自動設定(AOSS)で設定された内容(SSID や暗号化設定)は、以下の手順で確認することができます。

1 「設定画面を表示する」(P54)を参照して、本商品の設定画面を表示します。

2 設定画面が表示されたら、 をクリックします。



3 AOSS 接続で設定された内容(SSID や暗号化設定)が表示されます。

現在のセキュリティー情報

暗号化レベル	WPA-PSK-AES (現在使用中)
SSID	XXXXXXXXXXXX
暗号化キー	XXXXXXXXXXXX
暗号化レベル	WPA/WPA2-PSK-mixed (現在使用中)
SSID	XXXXXXXXXXXX
暗号化キー	XXXXXXXXXXXX
暗号化レベル	WEP128
SSID	XXXXXXXXXXXX
暗号化キー	XXXXXXXXXXXX (送信キー)
	XXXXXXXXXXXX
	XXXXXXXXXXXX
	XXXXXXXXXXXX
暗号化レベル	WEP64
SSID	XXXXXXXXXXXX
暗号化キー	XXXXXXXXXXXX (送信キー)
	XXXXXXXXXXXX
	XXXXXXXXXXXX
	XXXXXXXXXXXX

ランダム KEYベース リセット

設定

AOSS接続先情報

接続先情報	MACアドレス	対応暗号化方式	無線	接続設定
WA-1100	XXXXXXXXXXXX	WEP64/WEP128	(802.11n/a)	許可
		WPA-PSK-TKIP/WPA-PSK-AES		
		WEP64/WEP128		
		WPA-PSK-TKIP/WPA-PSK-AES	(802.11n/g/b)	

AOSS接続先情報の編集

インターネットコンパタのAOSS設定情報

接続先情報 MACアドレス 対応暗号化方式



ワンポイント

- 「現在のセキュリティ情報」欄の「暗号化レベル」で「現在使用中」と書かれたものが現在有効になっている設定です。
- AOSS 接続によって生成された SSID や暗号化キーは、上記の画面で任意のものに変更することができます。

以上で設定内容の確認は完了です。

AOSS 接続を無効にする

AOSS 接続は、以下の手順で無効にすることができます。



お知らせ

- 無線機器から以下の設定した場合は、すべての無線機器が、いったん本商品に接続できなくなります。その場合は、各無線機器の取扱説明書を参照して、接続し直してください。
- 以下の設定を行うと、AOSS 接続先情報が削除され、SSID や暗号化キーも自動設定を行う前の値に戻りますのでご注意ください。

1 「設定画面を表示する」(P54) を参照して、本商品の設定画面を表示します。

2 設定画面が表示されたら、 をクリックします。



3  をクリックします。



AOSS 動作設定

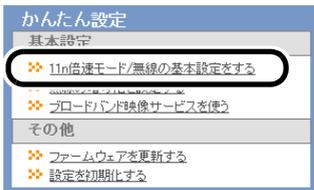
WEP専用SSIDの暗号化レベル

以上で設定は完了です。

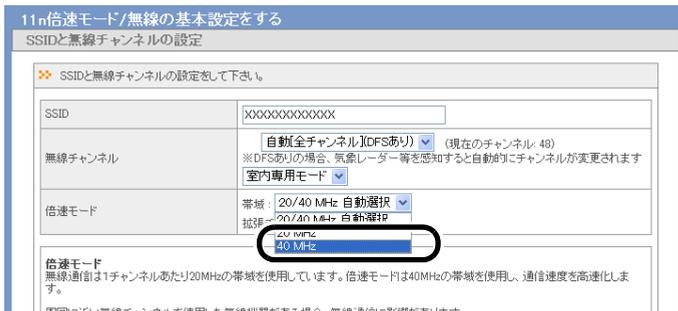
倍速モード（最大 300Mbps）で通信する

本商品の出荷時状態では、電波混雑防止機能により、周囲の電波の混雑状況を判断して、倍速モード（通信速度：最大 300Mbps）を使用するかどうかを自動的に判断する機能が、有効になっているため、通常は以下の設定は必要はありません。周囲に多くの無線機器があるなど、電波が混雑している場合は、倍速モードに切り替わらないことがあります。その場合は、以下の手順で設定を変更してください。

- 1 「設定画面を表示する」(P54) を参照して、本商品の設定画面を表示します。
- 2 設定画面が表示されたら、「かんたん設定」より「11n 倍速モード / 無線の基本設定をする」をクリックします。



- 3 倍速モードの帯域を「40MHz」に設定し、[設定]をクリックします。



- 4 [設定完了]をクリックします。

以上で設定は完了です。

無線チャンネルを変更する

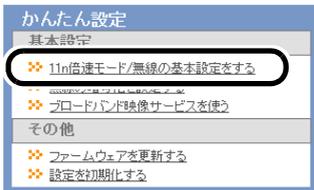
本商品は、電波混雑防止機能により他の無線機器が使用していないチャンネルを検索して自動的に割り当てるため、通常はチャンネルを設定する必要はありません。ただし周囲に多くの無線機器がある場合、チャンネルが正しく設定されず、電波干渉が発生して転送速度が低下してしまうことがあります。その場合は、以下の手順で手動でチャンネルを設定してください。



お知らせ

- 設定するチャンネルによっては、他の無線機器と電波干渉を起こすことがあります。
- 隣接する無線機器に異なるチャンネルを設定するとき、隣りあったチャンネルなどの近い周波数では、互いに干渉し転送速度が低下してしまうことがあります。

- 1 「設定画面を表示する」(P54) を参照して、本商品の設定画面を表示します。
- 2 設定画面が表示されたら、「かんたん設定」より「11n 倍速モード / 無線の基本設定をする」をクリックします。



他の無線機器から本商品を検索できなくする(ANY 接続拒否)

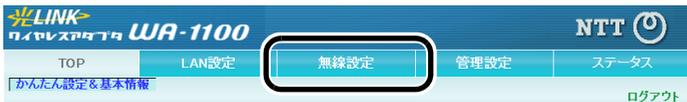
本商品に無線で接続するには、SSID と暗号化キーが必要です。一般に SSID は、ユーティリティを使って特定することができるため、暗号化キーを設定していない場合、外部からの不正アクセスを受けることがあります。以下の設定をおこなうと、ユーティリティによるSSIDの特定ができなくなるため、SSID を知っている方のみ接続できるようになります。



お知らせ

- 自動設定 (AOSS) で本商品に無線機器を接続している場合、すでに暗号化の設定がされているため、Any 接続拒否の設定は必要ありません。暗号化の設定をしない場合や、手動で暗号化を設定している場合は、以下の手順で Any 接続拒否の設定をすることができます。
- 自動設定 (AOSS) と Any 接続拒否は同時に使用できません。Any 接続拒否を設定する場合は、「AOSS 接続を無効にする」(P92) を参照して設定を変更してください。また、Any 接続拒否の設定を行った後に自動設定を行うと、Any 接続が「許可」に変更されます。あらかじめご了承ください。

- 1 「AOSS 接続を無効にする」(P92) を参照して、本商品の設定を変更します。
- 2 「設定画面を表示する」(P54) を参照して、本商品の設定画面を表示します。
- 3 設定画面が表示されたら、[無線設定] をクリックします。



- 4 [11n/a/g/b] をクリックします。



5 ANY 接続の[許可する]をクリックし、チェックマークを外して[設定]をクリックします。

無線機能	<input checked="" type="checkbox"/> 使用する
無線チャンネル	<input type="button" value="自動全チャンネル(DFSあり)"/> (現在のチャンネル: 44) <small>※DFSありの場合、気象レーダー等を感知すると自動的にチャンネルが変更されます</small> <input type="button" value="室内専用モード"/>
倍速モード	帯域: <input type="button" value="20/40 MHz 自動選択"/> <small>拡張チャンネル: 36</small>
ANY接続	<input type="checkbox"/> 許可する
<input type="button" value="マルチセキュリティを使用する"/>	
隔離機能	<input type="checkbox"/> 使用する
SSID	<input checked="" type="radio"/> ワイヤレスアダプタ WA-1100のMACアドレスを設定(XXXXXXXXXXXXXXXX) <input type="radio"/> 値を入力: <input type="text"/>
無線の認証	<input type="button" value="WPA/WPA2 mixedmode - PSK"/>
無線の暗号化	<input type="button" value="TKIP/AES mixedmode"/>
WPA-PSK(事前共有キー)	<input type="text" value="●●●●●●●●"/>
Key更新間隔	<input type="text" value="60"/> 分
<input type="button" value="設定"/>	

以上で設定は完了です。

アクセス可能な無線機器を制限する(MAC アクセス制限)

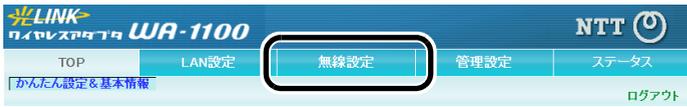
本商品に接続する無線機器の MAC アドレスをあらかじめ登録しておき、その機器のみ本商品へのアクセスを許可することができます。設定は以下の手順で行います。



お知らせ

自動設定(AOSS)とMACアクセス制限は同時に使用できません。MACアクセス制限を設定する場合は、「AOSS 接続を無効にする」(P92)を参照して本商品の設定を変更してください。

- 1 「AOSS 接続を無効にする」(P92)を参照して、本商品設定を変更します。
- 2 「設定画面を表示する」(P54)を参照して、本商品の設定画面を表示します。
- 3 設定画面が表示されたら、[無線設定]をクリックします。



- 4 [MAC アクセス制限]をクリックします。



- 5 [登録リストの編集]をクリックします。

無線パソコンの接続 制限する

設定

登録リスト

MACアドレス 接続状態
MACアドレスが登録されていません

登録リストの編集

- 6 無線で接続できる機器と、接続できない機器を指定します。「検出された無線パソコン一覧」には、現在接続されている無線機器の MAC アドレスが表示されています。ここで、接続可能にする機器の MAC アドレスのみを[登録]をクリックして登録します。

編集を終了して前の画面へ戻る

登録リストの新規追加

登録するMACアドレス

新規追加

登録リスト

MACアドレス	操作
MACアドレスが登録されていません	

検出された無線パソコン一覧

MACアドレス	操作
XXXXXXXXXXXX	登録

現在の状態を表示

「検出された無線パソコン一覧」に表示されていない機器を登録する場合は、「登録する MAC アドレス」欄に接続する機器の MAC アドレスを入力し、[新規追加]をクリックします。MAC アドレスを入力するときは、2桁ずつコロン(:)で区切って入力します。登録できる MAC アドレスは 64 個までです。

登録リストの新規追加

登録するMACアドレス

新規追加

7 登録が終わったら、[編集を終了して前の画面へ戻る]をクリックします。

編集を終了して前の画面へ戻る

登録リストの新規追加

登録するMACアドレス

新規追加

登録リスト

MACアドレス	操作
XXXXXXXXXXXXXXXX	<input type="button" value="修正"/> <input type="button" value="削除"/>
XXXXXXXXXXXXXXXX	<input type="button" value="修正"/> <input type="button" value="削除"/>
XXXXXXXXXXXXXXXX	<input type="button" value="修正"/> <input type="button" value="削除"/>

検出された無線パソコン一覧

MACアドレス	操作
XXXXXXXXXXXXXXXX	---

現在の状態を表示する

8 「制限する」をクリックしてチェックマークをつけ、[設定]をクリックします。

無線パソコンの接続 制限する

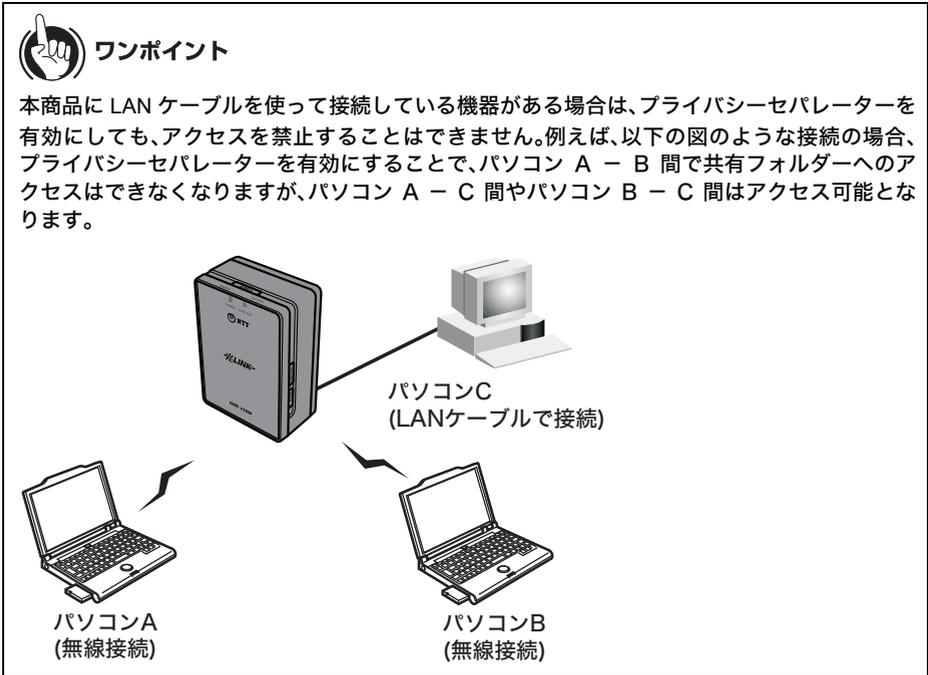
設定

9 「無線パソコンの MAC アクセス制限を有効にします」と表示されたら、[設定]をクリックします。

以上で設定は完了です。

無線機器同士の通信を禁止する（プライバシーセパレーター）

プライバシーセパレーター機能を使用すると、本商品に接続している無線機器同士のアクセス（共有フォルダー等へのアクセス）を禁止することができます。



1 「設定画面を表示する」(P54)を参照して、本商品の設定画面を表示します。

2 設定画面が表示されたら、[無線設定]をクリックします。



3 [拡張]をクリックします。



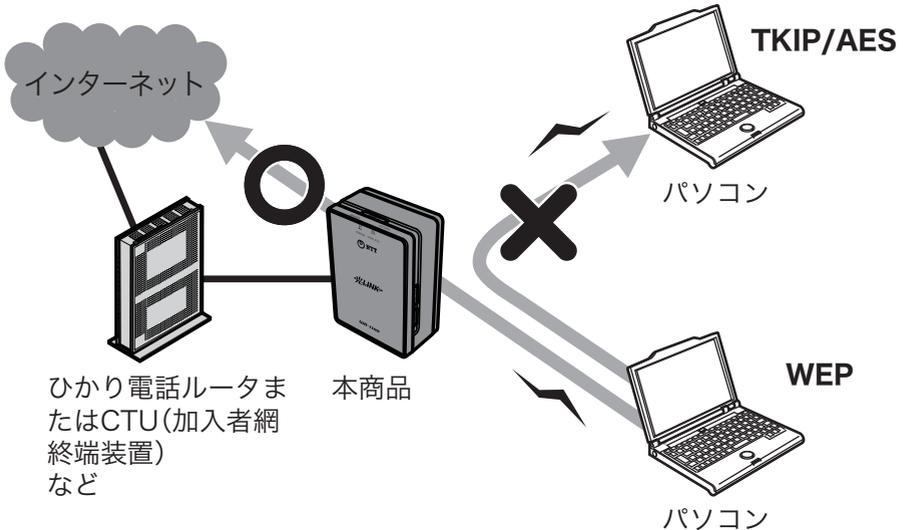
- 4 「プライバシーセパレータ」欄の「使用する」をクリックしてチェックマークをつけ
[設定]をクリックします。

Multicast Rate	自動
DTIM Period	1
プライバシーセパレータ	<input checked="" type="checkbox"/> 使用する
TPC機能	<input type="checkbox"/> 使用する

以上で設定は完了です。

WEP 接続の無線機器からのアクセスを制限する (隔離機能)

以下の設定を行うと、WEPを使用して本商品に接続している機器を隔離し、インターネット側とだけしか通信できないようにします。これにより、悪意あるユーザーによりWEPの暗号化キーが解読された場合でも、家庭内のネットワークに進入したり、本商品の設定画面にログインされるといった事態を防ぐことができます。



- 1 「設定画面を表示する」(P54)を参照して、本商品の設定画面を表示します。
- 2 設定画面が表示されたら、[無線設定]をクリックします。



- 3 [AOSS]をクリックします。



4 「WEP 専用 SSID 隔離」で「有効」を選択して、[設定]をクリックします。



AOSS 動作設定

WEP専用SSIDの暗号化レベル	停止
暗号化レベル拡張機能	有効
WEP専用SSID隔離	有効
WEPをゲーム専用にする	有効
本体側AOSSボタン	<input checked="" type="checkbox"/> 使用する

現在のセキュリティ情報

暗号化レベル	WPA-PSK-AES (現在使用中)	
SSID	XXXXXXXXXXXX	
暗号化キー	XXXXXXXXXXXX	
暗号化レベル	WPA/WPA2-PSK-mixed (現在使用中)	
SSID	XXXXXXXXXXXX	
暗号化キー	XXXXXXXXXXXX	
暗号化レベル	WEP128	
SSID	XXXXXXXXXXXX	
暗号化キー	XXXXXXXXXXXX	(送信キー)
	XXXXXXXXXXXX	
	XXXXXXXXXXXX	
	XXXXXXXXXXXX	
暗号化レベル	WEP64	
SSID	XXXXXXXXXXXX	
暗号化キー	XXXXXXXXXX	(送信キー)
	XXXXXXXXXX	
	XXXXXXXXXX	
	XXXXXXXXXX	

以上で設定は完了です。



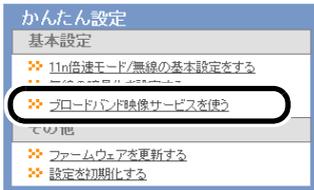
ワンポイント

自動設定(AOSS)を使用せず、手動でかつマルチセキュリティ(P66)を使用した場合、各暗号(AES、TKIP、WEP)ごとに、隔離機能を設定することが可能です。

ブロードバンド映像サービスの利用設定をする

IPv6 マルチキャストを利用した映像サービスを利用する場合は、以下の設定を行ってください。

- 1 「設定画面を表示する」(P54) を参照して、本商品の設定画面を表示します。
- 2 設定画面が表示されたら、[ブロードバンド映像サービスを使う]をクリックします。



- 3 Snooping 機能を「使用する」にチェックしてください。



お知らせ

ひかりTV等のブロードバンド放送は、同時に複数の人が視聴できるよう、マルチキャストという、すべての機器にデータを転送する方式がとられています。Snooping機能を使用すると、このデータをテレビなどの必要な機器にのみ送るようになるため、無線ネットワークの負担を軽減し、ブロードバンド放送の視聴を可能にします。

- 4 [設定完了]をクリックします。

以上で設定は完了です。

設定画面のパスワードを設定する

本商品の設定画面にパスワードを設定すると、本製品の管理者だけが設定内容を変更できるようになります。パスワードは、以下の手順で設定することができます。



ワンポイント

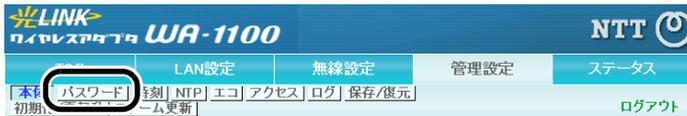
- パスワードを忘れると、本商品の設定画面にログインできなくなりますので、メモをするなどして控えておいてください。
- パスワードを忘れてしまった場合は、リセットスイッチ (P27) を押して、設定を初期化してください。(初期化すると、パスワード以外の設定も出荷時の設定に戻ります)

1 「設定画面を表示する」(P54) を参照して、本商品の設定画面を表示します。

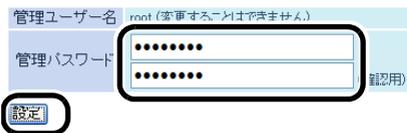
2 設定画面が表示されたら、[管理設定] をクリックします。



3 [パスワード] をクリックします。



4 管理パスワードを入力して、[設定] をクリックします。



- 5 以下の画面が表示されたら、ユーザー名に「root」(小文字)、パスワードに手順4で設定したパスワードを入力して[OK]をクリックします。



以上で設定は完了です。

本商品のファームウェアバージョンを確認する

本商品のファームウェアのバージョンは、以下の手順で確認することができます。

1 「設定画面を表示する」(P54) を参照して、本商品の設定画面を表示します。

2 設定画面が表示されたら、[ステータス]をクリックします。



3 ファームウェアのバージョンを確認します。

製品名	WA-1100 Ver.XXX (RXXX/BXXX)
機器名	APXXXXXXXXXXXX
	IPアドレス取得方法 手動設定



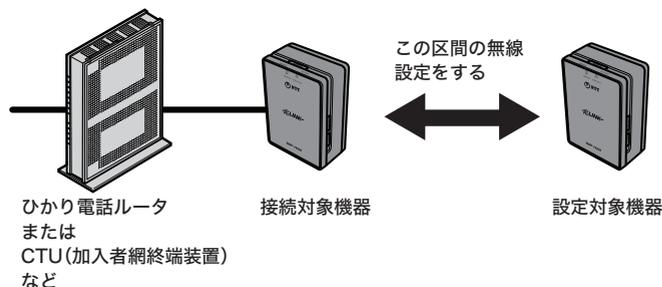
ワンポイント

「製品名」欄の「Ver.x.xx」の部分がファームウェアのバージョンです。

以上で設定は完了です。

設定画面を利用して本商品同士を無線接続する

本商品の設定画面を利用して本商品同士を無線接続する場合は、以下の手順で設定を行ってください。



お知らせ

- 以下の設定は、上級者向けの設定です。本商品同士の無線接続は、AOSS ボタンを押すだけで自動的に完了しますので、通常は AOSS による自動設定をご利用ください。
- AOSS による自動設定方法は、本書の第 2 章または第 3 章を参照してください。

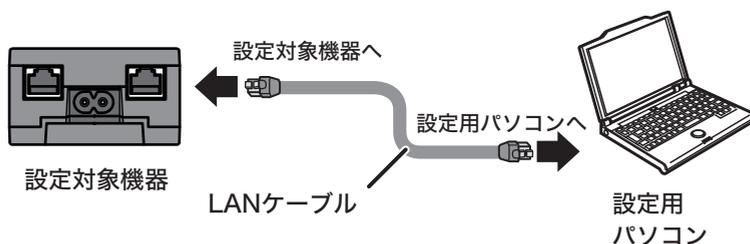
1 「設定画面を表示する」(P54) を参照して、本商品の設定画面を表示します。



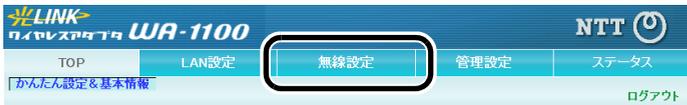
ワンポイント

- SSID と暗号化設定は、WPS 設定画面 (P61) にて確認することができます。
- WA-1100-S/WA-1100 の場合、出荷時の SSID と暗号化設定は、以下の通りです。
 SSID : 本商品のラベル(P29)に記載の値
 暗号化の種類 : WPA/WPA2 mixedmode - PSK
 暗号化キー : 本商品のラベル(P29)に記載の値

2 設定対象機器と設定用パソコンを LAN ケーブルで接続し、それぞれの電源を ON にします。



- 3 「設定画面を表示する」(P.54) を参照して、設定対象機器の設定画面を表示します。
- 4 設定画面が表示されたら、[無線設定]をクリックします。



- 5 [WA-1100 間接続]をクリックします。



- 6 WA-1100 間接続機能を「使用する」、親機 / 子機指定を「自動」に設定し、[検索]をクリックします。

WA-1100間接続機能 使用する

親機/子機指定

SSID

無線の認証

無線の暗号化

優先接続先指定 優先的に接続させる
MACアドレス

- 7 接続対象機器を選択し、[選択]をクリックします。

接続するワイヤレスアダプタ WA-1100(親機)の選択

選択	SSID	無線LAN電波	暗号	無線モード	
<input checked="" type="radio"/>	XXXXXXXXXXXX	36	◎	○	n/a
<input type="radio"/>	XXXXXX	3	△	○	n/g/o
<input type="radio"/>	XXXXXXX	12	×	○	n/g/b



ワンポイント

上記のように複数の接続先が表示された場合は、SSID にて接続先を判別してください。

8 接続対象機器に設定されている暗号化キーを入力し、[設定]をクリックします。

WA-1100間接続機能	<input checked="" type="checkbox"/> 使用する
親機/子機指定	自動
SSID	XXXXXXXXXXXX <input type="button" value="検索"/>
無線の認証	WPA2-PSK
無線の暗号化	AES
WPA-PSK事前共有キー	●●●●●●●●
優先接続先指定	<input checked="" type="checkbox"/> 優先的に接続させる MACアドレス XXX:XXX:XX:XX:XX:XX



ワンポイント

優先接続先指定で、「優先的に接続させる」を有効にして接続先機器の MAC アドレスを登録すると、SSID や暗号化設定が同じ機器が複数存在する環境においても、ここで登録した機器に優先的に接続するようになります。

以上で設定は完了です。

設定完了後は、設定対象機器側からインターネットに接続できるか確認してください。インターネットに接続できない場合は、接続対象機器のSSIDと暗号化設定を確認のうえ、再度上記の手順を実行してください。

MEMO

6

付属ソフトの使いかた

ソフトウェア概要

本商品に付属のソフトウェア(WA-1100 専用 CD-ROM)は、本商品の設定画面を表示したり、無線機能を内蔵したパソコンを本商品に接続したりするソフトウェアです。ここでは付属ソフトウェアの概要を説明します。

無線親機設定ユーティリティ

無線親機設定ユーティリティは、本商品の設定画面を簡単に表示するためのソフトウェアです。本商品とパソコンを接続して、無線親機設定ユーティリティを実行すると、本商品の設定画面を表示することができます。

無線子機設定ユーティリティ (FT-STC/U-B 設定ユーティリティ)

無線子機設定ユーティリティは、パソコンを本商品に簡単に無線接続するためのソフトウェアです。無線子機設定ユーティリティをパソコンにインストールすると、本商品の AOSS ボタンと無線子機設定ユーティリティ上の AOSS ボタンを押すだけで、本商品とパソコンを無線接続することができます。

※ 無線子機設定ユーティリティは、すべての無線内蔵パソコンについて動作保証するものではありません。

インストール方法

付属ソフトウェアのインストールは、以下の手順で行います。

お知らせ

- インストールは、管理者権限のあるユーザーで行ってください。それ以外のユーザーで行うと、正常にインストールできない場合があります。
- 起動中のソフトがある場合は、ソフトを終了してからインストールを行ってください。また、ウイルス対策ソフトなどのセキュリティソフトがインストールされている場合は、必ずセキュリティソフトを終了してからインストールを行ってください。
- 他社製無線接続ソフトがインストールされている場合は、事前に削除してください。

1 パソコンを起動します。

2 本商品に付属の CD-ROM をパソコンにセットします。しばらくすると、メニュー画面が表示されます

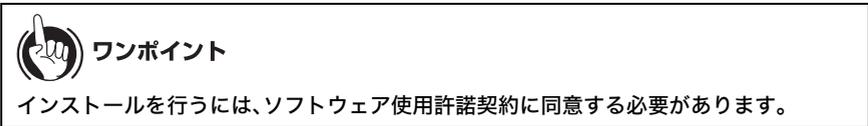
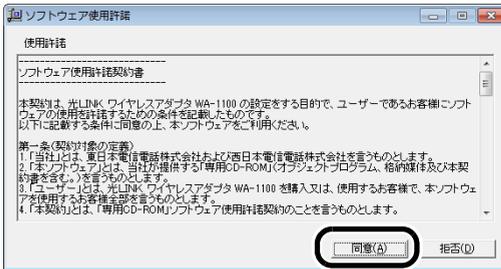
ワンポイント

- Windows 7/Vista をお使いの場合、「自動再生」画面が表示されることがあります。その場合は、「AirNavi.exe の実行」をクリックしてください。また、インストール中に「ユーザーアカウント制御」画面が表示されたら、[はい]または[続行]をクリックしてください。
- メイン画面が表示されないときは、(マイ)コンピュータで CD-ROM ドライブのアイコンをダブルクリックし、[AirNavi.exe]をダブルクリックしてください。

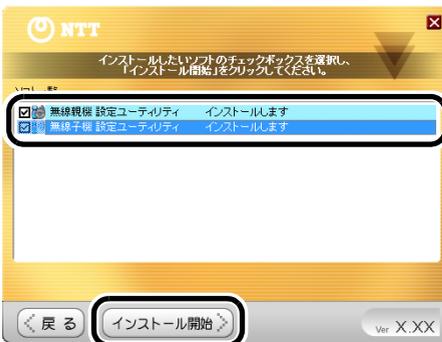
3 「かんたんスタート」をクリックします。



- 4 「ソフトウェア使用許諾契約書」画面が表示されたら、内容を確認し、同意する場合は[同意]をクリックします。



- 5 インストールしたいソフトウェアにチェックマークを付けて、[インストール開始]をクリックします。



- 6 以降は画面の指示に従ってインストールを行います。



お知らせ

インストール後、「初期設定」画面が表示された場合は、画面を閉じてください。



以上で付属ソフトウェアのインストールは完了です。

無線親機設定ユーティリティの使いかた

起動と終了のしかた

■起動方法

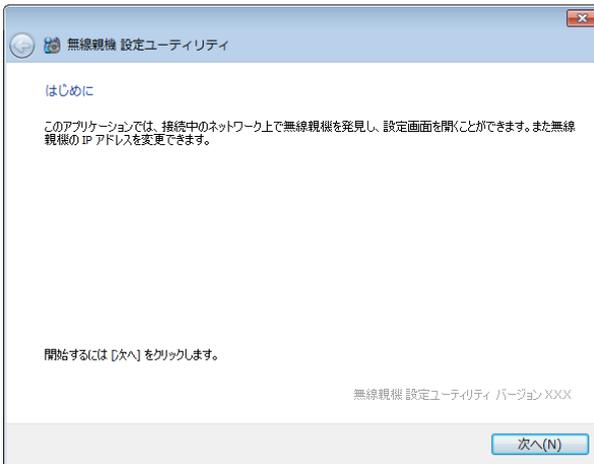
[スタート] – [(すべての)プログラム] – [NTT] – [無線親機設定ユーティリティ]の順にクリックすると、無線親機設定ユーティリティが起動します。

■終了方法

画面右上の[×]をクリックすると無線親機設定ユーティリティが終了します。

トップ画面

無線親機設定ユーティリティを起動したときの画面です。



パラメーター	説明
[次へ]	クリックすると、ネットワーク上の本商品が検索され、無線親機を選択画面 (P118) が表示されます。

無線親機を選択画面

設定対象の本商品を選択する画面です。ネットワーク上に本商品が複数設置されている場合、この画面で設定対象を選択します。



パラメーター

説明

機器名	本商品に設定されている機器名が表示されます。
ネットワーク名	本商品の SSID が表示されます。
MAC アドレス	本商品の MAC アドレスが表示されます。
IP アドレス	本商品の IP アドレスが表示されます。
[再検索]	クリックすると、ネットワーク上の本商品が再度検索されます。
[次へ]	クリックすると、操作の選択画面 (P119) が表示されます。
[キャンセル]	設定を中断する場合にクリックします。



ワンポイント

設定対象機器を確認する場合、以下のいずれかの方法で行ってください。

- 本体底面のラベル (P29) の SSID (MAC アドレス) を確認する。
- 設定画面にログイン後、TOP 画面下の [ランプを点滅させる] をクリックしてください。設定対象機器のステータスランプが約 30 秒間橙色に点滅します。

操作の選択画面

無線親機の選択画面 (P118) で選択した本商品に対して行う操作を選択する画面です。設定画面の表示、および本商品の IP アドレスの変更を行うことができます。



パラメーター

説明

【設定画面を開く】

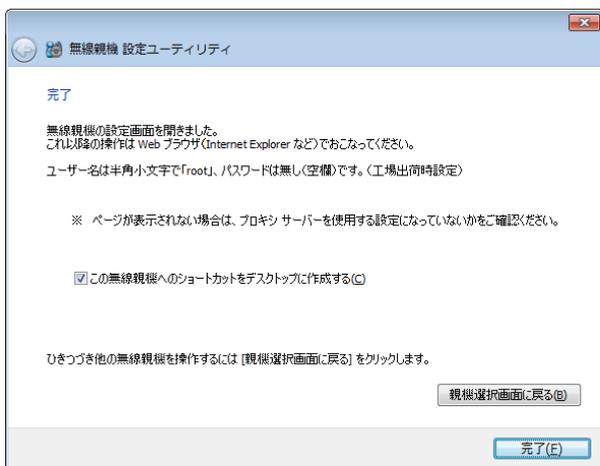
設定を行っているパソコンと本商品の IP アドレスのセグメントが同じ場合は、クリックすると、本商品の設定画面が WEB にて表示されるとともに、完了画面 (P120) が表示されます。
設定を行っているパソコンと本商品の IP アドレスのセグメントが異なる場合は、クリックすると、無線親機の IP アドレス設定画面 (P121) が表示されます。

【この無線親機の IP アドレスを設定する】

クリックすると、無線親機の IP アドレス設定画面 (P121) が表示されます。

完了画面

操作の選択画面 (P119) から本商品の設定画面にアクセスした際に表示される画面です。



パラメーター	説明
「この無線親機へのショートカットをデスクトップに作成する」	<p>チェックマークを付けると、本商品の設定画面へのショートカットをデスクトップ上に作成します。</p> <p>※ ショートカット作成後に本商品の IP アドレスを変更すると、そのショートカットからは設定画面にアクセスできなくなります。</p>
[親機選択画面に戻る]	<p>クリックすると、無線親機の選択画面 (P118) が表示されます。</p>
[完了]	<p>クリックすると、画面を閉じます。</p>

無線親機の IP アドレス設定画面

本商品の IP アドレスを設定する画面です。



パラメーター

説明

「DHCP サーバーから IP アドレスを自動的に取得する」	本商品の IP アドレスを DHCP サーバーから自動的に取得する場合に選択します。
「次の IP アドレスを使う」	本商品の IP アドレスを手動で設定する場合に選択します。
[次へ]	クリックすると、この画面で設定した内容を本商品に適用します。

無線子機設定ユーティリティの使いかた (Windows 7/Vista)

起動と終了のしかた

■起動方法

[スタート] - [(すべての)プログラム] - [NTT] - [FT-STC/U-B 設定ユーティリティ]の順にクリックすると、無線子機設定ユーティリティが起動します。

■終了方法

タスクトレイの無線子機設定ユーティリティのアイコンを右クリックして、[終了]をクリックすると、無線子機設定ユーティリティが終了します。



ワンポイント

Windows 7 をお使いの方で、タスクトレイに設定無線子機ユーティリティアイコンが見当たらない場合は、タスクトレイの  アイコンをクリックすると表示されます。



アイコンは、接続状態によって以下のように変化します。



: 本商品経由で通信中



: 本商品に未接続(接続先なし)、またはパソコンの無線機能が OFF の状態

メイン画面

メイン画面には、現在の接続状態が表示されます。



パラメーター	説明
接続先	現在の接続先が表示されます。 接続先が複数ある場合は、接続先を切り替えることもできます。
接続速度	現在の接続速度が表示されます。
電波状態	現在の通信で使用している電波状態が表示されます。  非常に良い  良い  悪い  非常に悪い  切断、またはパソコンの無線機能が OFF
接続先の作成	クリックすると、接続先の作成画面 (P124) が表示されます。
詳細設定を表示	クリックすると、詳細設定画面(ステータス)(P129)が表示されます。

接続先の作成画面

本商品に接続する設定を行う画面です。

本商品に自動的に接続する方法(自動セキュリティ設定)と無線親機を検索して接続する方法(手動設定)の2つの方法があります。



パラメーター	説明
使用する無線子機	現在使用している無線子機が表示されます。
自動セキュリティ設定 (WPS/AOSS)	本商品に対して、AOSS または WPS (プッシュボタン式) を使った自動セキュリティ設定を行います。画面にしたがって操作をすれば、無線の接続設定およびセキュリティ設定を簡単に行うことができます。
手動設定	本商品を検索し、SSID や暗号化キー、PIN コードを手動で入力して接続を行います。本商品に接続するには、あらかじめ、本商品の SSID と暗号化キーを知っておく必要があります。このボタンをクリックすると、手動設定方法の選択画面 (P126) が表示されます。
オプション (上級者向け)	自動セキュリティ設定の際、AOSS と WPS (プッシュボタン式) のどちらを使用するかを指定する場合にクリックします。クリックすると、接続先の作成画面 (オプション) (P125) 画面が表示されます。

接続先の作成画面(オプション)

自動セキュリティー設定時に AOSS と WPS(プッシュボタン式)のどちらを使用するかを選択する画面です。



パラメーター	説明
自動セキュリティー設定 WPS プッシュボタン式	本商品に対して、WPS(プッシュボタン式)を使った自動セキュリティー設定を行う場合にクリックします。
自動セキュリティー設定 AOSS	本商品に対して、AOSS を使った自動セキュリティー設定を行う場合にクリックします。

手動設定方法の選択画面

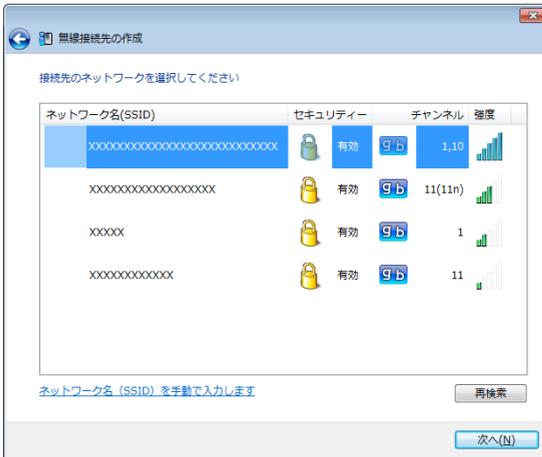
手動設定の方法を選択する画面です。
 セキュリティー情報を手動で入力して接続する方法と PIN コードを入力する方法があります。



パラメーター	説明
セキュリティ情報を手動で入力して接続	本商品の SSID や暗号化キーを手動で入力して接続します。クリックすると、無線親機の検索画面 (P127) が表示されます。
WPS PIN コード式で接続	WPS (PIN コード式) で本商品に接続します。クリックすると、PIN コード式での接続方法についての説明が表示されます。

無線親機の検索画面

近くにある本商品を検索して情報を表示し、接続を行う画面です。



パラメーター

説明

ネットワーク名 (SSID)	本商品の SSID が表示されます。
セキュリティ	本商品にセキュリティ設定が行われているかどうかが表示されます。  暗号が設定済み (未設定の場合は表示されません)
チャンネル	本商品の無線チャンネルが表示されます。
強度	本商品の電波強度が表示されます。  非常に強い  強い  普通  弱い  非常に弱い
ネットワーク名 (SSID) を手動で入力します	SSID を手動で入力して接続する場合は、ここをクリックします。
[再検索]	クリックすると、再度本商品を検索します。
[次へ]	クリックすると、追加するワイヤレスネットワークの情報画面 (P128) が表示されます。

追加するワイヤレスネットワークの情報画面

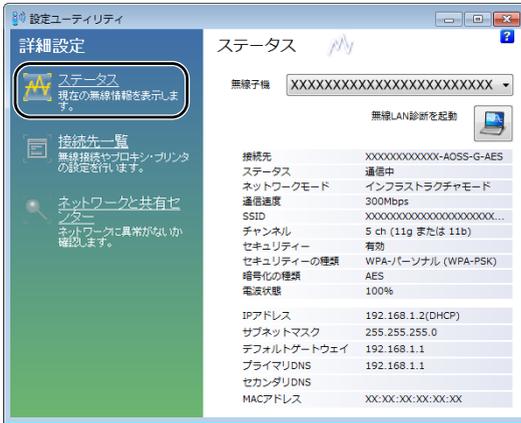
本商品に接続するときの画面です。

本商品に設定されているセキュリティの種類(暗号化方式)を選択し、暗号化キーを入力して[接続]をクリックすると、本商品に接続することができます。

パラメーター	説明
ネットワークの種類	通信の方式が表示されます。
ネットワーク名 (SSID)	接続先の SSID を入力します。
セキュリティの種類	本商品に設定されている暗号化方式を選択します。
暗号化の種類	本商品に設定されている暗号化の種類を選択します。
セキュリティキー またはパスフレーズ	本商品に設定されている暗号化キーを入力します。
ネットワークがブ ロードキャストをお こなっていない場合 でも接続する (ANY 接続拒否の無 線親機に接続する)	本商品の ANY 接続設定が「許可しない」設定になっている場合、この チェックを有効にすることで本商品と接続できます。
[接続]	クリックすると接続を開始します。

詳細設定画面(ステータス)

「ステータス」を選択すると、現在の接続状態の詳細が表示されます。
この画面では以下の内容を確認することができます。



パラメーター

説明

無線子機	現在使用している無線子機が表示されます。
無線 LAN 診断を起動	クリックすると、無線 LAN 診断画面 (P131) が表示されます。
接続先	現在の接続プロファイル名が表示されます。
ステータス	現在の通信状態が表示されます。
ネットワークモード	現在のネットワークモードが表示されます。
通信速度	現在の通信速度が表示されます。
SSID	現在の接続先の SSID が表示されます。
チャンネル	現在の無線チャンネルが表示されます。
セキュリティ	現在、セキュリティが有効になっているかどうかが表示されます。
セキュリティの種類	現在使用しているセキュリティの種類が表示されます。
暗号化の種類	現在使用している暗号化の種類が表示されます。
電波状態	現在の通信で使用している電波の状態が表示されます。
IP アドレス	現在使用している無線子機に割り当てられた IP アドレスが表示されます。

パラメーター	説明
サブネットマスク	現在使用している無線子機に割り当てられたサブネットマスクが表示されます。
デフォルトゲートウェイ	接続先のデフォルトゲートウェイのアドレスが表示されます。
プライマリ DNS	接続先のプライマリ DNS のアドレスが表示されます。
セカンダリ DNS	接続先のセカンダリ DNS のアドレスが表示されます。
MAC アドレス	現在使用している無線子機の MAC アドレスが表示されます。

無線 LAN 診断画面

無線 LAN 診断画面では、電波強度や信号品質について確認することができます。



パラメーター

説明

アダプタ

現在使用している無線子機が表示されます。

接続状態

電波強度 (dBm)、リンクレート (Mbps)、信号品質 (%) を、1 分間について時系列表示します。

チャンネル別 使用状況

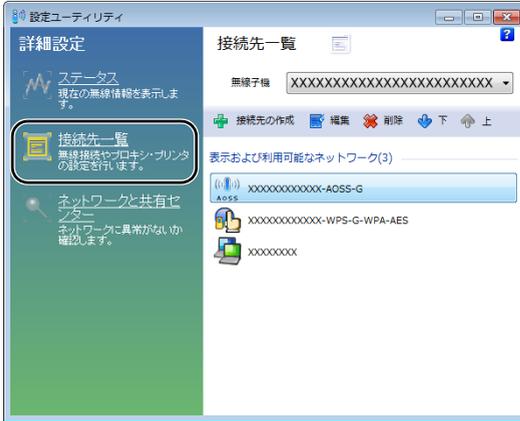
11b/11g は、2.4GHz 帯と表示された 1ch から 14ch までのチャンネルで使用状況を表示します。

11a は、J52/W52 と W53、W56 のチャンネルに使用状況を表示します。

色で無線親機の電波の強さを表します。赤色に近づくほど電波の強い無線親機を表し、青色に近づくほど電波の弱い無線親機を表します。

詳細設定画面(接続先一覧)

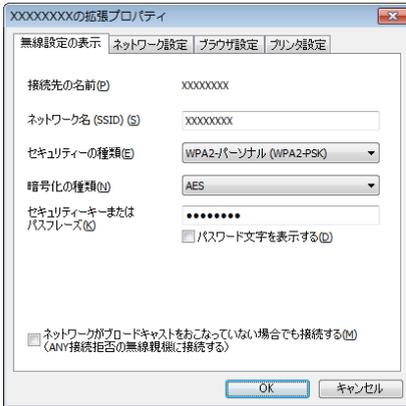
「接続先一覧」を選択すると、現在設定されている接続先一覧が表示されます。
この画面では以下の操作をすることができます。



パラメーター	説明
無線子機	現在使用している無線子機が表示されます。
接続先の作成	接続先を新規追加します。 クリックすると、接続先の作成画面 (P124) が表示されます。
編集	選択した接続先情報を編集します。 クリックすると、接続先情報の編集画面(無線設定の表示)(P133) が表示されます。
削除	選択した接続先を削除します。
下	選択した接続先の優先順位を下げます。
上	選択した接続先の優先順位を上げます。

接続先情報の編集画面 (無線設定の表示)

現在の無線設定内容を確認 / 編集することができます。

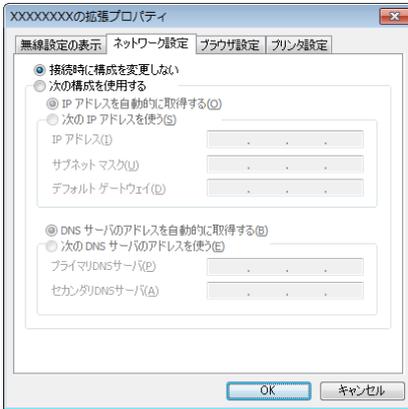


パラメーター	説明
接続先の名前	現在の接続先名が表示されます。
ネットワーク名 (SSID)	現在の接続先の SSID が表示されます。
セキュリティの種類	現在の接続で使用しているセキュリティの種類が表示されます。
暗号化の種類	現在の接続で使用している暗号化の種類が表示されます。
セキュリティまたはパスフレーズ	現在の接続で使用している暗号化キーが表示されます。(内容は「●」でマスクされます。「パスワード文字を表示する」にチェックマークをつけると内容が表示されます。)
ネットワークがブロードキャストをおこなっていない場合でも接続する (ANY 接続拒否の無線親機に接続する)	接続先の ANY 接続設定が「許可しない」設定になっている場合、このチェックを有効にすることで接続できます。

接続先情報の編集画面(ネットワーク設定)

本商品へ接続したときに無線子機に割り当てる IP アドレスやサブネットマスクなどを設定する画面です。

この画面では以下の情報を登録することができます。



パラメーター

説明

接続時に構成を変更しない

現在の TCP/IP ネットワーク設定をそのまま使用する場合に選択します。

次の構成を使用する

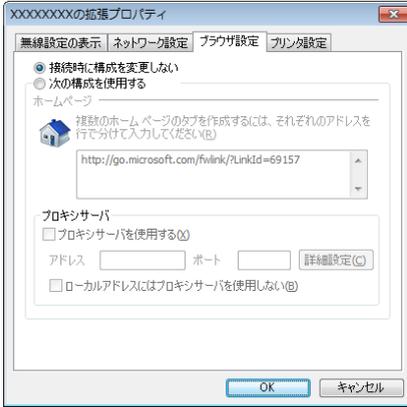
本商品への接続時に、TCP/IP ネットワーク設定を変更する場合に選択します。

IP アドレスを自動的に取得する場合は「IP アドレスを自動的に取得する」を選択します。手動で IP アドレスを設定する場合は、「次の IP アドレスを使う」を選択して IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイを設定してください。

DNS サーバのアドレスを自動的に取得する場合は、「DNS サーバのアドレスを自動的に取得する」を選択します。手動で DNS サーバのアドレスを設定する場合は、「次の DNS サーバのアドレスを使う」を選択して DNS サーバのアドレスを設定してください。

接続先情報の編集画面(ブラウザ設定)

本商品へ接続したときに使用するブラウザの設定を行う画面です。
この画面では以下の情報を登録することができます。



パラメーター

説明

接続時に構成を変更しない

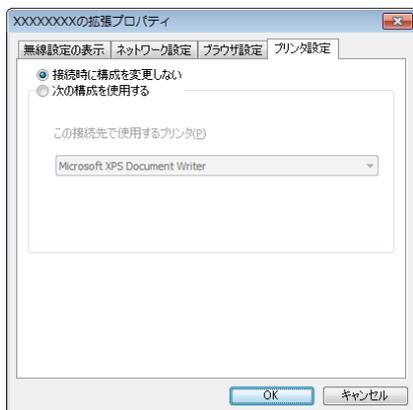
現在のブラウザ(Internet Explorer)設定をそのまま使用する場合に選択します。

次の構成を使用する

本商品への接続時に、ブラウザ設定を変更する場合に選択します。「ホームページ」には、ホームページのアドレスを入力してください。プロキシサーバを使用する場合は、「プロキシサーバを使用する」にチェックマークを付け、アドレスとポートを入力してください。ローカルアドレスに接続する場合にプロキシサーバを使用しない場合は、「ローカルアドレスにはプロキシサーバを使用しない」にチェックマークを付けてください。

接続先情報の編集画面(プリンタ設定)

本商品へ接続したときに使用するプリンタの設定を行う画面です。
この画面では以下の情報を登録することができます。



パラメーター

説明

接続時に構成を変更しない	現在のプリンタ設定をそのまま使用する場合に選択します。
次の構成を使用する	本商品への接続時に、プリンタ設定を変更する場合に選択します。 この接続で使用するプリンタを選択します。

無線子機設定ユーティリティの使いかた (Windows XP)

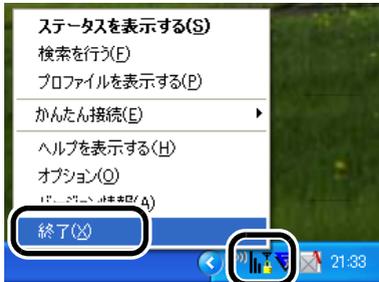
起動と終了のしかた

■起動方法

[スタート] - [(すべての)プログラム] - [NTT] - [FT-STC/U-B 設定ユーティリティ]の順にクリックすると、無線子機設定ユーティリティが起動します。

■終了方法

タスクトレイの無線子機設定ユーティリティのアイコン(下記参照)を右クリックして、[終了]をクリックすると、無線子機設定ユーティリティが終了します。



アイコンは、接続状態によって以下のように変化します。



: 本商品経由で通信中(TKIP/AES で暗号化済み)



: 本商品経由で通信中(WEP で暗号化済み、または暗号未設定)



: 認証中



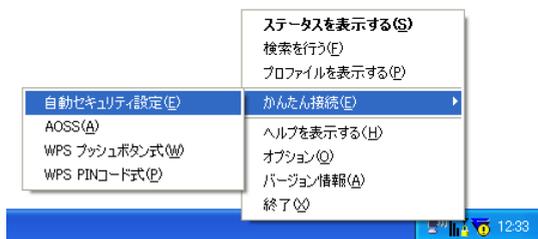
: 本商品に未接続(接続先なし)



: パソコンの無線機能が OFF の状態

タスクトレイアイコンメニュー

タスクトレイにある無線子機設定ユーティリティのアイコンを右クリックすると、以下のような設定メニューが表示されます。



パラメーター	説明
ステータスを表示する	無線子機設定ユーティリティのステータス画面 (P139) が表示されます。
検索を行う	無線子機設定ユーティリティの検索画面 (P141) が表示されます。
プロフィールを表示する	無線子機設定ユーティリティのプロファイル画面 (P143) が表示されます。
かんたん接続	自動セキュリティ設定を選択すると、本商品に対して、AOSS や WPS (プッシュボタン式) を使って簡単に接続することができます。通常は、こちらを選択してください。 接続先の仕様に合わせて、AOSS、WPS プッシュボタン式、WPS PIN コード式を指定することもできます。
ヘルプを表示する	無線子機設定ユーティリティのヘルプを表示します。
オプション	オプションメニュー(P148) が表示されます。
バージョン情報	無線子機設定ユーティリティのバージョン情報が表示されます。
終了	無線子機設定ユーティリティを終了します。

ステータス画面

ステータス画面には、現在の接続状態が表示されます。
この画面では以下の項目を確認することができます。



パラメーター

説明

プロファイル名	現在の接続プロファイル名が表示されます。
SSID	現在の接続先の SSID が表示されます。
ネットワークアダプタ名	現在使用している無線子機の名称が表示されます。
ネットワークタイプ	現在の接続タイプが表示されます。
通信速度	現在の通信速度が表示されます。
チャンネル	現在の無線チャンネルが表示されます。
セキュリティ	現在使用しているセキュリティの種類が表示されます。
IP アドレス	現在使用している無線子機に割り当てられた IP アドレスが表示されます。
MAC アドレス	現在使用している無線子機の MAC アドレスが表示されます。
経過時間	現在の接続先に接続してから経過した時間が表示されます。
電波受信強度	現在の通信で使用している電波の強度が表示されます。  非常に強い  強い  普通  弱い  非常に弱い  切断

パラメーター	説明
[再接続]	現在の接続先に再接続します。

検索画面

近くにある本商品を検索して情報を表示し、接続を行う画面です。
この画面では以下の操作をすることができます。



パラメーター

説明

SSID	本商品の SSID が表示されます。
無線モード	本商品の無線方式が表示されます。
CH	本商品の無線チャンネルが表示されます。
強度	<p>本商品の電波強度が表示されます。</p> <p> 非常に強い  強い</p> <p> 弱い  非常に弱い</p>
暗号	<p>本商品に暗号化の設定がされているかが表示されます。</p> <p> 強固な暗号 (TKIP/AES) が設定済み</p> <p> 暗号 (WEP) が設定済み</p> <p>— 暗号が未設定</p>
[接続]	接続対象を選択してこのボタンをクリックすると、接続画面 (P142) が表示されます。
[再検索]	クリックすると、再度近くにある本商品を検索します。

接続画面

無線親機に接続するときの画面です。

無線親機に設定されている暗号化方式を選択し、暗号化キーを入力して[接続]をクリックすると、無線親機に接続することができます。



パラメーター

説明

暗号化方式	接続先の無線親機の暗号化方式を選択します。
暗号キー	接続する無線親機の暗号化キーを入力します。 通常は「1」を選択し、1の行に暗号化キーを入力してください。
プロファイルに登録する	チェックマークをつけると、ここで設定した内容がプロファイル画面 (P143) に登録されます。

プロフィール画面

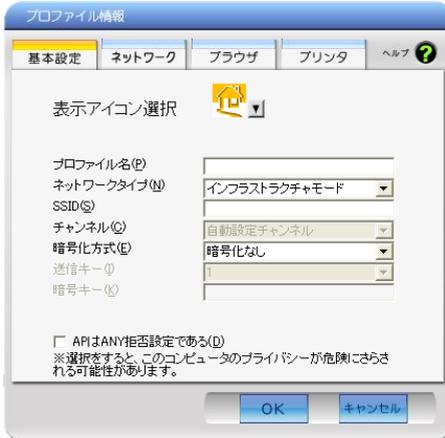
作成したプロフィール情報を元に、本商品へ接続したり、プロフィール情報の編集を行う画面です。この画面では以下の操作をすることができます。



パラメーター	説明
[接続]	プロフィールを選択してこのボタンをクリックすると、選択した接続先へ接続を行います。
[追加]	プロフィールを新規追加する場合にクリックします。クリックすると、プロフィール情報の設定画面(基本設定)(P144)が表示されます。
[編集]	プロフィール情報を編集したり削除する場合にクリックします。ボタンをクリックし、[編集]をクリックすると、プロフィール情報の設定画面(基本設定)(P144)が表示されます。
[WPS AOSS]	ボタンをクリックすると、AOSS または WPS(プッシュボタン式)による自動セキュリティ設定が行われます。設定完了後、対象の接続先へ接続するプロフィールが作成されます。

プロファイル情報の設定画面(基本設定)

接続先の SSID や暗号化方式、暗号化キーなどを登録する画面です。
この画面では以下の情報を登録することができます。

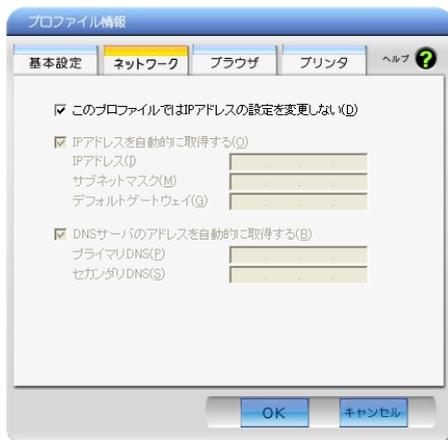


パラメーター	説明
表示アイコン選択	プロファイルに表示するアイコンを登録します。 アイコンは、リストより選択することができます。
プロファイル名	プロファイル名を設定します。 本商品に接続している場合、SSID(ネットワーク名)が自動的に入力されます。
ネットワークタイプ	通信の方式を選択します。 新規作成以外は、現在のモードが選択されています。
SSID	接続先の SSID を入力します。 新規作成以外は、現在の接続先の SSID が表示されています。
チャンネル	無線チャンネルを設定します。 インフラストラクチャモード時は、チャンネルは自動的に設定されます。
暗号化方式	接続先に対応した暗号化方式を選択します。 新規作成以外は、現在の暗号化方式が選択されています。
送信キー	暗号化方式が WEP の場合、4 つの暗号を設定できます。 通常は 1 を選択してください。
暗号キー	暗号化キーを入力します。 新規以外は、現在の暗号値が入力されています。 (シークレット表示されているため、暗号化キーは確認できません)

パラメーター	説明
AP は ANY 拒否設定である	接続先の ANY 接続設定が「許可しない」設定になっている場合、このチェックを有効にすることで接続できます。

プロファイル情報の設定画面(ネットワーク)

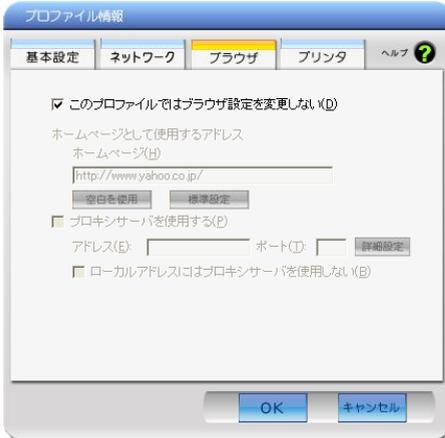
本商品へ接続したときにパソコンに割り当てる IP アドレスやサブネットマスクなどを設定する画面です。この画面では以下の情報を登録することができます。



パラメーター	説明
このプロファイルでは IP アドレスの設定を変更しない	チェックマークをつけると、現在の TCP/IP ネットワーク設定をそのまま使用します。設定を変更する場合は、チェックマークを外してください。
IP アドレスを自動的に取得する	チェックマークをつけると、IP アドレスを自動的に取得します。手動で IP アドレスを設定する場合は、チェックマークを外してください。
DNS サーバのアドレスを自動的に取得する	チェックマークをつけると、DNS サーバアドレスを自動的に取得します。手動で DNS サーバアドレスを設定する場合は、チェックマークを外してください。

プロファイル情報の設定画面(ブラウザ)

本商品へ接続したときに使用するブラウザの設定を行う画面です。
この画面では以下の情報を登録することができます。



パラメーター	説明
このプロファイルではブラウザ設定を変更しない	チェックマークをつけると、現在のブラウザ(Internet Explorer)設定をそのまま使用します。 設定を変更する場合は、チェックマークを外してください。
ホームページとして使用するアドレス	ホームページのアドレスを入力します。
プロキシサーバを利用する	プロキシサーバを使用する場合は、チェックマークをつけ、アドレスとポートを入力してください。
ローカルアドレスにはプロキシサーバを使用しない	チェックマークをつけると、ローカルアドレスに接続する場合に、プロキシサーバを使用しなくなります。常にプロキシサーバを経由して接続する場合は、チェックマークを外してください。

プロフィール情報の設定画面(プリンタ)

本商品へ接続したときに使用するプリンタの設定を行う画面です。
この画面では以下の情報を登録することができます。



パラメーター

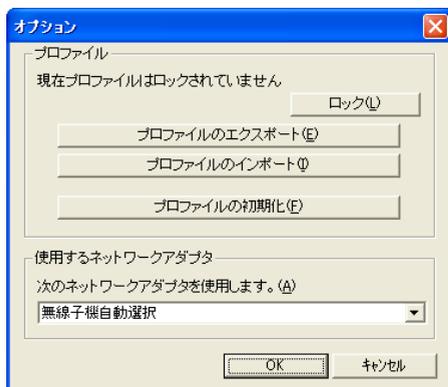
説明

このプロフィールではプリンタ設定を変更しない

チェックマークをつけると、現在使用しているプリンタをそのまま使用します。
設定を変更する場合は、チェックマークを外して、使用するプリンタを選択してください。

オプションメニュー

タスクトレイにある無線子機設定ユーティリティのアイコンを右クリックし、[オプション]を選択すると、以下のようなメニュー画面が表示されます。



パラメーター

説明

[ロック]	クリックすると、プロファイルの新規追加、削除、編集ができなくなります。ロックしたり、ロックを解除するには、パスワードの入力(半角英字 8 文字～ 63 文字)が必要です。
[プロファイルのエクスポート]	現在のプロファイル情報を保存します。プロファイル情報を保存するには、パスワードの入力(半角英字 8 文字～ 63 文字)が必要です。
[プロファイルのインポート]	保存しているプロファイル情報を取り込みます。プロファイル情報を取り込むには、エクスポート時に設定したパスワードの入力(半角英字 8 文字～ 63 文字)が必要です。
[プロファイルの初期化]	プロファイル情報を初期化します。初期化は、ロックを解除してから行ってください。(ロック中は初期化できません)
使用するネットワークアダプタ	無線子機設定ユーティリティで使用するネットワークアダプタを選択します。通常は、無線子機自動選択に設定してください。お使いのパソコンによっては、有線 LAN のネットワークアダプタ名が表示されることがありますが、無線子機設定ユーティリティでの動作は保証しておりません。

ソフトウェアの削除

「無線親機設定ユーティリティ」や「無線子機設定ユーティリティ」が不要になった場合は、以下の手順で削除することができます。



お知らせ

ソフトウェアの削除は、管理者権限のあるユーザーで行ってください。それ以外のユーザーで行うと、正常に削除できない場合があります。

1 パソコンを起動します。

2 本商品に付属の CD-ROM をパソコンにセットします。しばらくすると、メニュー画面が表示されます



ワンポイント

- Windows 7/Vista をお使いの場合、「自動再生」画面が表示されることがあります。その場合は、「AirNavi.exe の実行」をクリックしてください。また、インストール中に「ユーザーアカウント制御」画面が表示されたら、[はい]または[続行]をクリックしてください。
- メイン画面が表示されないときは、(マイ)コンピュータで CD-ROM ドライブのアイコンをダブルクリックし、[AirNavi.exe]をダブルクリックしてください。

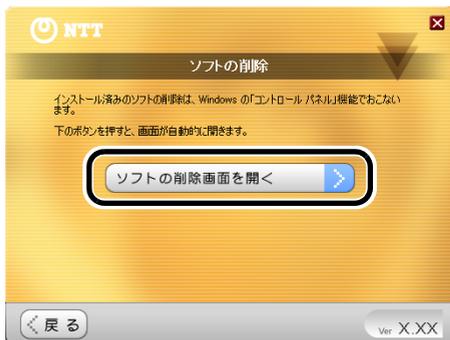
3 「削除」をクリックします。



4 「ソフトの削除」をクリックします。



5 「ソフトの削除画面を開く」をクリックします。



6 一覧から削除したいソフトウェアを選択し、[アンインストール]をクリックします。





お知らせ

上記は Windows 7 の画面です。お使いの Windows によっては、画面が異なることがあります。

7 以降は画面の指示に従ってソフトウェアを削除します。

以上でソフトウェアの削除は完了です。

MEMO

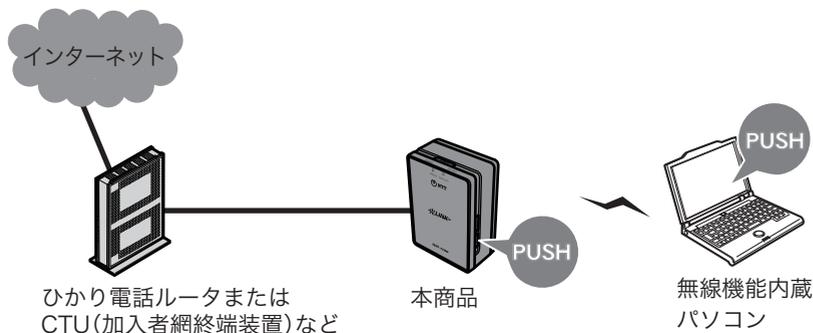
7

パソコンを無線接続する

本商品との接続例

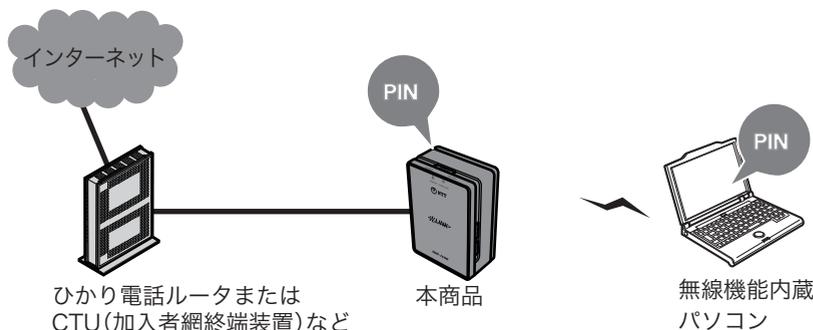
無線機能内蔵パソコンと本商品との無線接続は、以下の3通りの方法があります。

AOSS/WPS(プッシュボタン式)を使って接続する場合



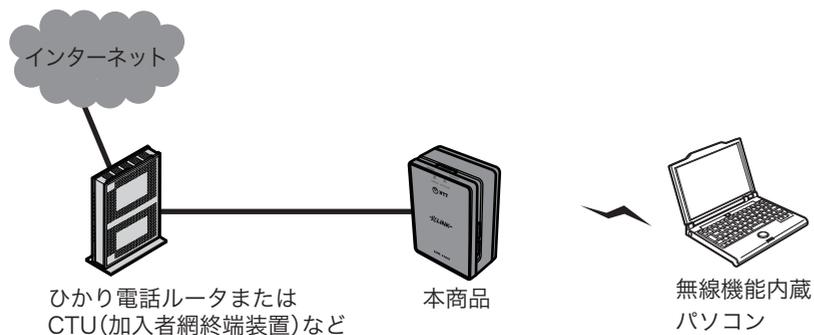
本商品のAOSSボタンと無線子機設定ユーティリティの自動セキュリティ設定ボタンを押して接続します。AOSSおよびWPS(プッシュボタン式)のどちらで接続されるかは、お使いの環境にあわせて自動的に決定されます。(指定して接続することもできます)

WPS(PINコード式)を使って接続する場合



無線子機設定ユーティリティで発行したPINコードを、本商品の設定画面上で登録することで接続設定が完了します。

本商品を検索して接続する場合



無線機能を内蔵したパソコンから本商品を検索し、本商品に設定されている暗号化キーを使って接続します。

接続のながれ

AOSS/WPS(押しボタン式)を使って接続する場合

AOSS を使って接続する場合は、以下のながれに沿って設定を行ってください。

無線子機設定ユーティリティの自動セキュリティ設定ボタンを押す
(P159、165)



本商品のAOSSボタンを押す(P160、166)



設定完了

WPS(PINコード式)を使って接続する場合

WPS(PINコード式)を使って接続する場合は、以下のながれに沿って設定を行ってください。

無線子機設定ユーティリティでPINコードを発行する(P172、177)



上記で発行したPINコードを本商品に登録する(P173、178)



設定完了

本商品を検索して接続する場合

本商品を検索して接続する場合は、以下のながれに沿って設定を行ってください。

本商品に設定されているSSIDと暗号化の設定を確認する



無線子機設定ユーティリティを使って本商品を検索する(P184、188)



本商品に設定されている暗号化キーを入力して、接続する(P184、189)



設定完了

本商品との接続

AOSS/WPS(プッシュボタン式)を使って接続する場合 (Windows 7/Vista)

Windows 7/Vista パソコンで AOSS/WPS(プッシュボタン式)を使って本商品に接続する場合は、以下の手順に従ってください。



ワンポイント

AOSS/WPS(プッシュボタン式)は、パソコンと本商品とを1対1で設定するため、設定中に別の機器をAOSS/WPS(プッシュボタン式)接続することはできません。本商品1台に対して複数の機器を接続するときは、AOSS/WPS(プッシュボタン式)接続が完了してから別の機器を接続してください。

- 1 [スタート]-[(すべての)プログラム]-[NTT]-[FT-STC/U-B 設定ユーティリティ]を選択します。
- 2 以下の画面が表示されたら、「接続先の作成」をクリックします。



- 3 「ユーザーアカウント制御」画面が表示されたら、[はい]または[続行]をクリックします。



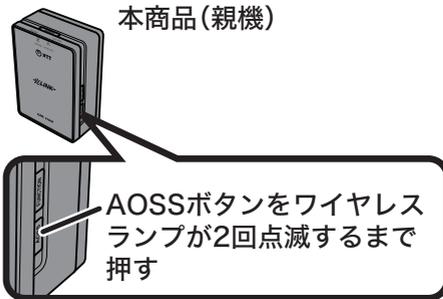
- 4 画面に表示されている自動セキュリティ設定ボタン  をクリックします。



- 5 以下の画面が表示されたら、本商品のワイヤレスランプが2回点滅するまでAOSSボタンを押し続けます。ランプが点滅したら、ボタンから手を放します。



※ 画面上の製品イメージは、例として記載してます。本商品とAOSSボタンの位置が異なりますので、あらかじめ位置をご確認ください。



6 自動的に本商品が検出され、接続されます。



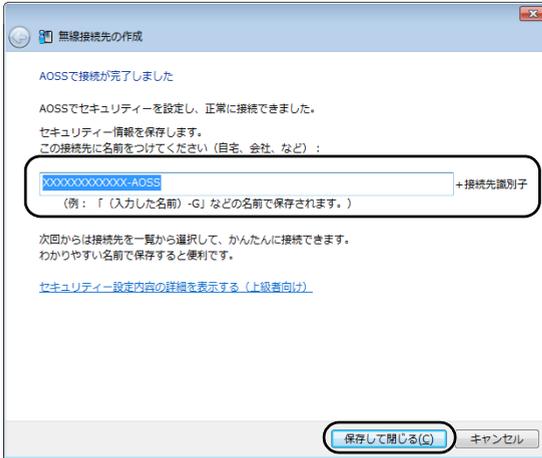
※ 画面上の製品イメージは、例として記載しています。

7 接続が完了するまで待ちます。



※ 画面上の製品イメージは、例として記載しています。

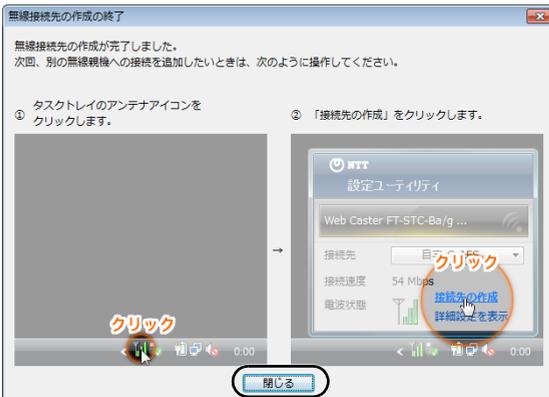
- 8 「AOSS で接続が完了しました」または「WPS プッシュボタン式で接続が完了しました」と表示されたら、接続先の名前を確認し、[保存して閉じる]をクリックします。



ワンポイント

接続先名は、任意の名称を設定することができます。

- 9 「無線接続先の作成が完了しました」と表示されたら、[閉じる]をクリックします。



- 10** 「ネットワークの場所の設定」という画面が表示された場合は、ご利用の環境にあった場所をクリックしてください。(ここでは例として、「ホームネットワーク」をクリックします)



- 11** 「ユーザーアカウント制御」画面が表示された場合は、[はい]または[続行]をクリックします。

- 12** 以下の画面が表示されたら、[閉じる]をクリックします。

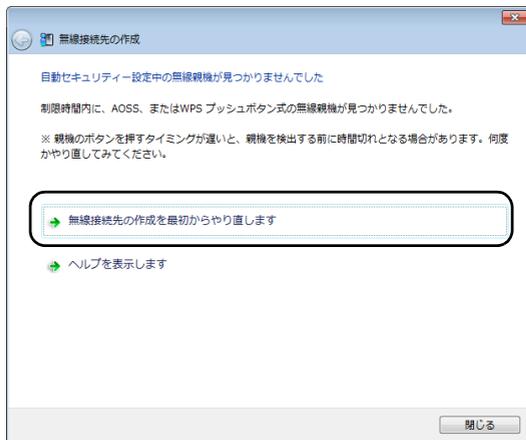


以上で本商品との接続は完了です。



ワンポイント

本商品との接続に失敗した場合、本商品のワイヤレスランプが連続点滅して、以下のような画面が表示されます。この場合、「無線接続先の作成を最初からやり直します」をクリックして、手順4 (P159)以降の操作を行ってください。



※ 画面は一例です。

AOSS/WPS(プッシュボタン式)を使って接続する場合 (Windows XP)

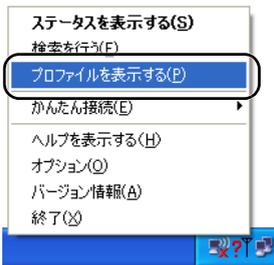
Windows XP パソコンで AOSS/WPS(プッシュボタン式)を使って本商品に接続する場合は、以下の手順に従ってください。



ワンポイント

AOSS/WPS(プッシュボタン式)は、パソコンと本商品とを 1 対 1 で設定するため、設定中に別の機器を AOSS/WPS(プッシュボタン式) 接続することはできません。本商品 1 台に対して複数の機器を接続するときは、AOSS/WPS(プッシュボタン式) 接続が完了してから別の機器を接続してください。

- 1 タスクトレイの  アイコンを右クリックし、「プロファイルを表示する」をクリックします。



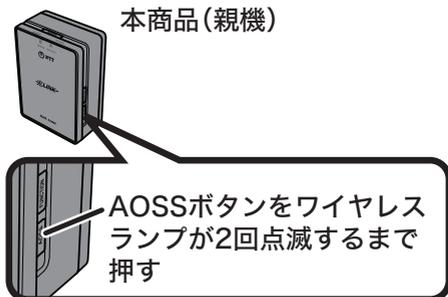
- 2  をクリックします。



- 3 以下の画面が表示されたら、本商品のワイヤレスランプが2回点滅するまでAOSSボタンを押し続けます。ランプが点滅したら、ボタンから手を放します。



※ 画面上の製品イメージは、例として記載してます。本商品とAOSSボタンの位置が異なりますので、あらかじめ位置をご確認ください。



4 自動的に本商品が検出され、接続されます。



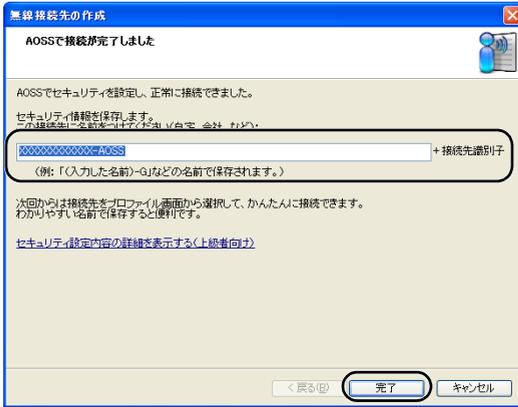
※ 画面上の製品イメージは、例として記載しています。

5 接続が完了するまで待ちます。



※ 画面上の製品イメージは、例として記載しています。

- 6 「AOSS で接続が完了しました」または「WPS プッシュボタン式で接続が完了しました」と表示されたら、接続先の名前を確認し、[完了]をクリックします。



ワンポイント

接続先名は、任意の名称を設定することができます。

- 7 「セキュリティの設定は成功しました」と表示されたら、[×]をクリックして画面を閉じます。

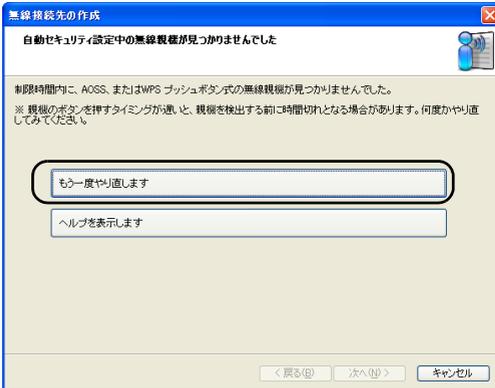


以上で本商品との接続は完了です。



ワンポイント

本商品との接続に失敗した場合、本商品のワイヤレスランプが連続点滅して、以下のような画面が表示されます。この場合、「もう一度やり直します」をクリックして、手順3 (P166) 以降の操作を行ってください。



※ 画面は一例です。

WPS (PIN コード式) を使って接続する場合 (Windows 7/ Vista)

Windows 7/Vista パソコンで WPS (PIN コード式) を使って接続する場合は、以下の手順に従ってください。

- 1 [スタート] - [(すべての)プログラム] - [NTT] - [FT-STC/U-B 設定ユーティリティ] を選択します。
- 2 以下の画面が表示されたら、「接続先の作成」をクリックします。



- 3 「ユーザーアカウント制御」画面が表示されたら、[はい] または [続行] をクリックします。



4 画面に表示されている手動設定ボタン  をクリックします。



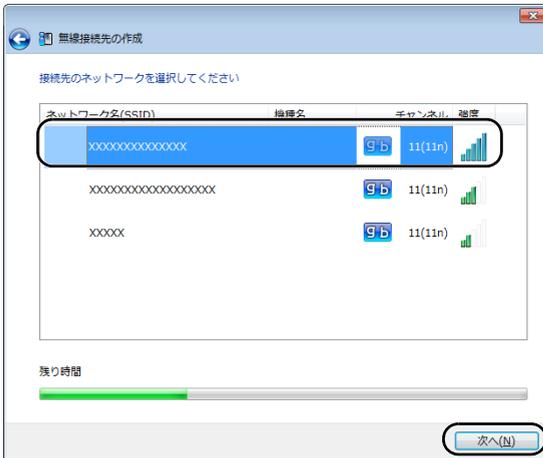
5 画面に表示されているWPS PINコード式ボタン  をクリックします。



- 6 画面に PIN コードが表示されますので、PIN コードを控えて[次へ]をクリックします。



- 7 接続先の本商品の SSID を選択し、[次へ]をクリックします。





ワンポイント

本商品の SSID が表示されない場合は、[×]をクリックして画面を閉じた後、再度手順 1 からやり直してください。(その際、手順 6 で控えた PIN コードは無効になります)それでも本商品の SSID が表示されない場合は、以下を実施してください。

- パソコンを本商品に近づける。
- 本商品に ANY 接続拒否設定 (P96) を行っている場合は、解除する。
- 本商品の WPS 機能 (P61) が有効になっており、外部 Registrar の要求を受け付ける設定 (P61) になっているか確認する。

8

以下の画面が表示されたら、手順 6 で控えた PIN コードを本商品に入力します。

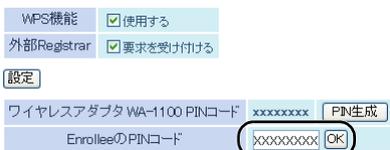


※ 画面上の製品イメージは、例として記載しています。



ワンポイント

PIN コードは、本商品の設定画面の[無線設定]－[WPS]にある、「Enrollee の PIN コード」に入力し、[OK]をクリックしてください。

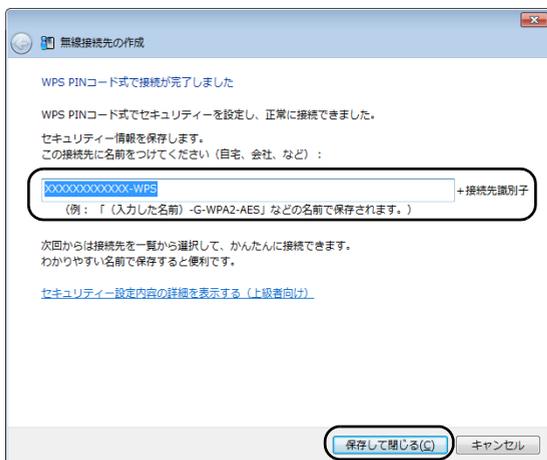


9 接続が完了するまで待ちます。



※ 画面上の製品イメージは、例として記載しています。

10 「WPS PIN コード式で接続が完了しました」と表示されたら、接続先の名前を確認し、[保存して閉じる]をクリックします。



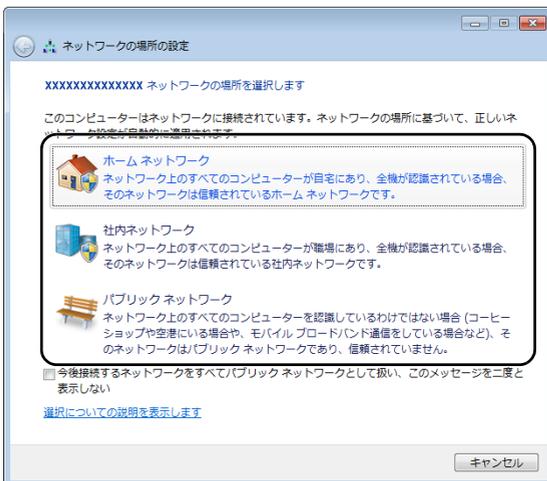
ワンポイント

接続先名は、任意の名称を設定することができます。

11 「無線接続先の作成が完了しました」と表示されたら、[閉じる]をクリックします。



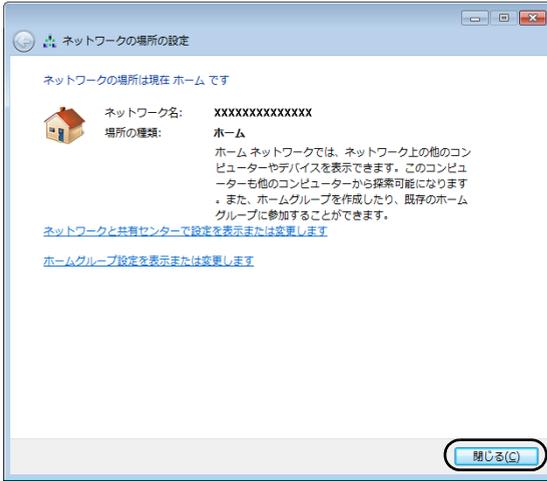
12 「ネットワークの場所の設定」という画面が表示された場合は、ご利用の環境にあった場所をクリックしてください。(ここでは例として、「ホームネットワーク」をクリックします)



13 「ユーザーアカウント制御」画面が表示された場合は、[はい]または[続行]をクリックします。

14

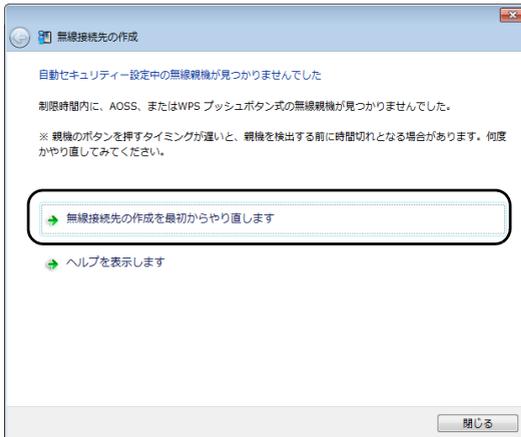
以下の画面が表示されたら、[閉じる]をクリックします。



以上で本商品との接続は完了です。

ワンポイント

本商品との接続に失敗した場合、以下のような画面が表示されます。この場合、「無線接続先の作成を最初からやり直します」をクリックして、手順4 (P171) 以降の操作を行ってください。

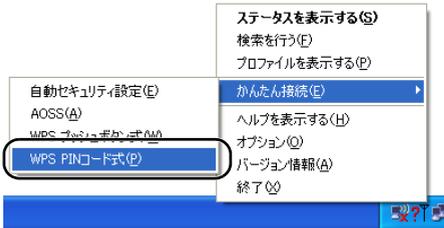


※ 画面は一例です。

WPS(PIN コード式)を使って接続する場合 (Windows XP)

Windows XP パソコンで WPS(PIN コード式)を使って接続する場合は、以下の手順に従ってください。

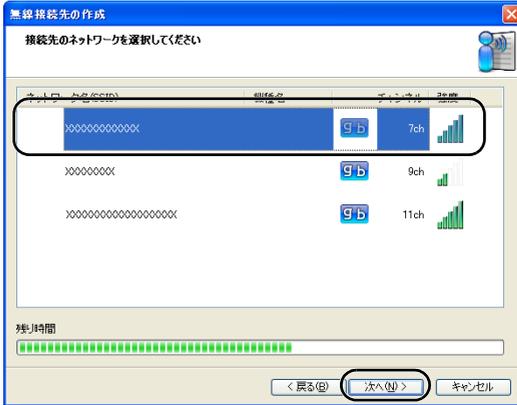
- 1 タスクトレイの ? アイコンを右クリックし、「かんたん接続」→「WPS PIN コード式」の順にクリックします。



- 2 画面に PIN コードが表示されますので、PIN コードを控えて[次へ]をクリックします。



3 接続先の本商品の SSID を選択し、[次へ]をクリックします。



ワンポイント

本商品の SSID が表示されない場合は、[×]をクリックして画面を閉じた後、再度手順1からやり直してください。(その際、手順2で控えたPINコードは無効になります)それでも本商品の SSID が表示されない場合は、以下を実施してください。

- ・パソコンを本商品に近づける。
- ・本商品に ANY 接続拒否設定 (P96) を行っている場合は、解除する。
- ・本商品の WPS 機能 (P61) が有効になっており、外部 Registrar の要求を受け付ける設定 (P61) になっているか確認する。

4 以下の画面が表示されたら、手順2で控えた PIN コードを本商品に入力します。



※ 画面上の製品イメージは、例として記載しています。

 **ワンポイント**

PIN コードは、本商品の設定画面の[無線設定]－[WPS]にある、「Enrollee の PIN コード」に入力し、[OK]をクリックしてください。

WPS機能 使用する
 外部Registrar 要求を受け付ける

[設定]

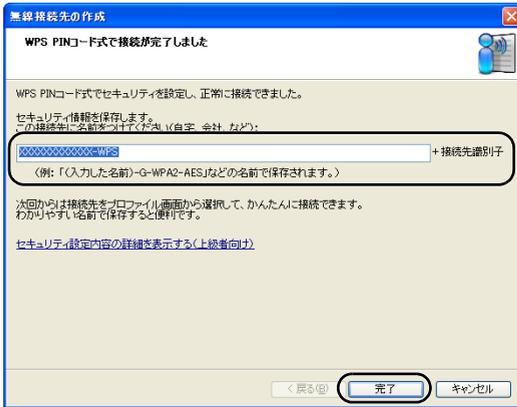
ワイヤレスアダプタ WA-1100 PINコード: xxxxxxxx PIN生成
 EnrolleeのPINコード: xxxxxxxx [OK]

5 接続が完了するまで待ちます。



※ 画面上の製品イメージは、例として記載してます。

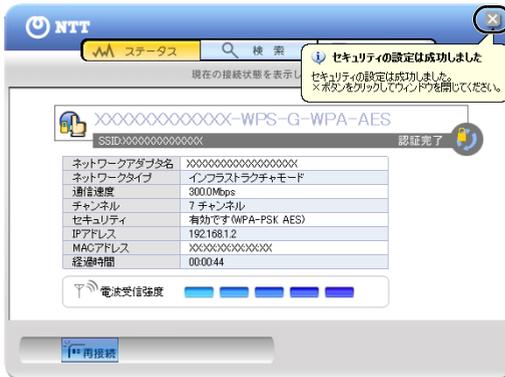
- 6 「WPS PIN コード式で接続が完了しました」と表示されたら、接続先の名前を確認し、[完了]をクリックします。



ワンポイント

接続先名は、任意の名称を設定することができます。

- 7 「セキュリティの設定は成功しました」と表示されたら、[×]をクリックして画面を閉じます。



以上で本商品との接続は完了です。



ワンポイント

本商品との接続に失敗した場合、以下のような画面が表示されます。この場合、「もう一度やり直します」をクリックして、手順2 (P177)以降の操作を行ってください。



※ 画面は一例です。

本商品を検索して接続する場合(Windows 7/Vista)

Windows 7/Vista パソコンで本商品を検索して接続する場合は、以下の手順に従ってください。

- 1 [スタート]—[(すべての)プログラム]—[NTT]—[FT-STC/U-B 設定ユーティリティ]を選択します。
- 2 以下の画面が表示されたら、「接続先の作成」をクリックします。



- 3 「ユーザーアカウント制御」画面が表示されたら、[はい] または [続行] をクリックします。



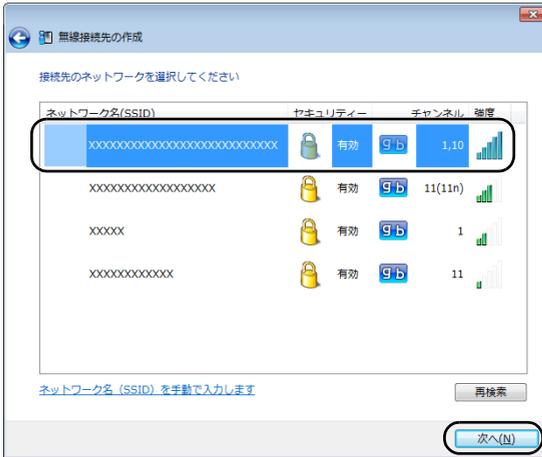
4 画面に表示されている手動設定ボタン  をクリックします。



5 画面に表示されている手動設定ボタン  をクリックします。



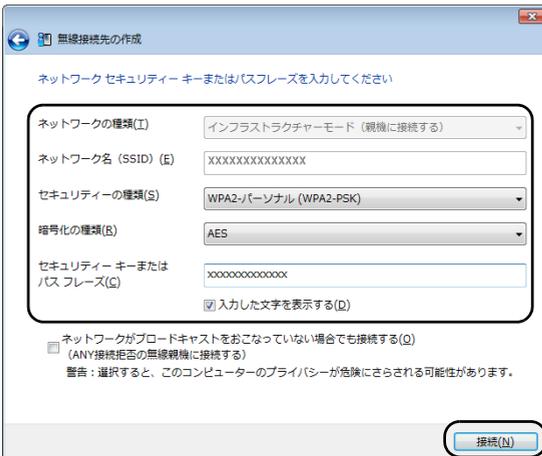
6 接続先の本商品の SSID を選択し、[次へ]をクリックします。



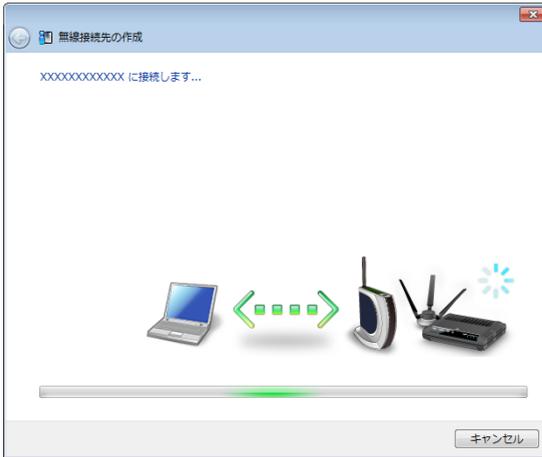
 お知らせ

本商品の SSID が表示されない場合は、[再検索]をクリックしてください。それでも本商品の SSID が表示されない場合は、パソコンを本商品に近づけてください。また、本商品に ANY 接続拒否設定 (P96) を行っている場合は、解除してください。

7 本商品に設定されているセキュリティの種類、暗号化の種類、暗号化キーを入力し、[接続]をクリックします。

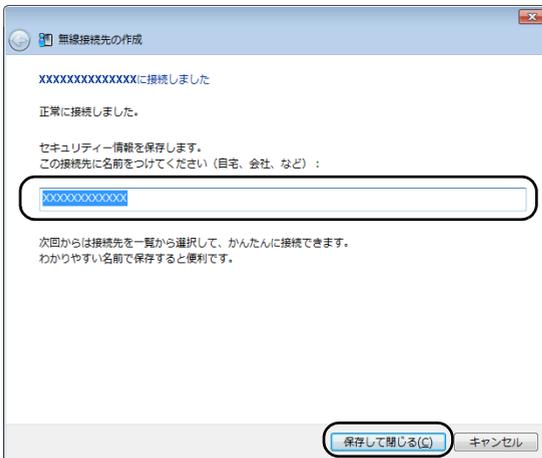


8 接続が完了するまで待ちます。



※ 画面上の製品イメージは、例として記載しています。

9 「正常に接続しました」と表示されたら、接続先の名前を確認し、[保存して閉じる]をクリックします。



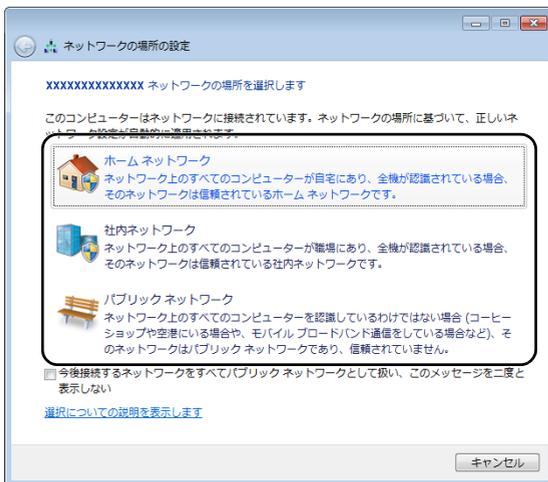
ワンポイント

接続先名は、任意の名称を設定することができます。

10 「無線接続先の作成が完了しました」と表示されたら、[閉じる]をクリックします。

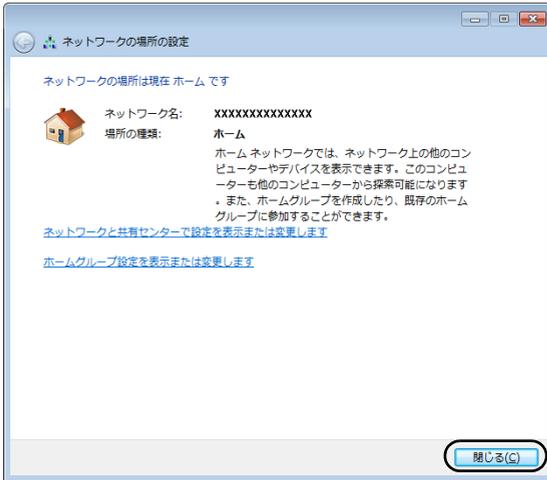


11 「ネットワークの場所の設定」という画面が表示された場合は、ご利用の環境にあった場所をクリックしてください。(ここでは例として、「ホームネットワーク」をクリックします)



12 「ユーザーアカウント制御」画面が表示された場合は、[はい]または[続行]をクリックします。

13

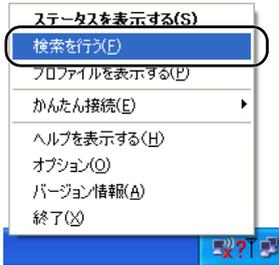
 以下の画面が表示されたら、[閉じる]をクリックします。

以上で本商品との接続は完了です。

本商品を検索して接続する場合(Windows XP)

Windows XP パソコンで本商品を検索して接続する場合は、以下の手順に従ってください。

- 1 タスクトレイの ? アイコンを右クリックし、「検索を行う」をクリックします。



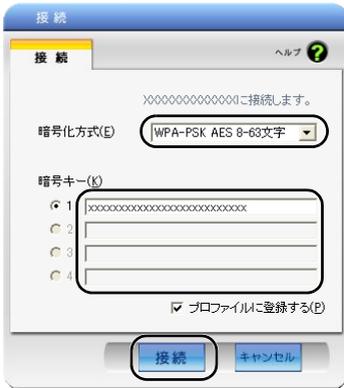
- 2 接続先の本商品の SSID を選択し、[接続]をクリックします。



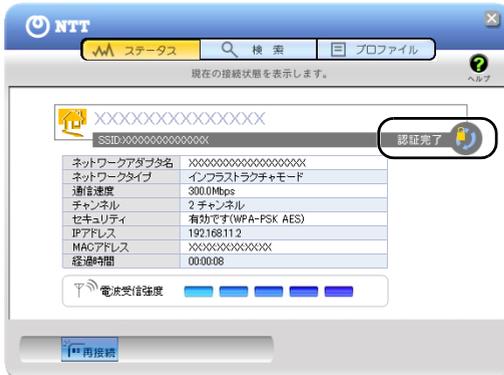
お知らせ

本商品の SSID が表示されない場合は、[再検索]をクリックしてください。それでも本商品の SSID が表示されない場合は、パソコンを本商品に近づけてください。また、本商品に ANY 接続拒否設定 (P96) を行っている場合は、解除してください。

- 3 本商品に設定されている暗号化方式を選択し、暗号化キーを入力して、[接続]をクリックします。



- 4 画面に「認証完了」または「接続」と表示されたら、接続は完了です。



以上で本商品との接続は完了です。

MEMO

8

困ったときは

無線接続で困ったとき

現象	対処方法
電波の状態が悪い / 通信が途切れる / 通信速度が遅い	<ul style="list-style-type: none"> • 無線通信区間に障害物がある場合は、障害物を移動させるか、本商品の使用場所を変更してください。 • 周りに本商品と同じ周波数帯を使用する機器（コードレス電話や電子レンジなど）がある場合、混信し、通信が途切れることがあります。その場合は、「無線チャンネルを変更する」(P.94)を参照してチャンネルを変更してください。
本商品同士が繋がらない	<ul style="list-style-type: none"> • 本商品の電源を入れ直してください。 • 本商品同士を近づけた後、「インターネットまたは映像サービスが利用できなかった場合」(P.40)を参照して、再度無線接続を行ってください。 • AOSS や WPS 機能を使用せずに接続設定を行っている場合は、本商品と無線機器で、以下を同じ設定にしてください。 <ul style="list-style-type: none"> • SSID • 暗号化の種類 • 暗号化キー • 「無線チャンネルを変更する」(P.94)を参照して、本商品の無線チャンネルを変更してください。

現象	対処方法
<p>本商品と無線機器がつかない</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 本商品の電源を入れ直してください。 • 本商品と無線機器に LAN ケーブルが接続されているときは、LAN ケーブルを外して無線接続を行ってください。無線接続の方法は、各機器の取扱説明書を参照するか、「パソコンを無線接続する」(P.153)を参照してください。 • 無線機器と本商品を近づけてから、無線接続を行ってください。 • AOSS や WPS 機能を使用せずに接続設定を行っている場合は、本商品と無線機器で、以下を同じ設定にしてください。 <ul style="list-style-type: none"> • SSID • 暗号化の種類 • 暗号化キー • 無線機器にセキュリティソフトがインストールされている場合は、一時的にファイアウォール機能を停止するか、アンインストールしてください。セキュリティソフトの設定については、各ソフトウェアメーカーにお問い合わせください。 • 「無線チャンネルを変更する」(P94)を参照して、本商品の無線チャンネルを変更してください。 • 無線機能内蔵パソコンをお使いの場合は、無線のドライバーのバージョンアップをしてください。

本商品の設定画面が表示できなくて困ったとき

現象	対処方法
<p>本商品の設定画面にログインできない</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 設定画面にログインするためのユーザー名やパスワードが正しいか確認してください。出荷時設定でお使いの場合、ユーザー名は「root」、パスワードは未設定です。 パスワードを忘れてしまった場合は、リセットスイッチ (P27) を3秒以上押し、設定を初期化してください。 (初期化すると、パスワード以外の設定も出荷時設定に戻ります) • 再度、「設定画面を表示する」(P.54)の手順で設定画面を表示してください。 • Internet Explorer がプロキシを使用しない設定になっているか確認してください。 • パソコンと本商品を正しく接続してください。 無線で接続する場合は、正しく無線接続されているか確認してください。 LAN ケーブルで接続する場合は、LAN ケーブルが正しく接続されているか確認してください。 • パソコンの IP アドレスが正しく設定されているか確認してください。

その他の設定で困ったとき

現象	対処方法
ランプが点灯しない	<p>AC コードが正しく接続されているか確認してください。また、電源ボタンを押して、ランプが点灯するか、確認してください。</p> <p>※ 本製品の「おまかせ節電」(P79)を有効にしている場合は、本商品の電源が ON であってもランプが点灯しないことがあります。</p>
ワイヤレスランプが連続点滅する	<p>AOSS/WPS 接続に失敗すると、ワイヤレスランプが連続点滅します。その場合、再度 AOSS ボタンを約 1 秒間押し続けると、AOSS/WPS 接続を行うことができます。</p>
ステータスランプが点滅する	<p>ステータスランプは、点滅回数によって本商品の状態を示します。詳細は、「各部の名称とはたらき」(P27)を参照してください。</p> <p>なお、ステータスランプは、本商品の電源投入時やファームウェアの更新時にもしばらく点灯 / 点滅します。電源投入後、5 分以上たっても点滅が続く場合は、いったん AC コードを抜く、またはコンセントから外して、しばらくしてから再度 AC コードを挿す、またはコンセントに挿し込んでください。再びステータスランプが点滅する場合は、故障受付(本書裏表紙参照)にご連絡ください。</p>
本商品に設定されている暗号の種類や暗号化キーが分からない	<p>本商品に AOSS 設定がされている場合は、本商品の設定画面より暗号の種類と暗号化キーを確認することができます。確認方法は、「AOSS 接続で設定された内容を確認する」(P90)を参照してください。</p> <p>ただし、AOSS を使用せずに手で暗号化の設定を行った場合は、暗号の種類や暗号化キーは、確認することはできません。</p> <p>リセットスイッチ (P27)を 3 秒以上押し、設定を初期化した後、再設定を行ってください。</p>
本商品の出荷時設定を知りたい	<p>本商品のおもな出荷時設定は、本商品底面のラベル (P29)で確認することができます。</p> <p>また、すべての出荷時設定については、「初期設定一覧」(P198)を参照してください。</p>

MEMO

9

付録

製品仕様

無線 LAN インター フェース部	準拠規格	無線 LAN 標準プロトコル IEEE802.11n / IEEE802.11a / IEEE802.11b / IEEE802.11g
		ARIB STD-T71 (IEEE802.11a) ARIB STD-T66 (IEEE802.11g / IEEE802.11b) (小電力データ通信システム規格)
	伝送方式	多入力多出力直交周波数分割多重変調 (MIMO-OFDM) 方式 直交周波数分割多重変調 (OFDM) 方式 直接拡散型スペクトラム拡散 (DS-SS) 方式 単信 (半二重)
	データ転送速度 (オートセンス)	IEEE802.11n 20MHz Channel <800nsGI> 13/26/39/52/78/104/117/130Mbps (mcs8-15) 6.5/13/19.5/26/39/52/58.5/65Mbps (mcs0-7) IEEE802.11n 40MHz Channel <800nsGI> 27/54/81/108/162/216/243/270Mbps (mcs8-15) 13.5/27/40.5/54/81/108/121.5/135Mbps (mcs0-7) IEEE802.11n 20MHz Channel <400nsGI> 150Mbps (mcs15) IEEE802.11n 40MHz Channel <400nsGI> 300Mbps (mcs15) OFDM 6/9/12/18/24/36/48/54Mbps DS-SS、CCK 1/2/5.5/11Mbps
	アクセス方式	インフラストラクチャーモード、WDS モード
周波数範囲 (中心周波数)	IEEE802.11a W52 36/40/44/48ch (5180 ~ 5240MHz) W53 52/56/60/64ch (5260 ~ 5320MHz) W56 100/104/108/112/116/120/124/128/ 132/136/140ch (5500 ~ 5700MHz) IEEE802.11b/g 1 ~ 13ch (2412 ~ 2472MHz) ※ 基本的に携帯電話、コードレスホン、テレビ、ラジオ等とは 混信しませんが、これらの機器が 2.4GHz 帯の無線を使用 する場合は、混信が発生する可能性があります。	
セキュリティー	WPA-PSK (TKIP/AES)、WPA2-PSK (TKIP/AES)、WEP (128/ 64bit)、プライバシーセパレーター、ANY 接続拒否 /SSID ステルス機能、MAC アクセス制限機能	

第9章 付録

有線 LAN インター フェース部	準拠規格	IEEE802.3u (100BASE-TX) IEEE802.3 (10BASE-T)
	データ転送速度	10/100Mbps (自動認識)
	データ伝送 モード	半二重 / 全二重 (自動認識)
	ポート	100BASE-TX/10BASE-T 兼用ポート X2 (AUTO-MDIX)
使用電源	AC100 ~ 240V 50/60Hz	
消費電力	最大 7.5W	
動作温度 / 動作湿度	0 ~ 40 °C / 20 ~ 80% (結露なきこと)	
重量	170g (本体 + 壁掛け用プレート)	
外形寸法	72 (W) X 102 (H) X 40 (D) mm	

ケーブル仕様

ケーブルタイプと仕様			
ケーブル	タイプ	最大長	コネクタ
10BASE-T	カテゴリ-3、4、5 UTP/STP	100m	RJ-45
100BASE-TX	カテゴリ-5 UTP/STP	100m	RJ-45

ツイストペアケーブルとポート仕様

STOP お願い

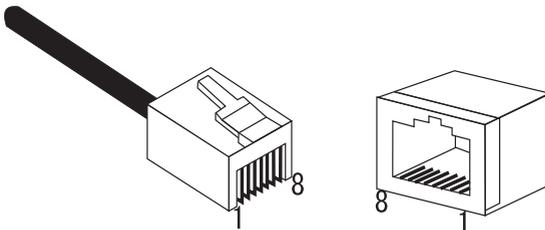
LANポートに、電話のモジュラーケーブルを差し込まないでください。電話のモジュラーケーブルを差し込むと、故障の原因となります。必ず、RJ-45 コネクタを装備し、規格に適合しているツイストペアケーブルを使用してください。

100BASE-TX/10BASE-T 接続の場合、2 対ツイストペアケーブルが必要です。2 種類の色でそれぞれのワイヤーペアを識別します。たとえば、一方を赤、もう一方を白のストライプが入った赤にするなどです。さらに、ケーブルの両端に RJ-45 コネクタが必要です。



お知らせ

ワイヤーペアを決まった向きで RJ-45 コネクタに接続する必要があります。



LAN ポート仕様

100BASE-TX/10BASE-T で使用されているケーブルでは、1 番ピンと 2 番ピンをデータ送信に使用し、3 番ピンと 6 番ピンをデータ受信に使用します。

本商品は全ポートで AUTO-MDIX に対応していますので、パソコンやハブとのあらゆるネットワーク接続にストレートケーブルを使用できます。

次の表に、100BASE-TX/10BASE-T MDI ポートと MDI-X ポートのピン割り当てを示します。

ピン番号	MDIX/MDI 信号	信号機能 (MDI/MDIX)
1	RD+/TD+	受信データ (+) / 送信データ (+)
2	RD-/TD-	受信データ (-) / 送信データ (-)
3	TD+/RD+	送信データ (+) / 受信データ (+)
4	(Not Use)	未使用
5	(Not Use)	未使用
6	TD-/RD-	送信データ (-) / 受信データ (-)
7	(Not Use)	未使用
8	(Not Use)	未使用

※ + と - は、各ワイヤーペアを構成するワイヤーの極性を表します。

初期設定一覧

機能	パラメーター	出荷時設定
LAN	LAN 側 IP アドレス	192.168.1.201 (255.255.255.0)
	デフォルトゲートウェイ	なし
	DNS (ネーム) サーバー アドレス	なし

機能	パラメーター	出荷時設定
WPS	WPS 機能	使用する
	外部 Registrar	要求を受け付ける
	ワイヤレスアダプタ WA-1100 PIN コード	本商品のラベルに記載されている 8桁の値
	WPS 用無線セキュリ ティー設定	WPS ステータス： configured セキュリティー： WPA/WPA2 mixedmode-PSK TKIP/ AES mixedmode SSID/ 暗号鍵： 本商品のラベルに記載されている 13桁の値
AOSS	WEP 専用 SSID の暗号化 レベル	停止
	暗号化レベル拡張機能	有効
	WEP 専用 SSID 隔離	無効
	WEP をゲーム専用にする	使用しない
	本体側 AOSS ボタン	使用する
11n/a/g/b	無線機能	使用する
	無線チャンネル	自動 [全チャンネル] (DFS あり) 室内専用モード
	倍速モード	20/40MHz 自動選択
	ANY 接続	許可する
	隔離機能	使用しない
	SSID	ワイヤレスアダプタ WA-1100 の MAC アドレスを設定
	無線の認証	WPA/WPA2 mixedmode-PSK
	無線の暗号化	TKIP/AES mixedmode
	WPA-PSK (事前共有 キー)	本商品のラベルに記載されている 13桁の値
	Key 更新間隔	60 分
拡張	Multicast Rate	自動
	DTIM Period	1
	プライバシーセパレーター	使用しない
	TPC 機能	使用しない

機能	パラメーター	出荷時設定		
		AP 用	STA 用	
WMM	WMM-EDCAパラメーター (優先度 AC_BK (低い))		AP 用	STA 用
		CWmin	15	15
		CWmax	1023	1023
		AIFSN	7	7
		TXOP Limit	0	0
		Admission Control	-----	無効
	WMM-EDCAパラメーター (優先度 AC_BE (普通))		AP 用	STA 用
		CWmin	15	15
		CWmax	63	1023
		AIFSN	3	3
		TXOP Limit	0	0
		Admission Control	-----	無効
	WMM-EDCAパラメーター (優先度 AC_VI (優先))		AP 用	STA 用
		CWmin	7	7
		CWmax	15	15
		AIFSN	1	2
		TXOP Limit	94	94
		Admission Control	-----	無効
	WMM-EDCAパラメーター (優先度 AC_VO (最優先))		AP 用	STA 用
		CWmin	3	3
		CWmax	7	7
AIFSN		1	2	
TXOP Limit		47	47	
Admission Control		-----	無効	
MAC アクセス制限	無線パソコンの接続	制限しない		
	登録リスト	なし		
マルチキャスト制御	Snooping 機能	使用する		
	マルチキャスト Aging Time	300 秒		
WA-1100 間接続	WA-1100 間接続機能	使用する		
	親機 / 子機指定	親機		
本体	機器名	AP + 本商品の LAN 側 MAC アドレス		

機能	パラメーター	出荷時設定
パスワード	管理ユーザー名	root (変更不可)
	管理パスワード	なし
時刻	日付	2010年1月1日
	時刻	0時00分00秒
	タイムゾーン	(GMT+09:00) 東京、大阪、ソウル
NTP	NTP 機能	使用する
	サーバー名	ntp.jst.mfeed.ad.jp
	確認時間	24時間毎
エコ	おまかせ節電機能	使用しない
	ランプ	通常動作
アクセス	ログ出力	使用しない
	制限項目	すべて無効
ログ	ログ情報転送機能	使用しない
	syslog サーバー	空欄
	転送するログの種類	アドレスフィルター、DHCP クライアント、AOSS、無線 LAN 子機、認証、設定変更、システム起動、NTP クライアント、有線リンク

用語集

AES

IEEE802.11i で策定されている次世代暗号化方式です。「WEP」脆弱性の原因は、採用している暗号方式(RC4 暗号)自体に解読手法が存在するためです。「TKIP」にて脆弱性の改善はされていますが、暗号方式自体を抜本的に見直したものが「AES」です。

DHCP サーバー

DHCP サーバーはネットワークに関連した情報(IP アドレス、ルータの IP アドレス、ドメイン名など)を管理します。DHCP クライアントが起動すると、自動的に IP アドレスなどの情報を割り振ります。DHCPサーバーがネットワーク上に存在すると、ネットワーク上の機器に、IPアドレスなどを手で設定する必要がなくなります。

DNS

コンピューター名やドメイン名を、それぞれに対応した IP アドレスに変換するシステムです。

MAC アドレス

ネットワーク機器ごとの固有の物理アドレスです。先頭からの 3bytes のベンダーコード(メーカーの ID)と、残り 3bytes のユーザーコードの 6bytes で構成されます。Ethernet ではこのアドレスを元にフレームの送受信を行います。

SSID

無線機器と無線親機の通信時に混線しないために設定する ID です。無線機器が無線親機と通信するときは、同一の SSID を設定します。

TKIP

無線のデータ暗号化方式である WPA に用いられている暗号化プロトコルです。従来の暗号化方式である「WEP」にあった同じ暗号化キーを使いづけるため発生する脆弱性を克服するため、キーを自動的に変更し、暗号化を行うように改良された暗号化プロトコルが「TKIP」です。定期的に使用する暗号化キーを変更するため、キーの解析が困難となり、より強固なセキュリティーを持った無線 LAN を構築することが可能です。

WDS 機能

WDS(Wireless Distribution System)は、無線親機間を無線で通信する機能のことです。WDS機能を利用することで通信距離を延長したり、電波の届かないエリアへの中継が可能となります。

WEP

無線LANの規格である 802.11 に追加されたデータを暗号化する機能です。WEP(暗号化)キーに 64 ビット長のデータを使う方式と 128 ビット長のデータを使う方式の 2 つがあります。この WEP(暗号化)キーを元に送受信データを暗号化します。万一、第三者に電波を傍受されても、暗号化されたデータの解読は困難です。ビット数の値が大きいほど(64bit < 128bit)暗号が複雑化し、セキュリティー度が向上します。無線親機に WEP 設定を行なうと、同じ WEP キーを設定した無線機器からしか接続ができなくなります。

WPA

無線 LAN の暗号化方式のひとつで、従来採用されてきた WEP の弱点を補強し、セキュリティー強度を向上させたものです。従来の SSID と WEP キーのセキュリティーに加え、Pre-Shared Key (PSK) や、PPP Extensible Authentication Protocol (EAP) などを用いて認証を行い、無線親機から配布される暗号化キーで接続させます。また、認証によって配布された暗号化キーを一定時間で自動更新することで、安全性を向上させています。暗号化についても「TKIP」と呼ばれる暗号プロトコルを採用するなど改善が加えられています。

WPA2

WPA が、セキュリティー標準規格「IEEE802.11i」に採用予定であった暗号化の一部から作成されているのに対して、WPA2 では正式に策定された「IEEE802.11i」に基づいて作成されています。従来の WPA では、暗号プロトコルに「TKIP」を採用していましたが、より強力な暗号化技術である「AES」をサポートすることでセキュリティー強度を従来より向上させています。

WPS

WPS (Wi-Fi Protected Setup) は、無線 LAN の普及推進団体である Wi-Fi Alliance によって策定された、無線 LAN の接続や暗号化など各種セキュリティー設定を簡単に行うための規格です。機器に搭載されたボタンを押すことで接続設定を行うプッシュボタン式と、機器固有情報を相手側機器に登録することで接続設定を行う PIN コード式があり、自動的に接続・セキュリティー設定を行うことができます。

隔離機能

隔離機能を有効にすると、接続している無線機器はインターネット側とだけ通信可能になります。例えば、暗号化に WEP を使用している無線機器を隔離した場合、その機器はインターネット側としか通信できないようになり、悪意あるユーザーにより WEP の暗号化キーが解読された場合でも、家庭内のネットワークに進入したり、本商品の設定画面にログインされるといった事態を防ぐことができます。

グローバル IP アドレス

インターネットに直接接続でき、インターネット上では重複しない IP アドレスです。

ゲートウェイ

ネットワークとネットワークを結ぶ機器・パソコン・ソフトウェアです。パケットが LAN の外に出て行くときに通過します。

サブネットマスク

IP アドレスを、ネットワークアドレス番号とホストアドレス番号に分けるための値です。ルータがパケットを送受信するために用いられます。

パケット

ネットワーク上を流れるデータの単位です。ヘッダー(宛先アドレスや送信元アドレス)と情報データ(実データ)から構成されます。

パケットフィルタリング

通信セキュリティ機能の一つで、パケットの宛先アドレスや送信元アドレスを読み取り、ユーザーが設定したルールに従ってパケットの通過・遮断を判断します。

プライバシーセパレーター

プライバシーセパレーターは、1 台の無線親機に直接無線接続している機器間の通信(共有フォルダー等へのアクセス等)を禁止するセキュリティ機能です。

プライベート IP アドレス

インターネットに直接接続せず、閉じたネットワーク内同士であれば、重複して自由に使用することができる IP アドレスです。プライベート IP アドレスには、次のような種類があります。

クラス A : 10.xxx.xxx.xxx/255.0.0.0

クラス B : 172.16.0.0 ~ 172.31.255.255/255.255.0.0

クラス C : 192.168.xxx.xxx/255.255.255.0

マルチセキュリティー

本商品における「マルチセキュリティー」とは、異なる暗号化レベル(WEP/TKIP/AES)を混在して使用できる機能です。パソコンとゲーム機が混在する環境において、従来の無線設定では、すべての機器を最も暗号化レベルの低い機器に合わせる必要がありました。マルチセキュリティー機能を使用すると、WEP、TKIP、AES 環境を混在できるため、暗号化レベルの異なる機器がある環境でも、高いセキュリティーを維持できます。

保守サービスのご案内

保証について

保証期間(1年間)中の故障につきましては、「保証書」の記載に基づき当社が無償で修理いたしますので、「保証書」は大切に保管してください。(詳しくは、「保証書」の無料修理規定をご覧ください。)

保守サービスについて

保証期間後においても、引き続き安心してご利用いただける「定額保守サービス」と、故障修理のつど料金をいただく「実費保守サービス」があります。当社では、安心して商品をご利用いただける定額保守サービスをお勧めしています。

定額保守サービス	毎月一定の料金をお支払いいただき、故障時には当社が無料で修理を行うサービスです。 (保証対象外の故障修理は有料となります。)
実費保守サービス	<ul style="list-style-type: none"> • 修理に要した費用をいただきます。(修理費として、お客様宅へお伺いするための費用および修理に要する技術的費用・部品代をいただきます。) (故障内容によっては、高額になる場合もありますのでご了承ください。) • 当社のサービス取扱所まで商品をお持ちいただいた場合は、お客様宅へお伺いするための費用は不要となります。

補修用部品の保有期間について

本商品の補修用性能部品(商品の性能を維持するために必要な部品)は、製造打ち切り後、原則7年保有しております。

設定内容一覧表

お客様が本商品に対して設定した内容をご記入ください。

機能	パラメーター	設定値
LAN	LAN 側 IP アドレス	
	デフォルトゲートウェイ	
	DNS (ネーム) サーバー アドレス	
WPS	WPS 機能	
	外部 Registrar	
	ワイヤレスアダプタ WA-1100 PIN コード	
	WPS 用無線セキュリ ティー設定	
AOSS	WEP 専用 SSID の暗号化 レベル	
	暗号化レベル拡張機能	
	WEP 専用 SSID 隔離	
	WEP をゲーム専用にする	
	本体側 AOSS ボタン	
11n/a/g/b	無線機能	
	無線チャンネル	
	倍速モード	
	ANY 接続	
	隔離機能	
	SSID	
	無線の認証	
	無線の暗号化	
	WPA-PSK (事前共有 キー)	
	Key 更新間隔	

機能	パラメーター	設定値		
拡張	Multicast Rate			
	DTIM Period			
	プライバシーセパレーター			
	TPC 機能			
WMM	WMM-EDCAパラメーター (優先度 AC_BK (低い))		AP 用	STA 用
		CWmin		
		CWmax		
		AIFSN		
		TXOP Limit		
	Admission Control	-----		
	WMM-EDCAパラメーター (優先度 AC_BE (普通))		AP 用	STA 用
		CWmin		
		CWmax		
		AIFSN		
		TXOP Limit		
	Admission Control	-----		
	WMM-EDCAパラメーター (優先度 AC_VI (優先))		AP 用	STA 用
		CWmin		
		CWmax		
		AIFSN		
		TXOP Limit		
	Admission Control	-----		
	WMM-EDCAパラメーター (優先度 AC_VO (最優先))		AP 用	STA 用
		CWmin		
CWmax				
AIFSN				
TXOP Limit				
Admission Control	-----			
MAC アクセス制限	無線パソコンの接続			
	登録リスト			
マルチキャスト制御	Snooping 機能			
	マルチキャスト Aging Time			

機能	パラメーター	設定値
WA-1100 間接続	WA-1100 間接続機能	
	親機 / 子機指定	
本体	機器名	
パスワード	管理ユーザー名	
	管理パスワード	
時刻	日付	
	時刻	
	タイムゾーン	
NTP	NTP 機能	
	サーバー名	
	確認時間	
エコ	おまかせ節電機能	
	ランプ	
アクセス	ログ出力	
	制限項目	
ログ	ログ情報転送機能	
	syslog サーバー	
	転送するログの種類	

索引

数字

100BASE-TX.....	22, 196, 197
10BASE-T.....	22, 196, 197

アルファベット

AC アタッチメント.....	31
AES.....	21, 67, 75, 195, 202
ANY 接続.....	66, 96, 128, 133, 145, 195, 199
AOSS 接続.....	90, 92, 155, 158, 165
AOSS ボタン.....	27, 109, 113, 160, 166
DHCP サーバー.....	56, 121, 202
IEEE802.11a.....	21, 195
IEEE802.11b.....	21, 195
IEEE802.11g.....	21, 195
IEEE802.11n.....	21, 195
IP アドレス.....	60, 118, 119, 121, 134, 139, 145, 204
LAN ポート.....	27, 198
MAC アクセス制限.....	72, 98, 195, 200
MAC アドレス.....	64, 72, 75, 86, 98, 111, 118, 130, 139, 202
NTP 機能.....	78, 201
SSID.....	29, 66, 109, 111, 191, 199, 202
TKIP.....	21, 67, 75, 195, 202
WA-1100 間接続.....	74, 200
WDS 機能.....	202
WEP.....	21, 67, 75, 195, 202
WPA.....	21, 203
WPA2.....	21, 203
WPS (PIN コード式).....	156, 170, 177
WPS (プッシュボタン式).....	155, 158, 165

あ行

暗号化キー.....	29, 61, 63, 109, 191
暗号化の種類.....	61, 67, 75, 109, 191
おまかせ節電機能.....	79, 89, 201

か行

隔離機能.....	103, 203
-----------	----------

さ行

事前共有キー.....	67, 75, 199
ステータスランプ.....	28, 193
製品仕様.....	195
設定画面.....	53, 54
設定内容一覧表.....	206

た行

中継器.....	43, 47
デフォルトゲートウェイ.....	60, 130, 198
電波混雑防止機能.....	22, 65, 93, 94

は行

ファームウェア.....	83, 84, 108
ファンクションボタン.....	28, 38
プライバシーセパレーター.....	204, 68, 101, 195, 199

ま行

マルチセキュリティ.....	204
無線親機設定ユーティリティ.....	113, 117
無線子機設定ユーティリティ.....	113, 122, 137
無線チャンネル.....	65, 94, 199

わ行

ワイヤレスランプ.....	28, 193
---------------	---------

MEMO

この取扱説明書は森林資源保護のため、再生紙を使用しています。

当社ホームページでは、各種商品の最新の情報やバージョンアップサービスなどを提供しています。本商品を最適にご利用いただくために、定期的にご覧いただくことを推奨します。

当社ホームページ：

【NTT東日本】 <http://web116.jp/ced/>

【NTT西日本】 <http://www.ntt-west.co.jp/kiki/>

本商品について、不明な点などがございましたら、以下にお問い合わせください。

■NTT東日本エリア（北海道、東北、関東、甲信越地区）でご利用のお客様

●本商品のお取り扱いに関するお問い合わせ

お問い合わせ先：  **0120-970413**（9：00～21：00）

携帯電話・PHS・050IP電話からご利用の場合

03-5667-7100（通話料金がかかります）

※年末年始12月29日～1月3日は休業とさせていただきます。

●故障に関するお問い合わせ

お問い合わせ先：**局番なし113**（24時間 年中無休）

携帯電話・PHSからご利用の場合

0120-444113

※17：00～翌日9：00までは、録音にて受付しており順次ご対応いたします。

※故障修理などの対応時間は9：00～17：00です。

■NTT西日本エリア（東海、北陸、近畿、中国、四国、九州地区）でご利用のお客様

●本商品の取り扱いおよび故障に関するお問い合わせ

お問い合わせ先： **0120-248995**

（携帯電話・PHSからも利用可能です。）

受付時間

・本商品のお取り扱いに関するお問合せ：

9：00～17：00（年末年始12月29日～1月3日を除く）

・故障に関するお問合せ： 24時間（年中無休）※

※故障修理対応時間は9：00～17：00です。

電話番号をお間違えにならないように、ご注意願います。



© 2010 NTTEAST・NTTWEST

本3117-1（2010.7）

WA-1100-S/WA-1100ドレゼ

35011352 ver.02